

大泉町外二町環境衛生施設組合  
一般廃棄物処理基本計画

平成 26 年 3 月

大泉町外二町環境衛生施設組合



## 目 次

第 1 章	基本計画策定主旨	1
第 1 節	基本計画策定主旨	1
第 2 節	計画の概要	3
1.	法体系	3
2.	上位計画	4
3.	計画の位置付け	6
4.	計画の対象廃棄物	7
5.	計画対象地域	8
6.	計画目標年度	9
第 2 章	ごみの現況	10
第 1 節	ごみ排出状況	10
1.	ごみ処理体制	10
2.	ごみ排出量の実績	11
3.	ごみの発生排出抑制	20
第 2 節	収集・運搬状況	21
1.	収集・運搬体制	21
2.	家庭系ごみの分別排出の状況	21
3.	事業系ごみの分別排出の状況	24
第 3 節	中間処理状況	25
1.	中間処理体制	25
2.	中間処理施設の処理状況	27
3.	温室効果ガス排出状況	31
4.	ごみ処理に係る経費	32
第 4 節	最終処分状況	33
1.	最終処分体制	33
2.	最終処分量	33
第 5 節	資源化・再利用状況	34
1.	資源化の状況	34
第 6 節	現行ごみ処理の課題	36
1.	ごみの排出	36
2.	収集・運搬	36
3.	中間処理	36
4.	最終処分	37
第 3 章	基本方針	38
第 1 節	基本理念	38
第 2 節	基本原則	39

第 3 節	数値目標 .....	40
第 4 節	基本計画の体系図 .....	41
第 4 章	ごみ処理基本計画 .....	42
第 1 節	ごみの減量化と資源化の推進 .....	42
1.	啓発・情報提供活動の充実 .....	42
2.	発生抑制行動に対する取組みの推進 .....	42
3.	環境教育の実施 .....	42
4.	ごみ処理手数料の適正化 .....	42
5.	資源化への取組み .....	43
第 2 節	環境負荷軽減を考えた適正処理 .....	44
1.	将来ごみ処理体制 .....	44
2.	収集・運搬計画 .....	46
3.	中間処理計画 .....	48
4.	最終処分計画 .....	48
第 3 節	環境美化の推進 .....	49
1.	不法投棄対策 .....	49
2.	街の美化 .....	49
第 4 節	その他の計画 .....	49
1.	災害廃棄物処理対策 .....	49
第 5 節	三者の役割 .....	50
第 6 節	ごみ排出量の将来予測 .....	52
1.	計画収集人口の予測 .....	52
2.	将来ごみ排出量 .....	52
3.	資源化率と最終処分量 .....	53
第 7 節	計画の点検・見直し・評価 .....	54
資料編	.....	55
第 1 章	地域概況 .....	56
第 2 章	各町のごみ予測 .....	80

※本文中の図について、四捨五入の関係で整合が取れない場合があります。

# 第 1 章 基本計画策定主旨

## 第 1 節 基本計画策定主旨

千代田町、大泉町及び邑楽町（以下「大泉町外二町」という。）は広域行政の観点から大泉町外二町環境衛生施設組合<sup>※1</sup>（以下「大泉町外二町組合」という。）を設立し、ごみの共同処理及び斎場の運営を行っています。

大泉町外二町の可燃ごみについては、大泉町外二町組合の大泉町外二町環境衛生施設組合清掃センター（以下「大泉町外二町清掃センター」という。）で、不燃・資源ごみについては、太田市、千代田町、大泉町及び邑楽町（以下「太田市外三町」という。）で組織する太田市外三町広域清掃組合<sup>※2</sup>（以下「太田市外三町組合」という。）の太田市外三町広域清掃組合リサイクルプラザ（以下「リサイクルプラザ」という。）で処理しています。

大泉町外二町清掃センターは、稼働後 20 年以上経過しており老朽化が進んでいることから、施設の更新等を進めることが急務となっており、同じく焼却施設の更新が必要となっている太田市とともに新たな焼却施設（以下「広域熱回収施設」という。）の建設検討を進めているところです。

また、平成 12 年 6 月に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年法律第 137 号）（以下、「廃棄物処理法」という。）」が改正され、各都道府県に対して、地域の特性を踏まえ、一般廃棄物及び産業廃棄物双方の減量化目標や主体別の役割などを定めた「廃棄物処理計画」の策定が義務付けられました。

群馬県では、県の廃棄物処理計画として平成 14 年 3 月に第 1 次群馬県廃棄物処理計画、平成 18 年 3 月に第 2 次群馬県廃棄物処理計画を策定しました。その後、社会情勢の変化等を踏まえ、ごみの適正化処理計画を見直し今後の県内の一般廃棄物処理広域化の方向性を示すため、平成 20 年 1 月に「一般廃棄物処理マスタープラン」、平成 23 年 3 月に「群馬県循環型社会づくり推進計画」を策定しました。

群馬県の計画をうけ、大泉町外二町組合では、廃棄物処理法第 6 条に基づき、ごみ処理を今後さらに適正化するうえでの指標となる計画書として大泉町外二町環境衛生施設組合一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（以下「本計画」という。）を策定することとします。

本計画では、大泉町外二町地域（以下「本地域」という。）における循環型社会<sup>※3</sup>を構築するため、ごみの排出の抑制及びごみの発生から最終処分に至るまでのごみの適正な処理を進めるための基本的な方針を定めるものとします。

※1 大泉町外二町組合は、昭和 51 年 3 月に発足し、昭和 51 年 7 月、可燃ごみの焼却処理を行うため、大泉町において処理能力 60 t/日のごみ処理施設を稼働しました。また、昭和 53 年 3 月、ごみ処理施設と隣接して処理能力 40 t/日の粗大ごみ処理施設を稼働開始し、不燃ごみ・粗大ごみの処理を開始しました。ごみ量の増大とごみの多様化により既存施設では対応が困難となったため、ごみ処理施設を平成 4 年に処理能力 130 t/日に更新し、不燃・粗大ごみは平成 16 年度に新設されたリサイクルプラザへ処理を移行しました。

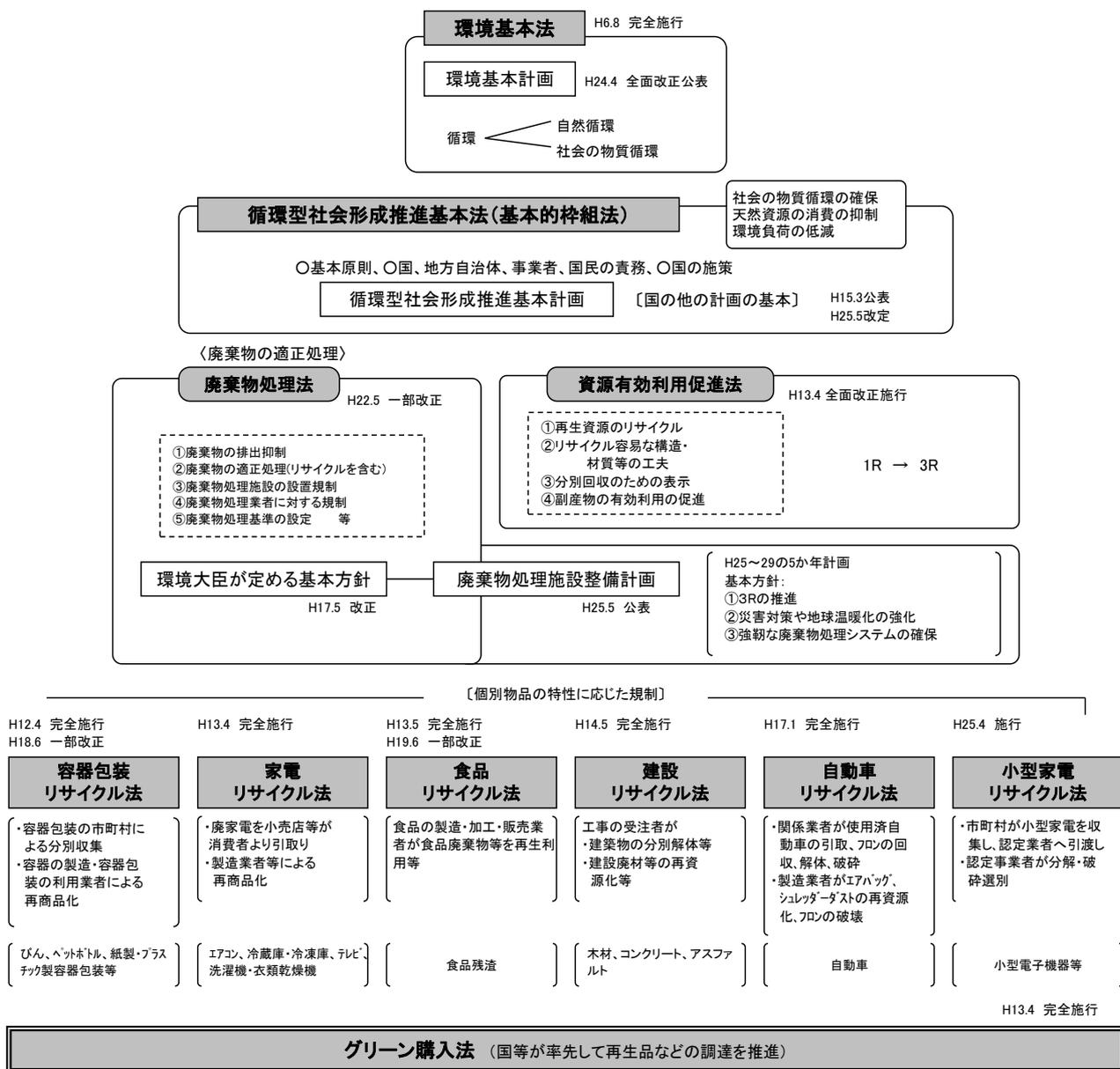
※2 太田市外三町組合は、太田市合併前の平成 11 年 5 月「太田市外二町清掃組合」（太田市、尾島町及び新田町）として設立され、組織改編により千代田町、大泉町及び邑楽町を加えて平成 12 年 9 月「太田市外五町広域清掃組合」へ名称を変更し、平成 17 年 3 月 28 日に太田市、尾島町、新田町、藪塚本町の 1 市 3 町が合併したのを機に、太田市、千代田町、大泉町及び邑楽町で構成される「太田市外三町広域清掃組合」となりました。

※3 「循環型社会」とは、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会に代わるものとして提示された概念です。まず製品等が廃棄物等となることを抑制し、次に排出された廃棄物等についてはできるだけ資源として適正に利用し、最後にどうしても利用できないものについては適正に処分することが確保されることにより実現される「天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減された社会」とされています。

## 第 2 節 計画の概要

### 1. 法体系

環境の保全についての基本理念を規定した「環境基本法（平成 5 年法律第 91 号）」に則り、循環型社会の形成を推進する基本的な枠組みとなる法律として「循環型社会形成推進基本法（平成 12 年法律第 110 号）」が制定されました。廃棄物の適正処理に関する「廃棄物処理法」、リサイクルの推進に関する「資源の有効な利用の促進に関する法律（平成 3 年法律第 48 号）」及び個別物品に応じたリサイクルに関する法律とともに循環型社会の形成に向け実効ある取組みの推進を図っています。図 1-1 に循環型社会形成推進のための法体系を示します。



資料：環境省（一部改変）

図 1-1 循環型社会形成推進のための法体系

## 2. 上位計画

本計画の策定に当たっては、国、群馬県の上位計画を踏まえたものとします。

### 1) 循環型社会形成推進基本計画

循環型社会形成推進基本計画は、循環型社会形成推進基本法第15条に基づき、循環型社会の形成に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために定められるものです。「第三次循環型社会形成推進基本計画（平成25年5月31日閣議決定）」では、最終処分場の削減などこれまで進展した廃棄物の量に着目した施策に加え、循環の質にも着目した施策として「リサイクルに比べ取組が遅れているリデュース・リユースの取組強化」「有用金属の回収」「安心・安全の取組強化」「3R国際協力の推進」が掲げられています。また、循環型社会形成に関する取組み指標として、一般廃棄物の減量化に係る目標値が表1-1のとおり設定されています。

### 2) 廃棄物処理法基本方針

廃棄物処理法第5条の2第1項の規定に基づき「廃棄物の減量その他適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本方針（平成13年環境省告示第34号）（以下、「廃棄物処理法基本方針」という。）」が定められています。

廃棄物処理法基本方針においては、廃棄物の排出を抑制し、廃棄物となったものについては不適正処理の防止その他の環境への負荷の低減に配慮しつつ、再使用、再生利用、熱回収の順にできる限り循環的な利用を行い、こうした排出抑制及び循環の利用を徹底したうえで、なお、適正な循環的な利用が行われないものについては、適正な処分を確保することを基本としています。また、一般廃棄物の減量化の目標量が表1-1のとおり設定されています。

### 3) 群馬県循環型社会づくり推進計画（平成23年3月）

群馬県では、県が目指すべき循環型社会の姿を示すとともに、その実現のために各主体に求められる役割や県の施策等を明確に示すために「群馬県循環型社会づくり推進計画」を策定しています。群馬県循環型社会づくり推進計画では、基本方向を次のように定めています。

#### 《基本方針》

本県が目指す循環型社会の姿に向けて、県民、市民活動団体・NPO等、事業者、行政の各主体が役割を分担し、それぞれが自主的に互いに連携、協働して、次の4つの基本方向に基づき取組みを進めます。

- ① 3Rの推進
- ② 廃棄物の適正処理の推進
- ③ バイオマスの活用推進
- ④ リサイクル関連事業（循環型社会ビジネス）の振興

また、一般廃棄物の排出量等の目標が表1-1のとおり定められています。

表 1-1 国及び県の一般廃棄物の減量化に係る目標

項目	循環型社会形成推進基本計画	廃棄物処理基本方針	群馬県循環型社会づくり推進計画
策定年月	平成25年5月改正	平成22年12月改正	平成23年3月
基になる法律名	循環型社会形成推進基本法	廃棄物処理法	廃棄物処理法
目標年次	平成32年度	平成27年度	平成27年度
排出量に係る目標値	<p>&lt;一般廃棄物&gt; 1人1日当たり排出量を平成12年度比で約25%減とする。</p> <p>&lt;家庭系ごみ&gt; 平成12年度に対して、1人1日当たりに家庭から排出されるごみの量(集団回収、資源ごみ等を除く)を約25%削減する。</p> <p>&lt;事業系ごみ&gt; 平成12年度に対して、事業系ごみ排出量を約35%削減する。</p>	<p>&lt;一般廃棄物&gt; 平成19年度比に対して、年間排出量を約5%削減する。</p>	<p>&lt;一般廃棄物&gt; 1人1日当たりのごみ排出量を1,000g以下に削減する。</p> <p>実績値 平成23年度1.076g/人・日</p>
再生利用に係る目標値	—	<p>&lt;一般廃棄物&gt; 再生利用率を約25%に増加する</p>	<p>&lt;一般廃棄物&gt; 再生利用率を22%以上 実測値:平成23年度14.9%</p>
最終処分に係る目標値	—	<p>&lt;一般廃棄物&gt; 最終処分量を平成19年度比約22%削減する。</p>	<p>&lt;一般廃棄物&gt; 最終処分量を80千t以下に削減する。 実績値:平成23年度100千t</p>

### 3. 計画の位置付け

廃棄物処理法第6条第1項に、「市町村は、当該市町村の区域内の一般廃棄物の処理に関する計画（以下「一般廃棄物処理計画」という。）を定めなければならない。」とされており、本計画は、図1-2に示す関連する諸計画との整合を図りながら策定しました。

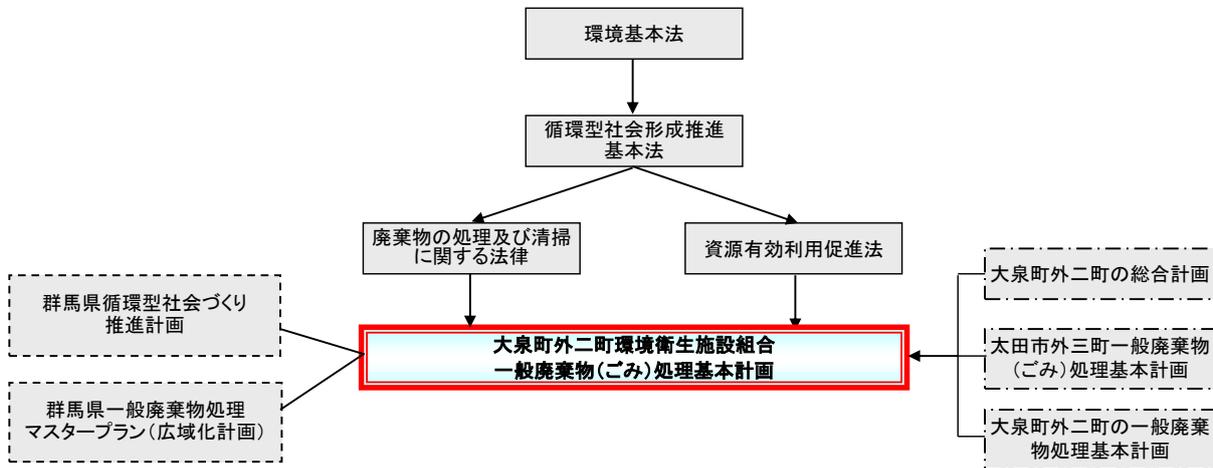


図1-2 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の位置付け

一般廃棄物処理計画は、ごみ及び生活排水（し尿等及び生活雑排水）を対象とし、長期的な視点に立った基本的な方針となる計画（一般廃棄物処理基本計画）と、その基本計画に基づき年度ごとに一般廃棄物の排出の抑制、減量化・再生利用の推進、収集、運搬、処分等について定める計画（一般廃棄物処理実施計画）から構成されています。

本計画は、図1-3に示す一般廃棄物のうちごみについて本地域の処理基本計画を定めるものです。

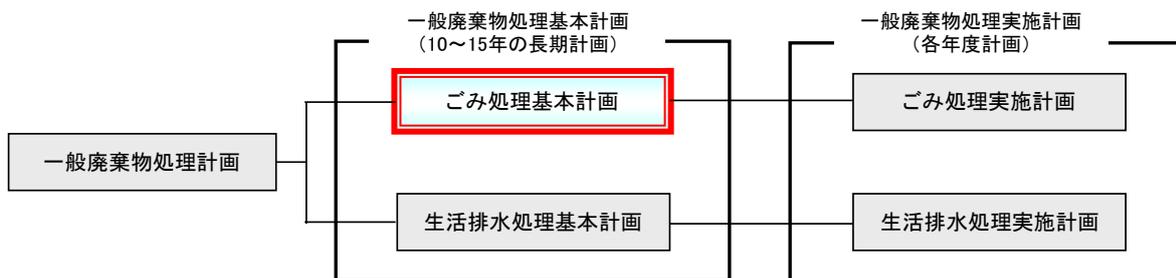
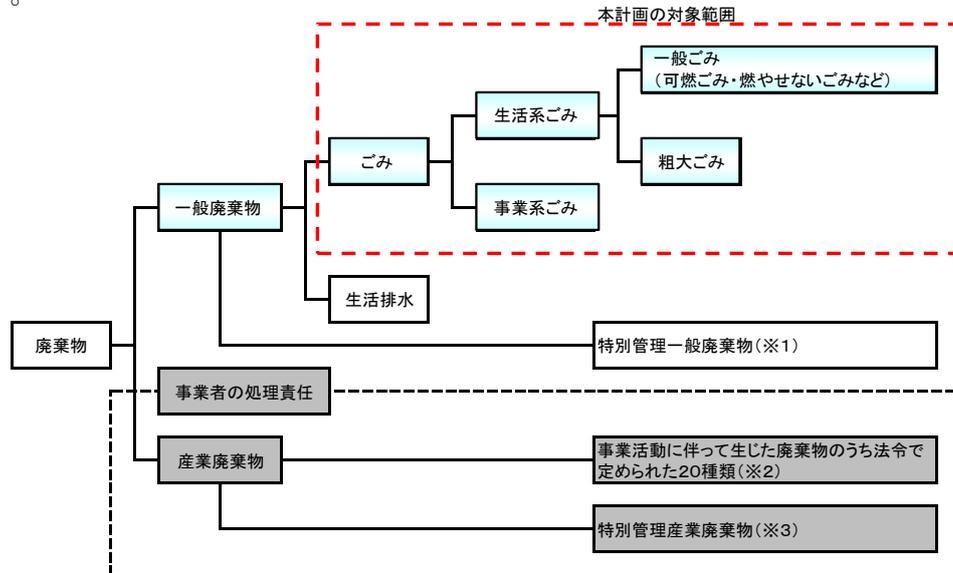


図1-3 一般廃棄物処理計画の構成

#### 4. 計画の対象廃棄物

廃棄物の区分を図 1-4 に示します。廃棄物は、大きく一般廃棄物と産業廃棄物の 2 つに区分されます。一般廃棄物は、産業廃棄物以外の廃棄物のことをいいます。産業廃棄物は、事業活動に伴って生じた廃棄物のうち、法律及び政令で定められている 20 種類のものを指します。

本計画において対象とする廃棄物は、一般廃棄物のうち生活排水を除く「ごみ」とします。



※1 爆発性、毒性、感染性その他の人の健康または生活環境に係る被害を生ずるおそれがある性状を有する廃棄物(PCB 使用部品、ばいじん、ダイオキシン類含有物、感染性一般廃棄物)

※2 燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、鋳さい、がれき類、ばいじん、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、動物のふん尿、動物の死体の 19 種類と、産業廃棄物を処分するために処理したもので 19 種類の産業廃棄物に該当しないもの(コンクリート固形化物等)

※3 爆発性、毒性、感染性その他の人の健康または生活環境に係る被害を生ずるおそれがある性状を有する廃棄物(廃油、廃酸、廃アルカリ、感染性産業廃棄物等)

図 1-4 計画対象とする廃棄物

5. 計画対象地域

本計画の対象地域は、図 1-5 に示す千代田町、大泉町及び邑楽町の全域とします。

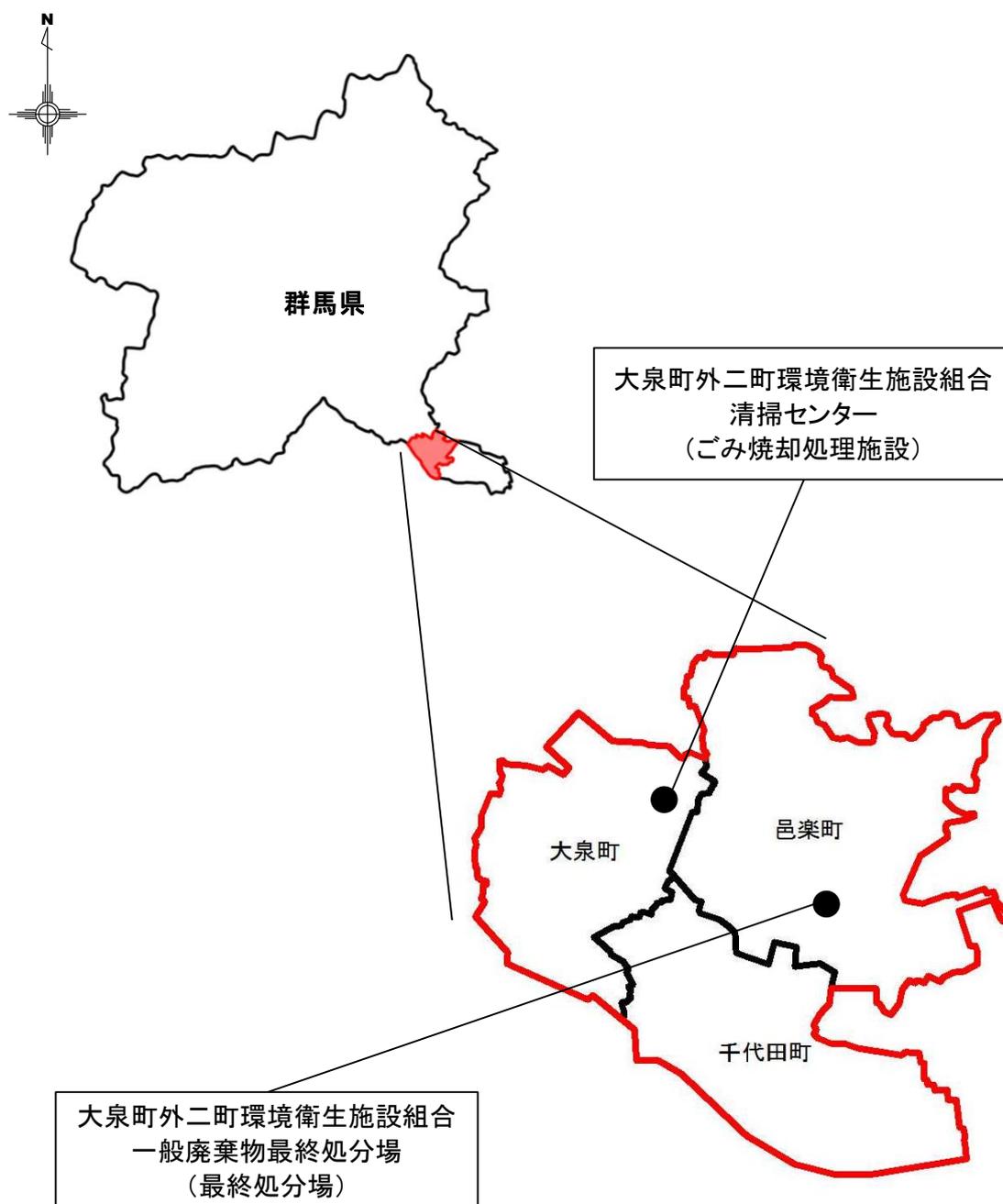


図 1-5 計画対象地域

## 6. 計画目標年度

本計画は、平成26年度を初年度とし、15年後の平成40年度までを計画期間とします。さらに、計画の進捗状況を把握し、計画の見直しを適切に実施していくため、中間目標年次として平成30年度を設定します。

本計画は、必要に応じて改定するとともに、計画策定の前提となっている諸条件に大きな変動があった場合には、本計画で掲げた数値目標や重点施策等についての達成度や各々の取組みの進捗状況を踏まえ見直しを行います。

また、計画を推進していくため、適宜各々の状況を把握するとともに、その効果等についても定期的に検討し、必要に応じ新たな対応を講じていくものとします。

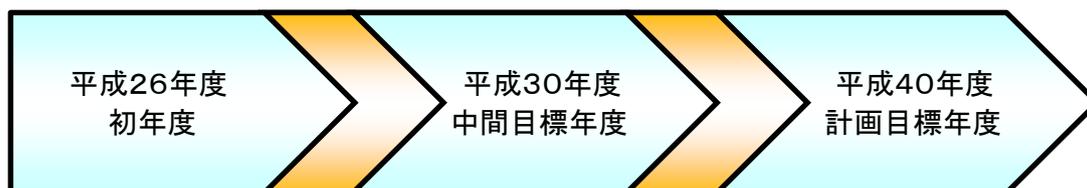


図 1-6 計画目標年度

## 第 2 章 ごみの現況

### 第 1 節 ごみ排出状況

#### 1. ごみ処理体制

本地域におけるごみ処理フローを図 2-1 に示します。

本地域の可燃ごみは、大泉町外二町清掃センターへ搬入され、排出された焼却灰は大泉町外二町環境衛生施設組合一般廃棄物最終処分場（以下「大泉町外二町最終処分場」という。）で埋立されています。資源ごみ、不燃・粗大ごみについてはリサイクルプラザへ搬入され、その後の処理処分については太田市外三町組合が行っています。

また、本地域の持込みごみについては、大泉町外二町清掃センター及びリサイクルプラザへ搬入されています。

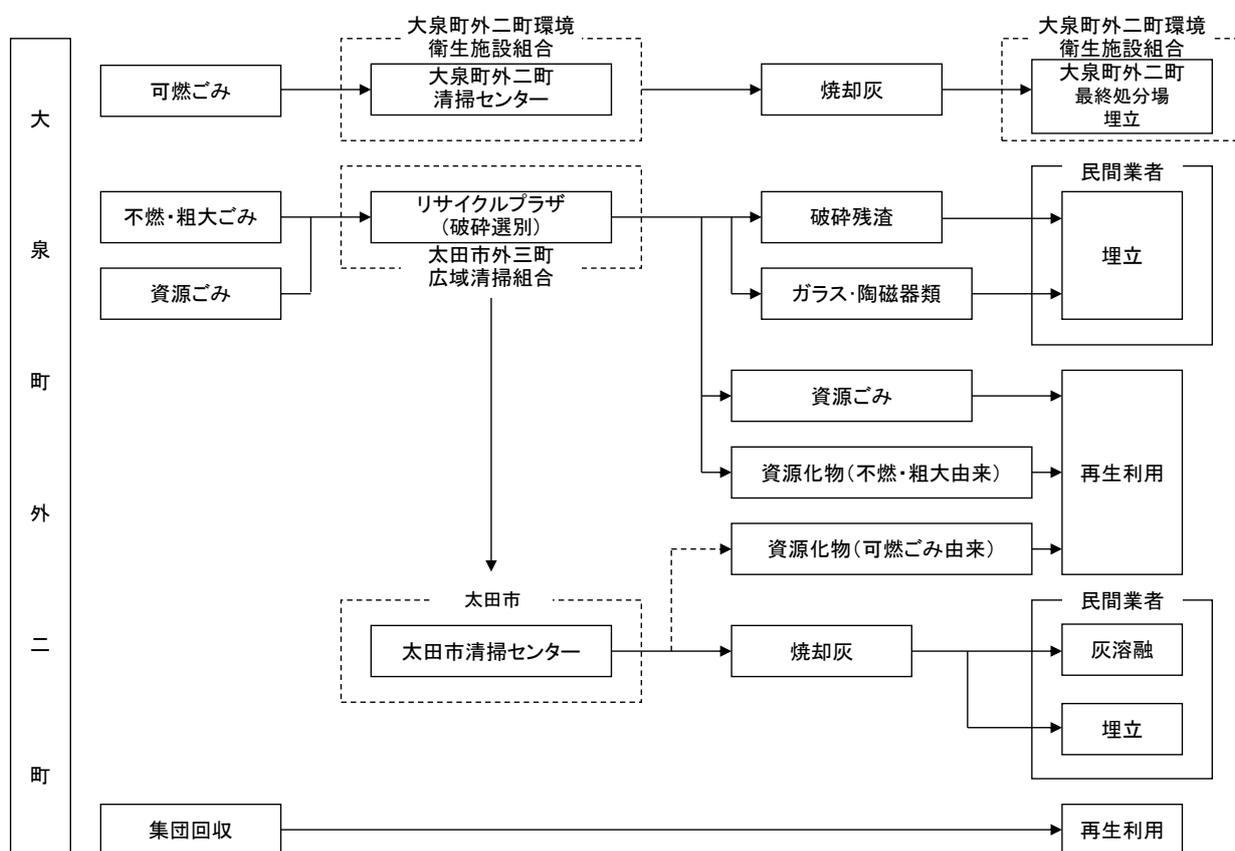


図 2-1 ごみ処理処分フロー（平成 25 年 4 月 1 日現在）

## 2. ごみ排出量の実績

### 1) ごみ総排出量

#### (1) ごみ排出量

##### ① 大泉町外二町

本地域のごみ排出形態別排出量の実績を図 2-2 に、町別ごみ排出量の実績を図 2-3 に示します。本地域のごみ総排出量は平成 22 年度まで減少傾向にありましたが、平成 23 年度以降増加傾向にあります。家庭系、事業系ごみともに総排出量と同様の傾向を示しています。

町別にごみの排出量を見てみると、大泉町が最も高く、次いで邑楽町、千代田町となっています。

注) 以降の図について、四捨五入の関係で整合が取れない場合があります。

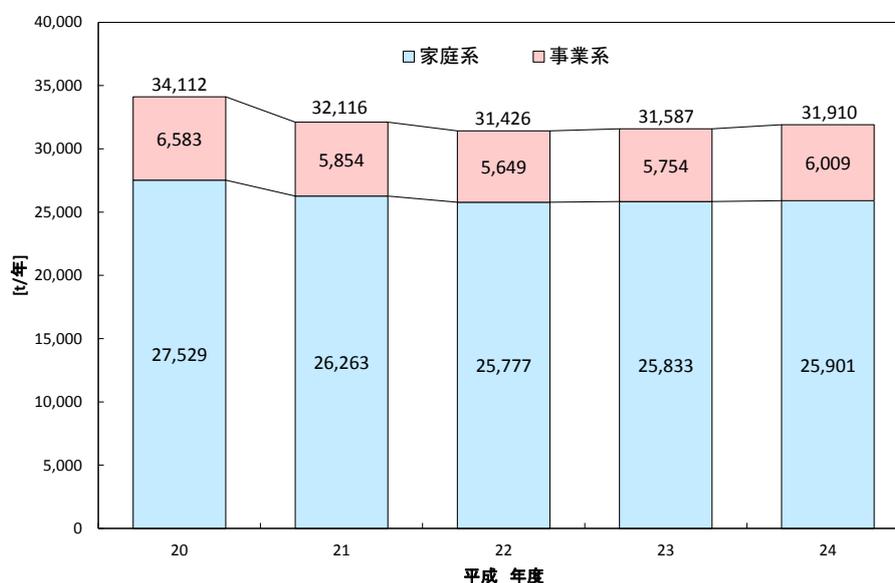


図 2-2 ごみ排出形態別排出量の実績



図 2-3 町別ごみ排出量の実績

① 千代田町

千代田町のごみ排出形態別排出量の実績を図 2-4 に示します。

ごみ総排出量は平成 22 年度までは減少傾向にありましたが、平成 23 年度以降は増加傾向にあります。家庭系ごみは、平成 22 年度以降横ばいに推移し、事業系ごみは、総ごみ量と同様の傾向にあります。

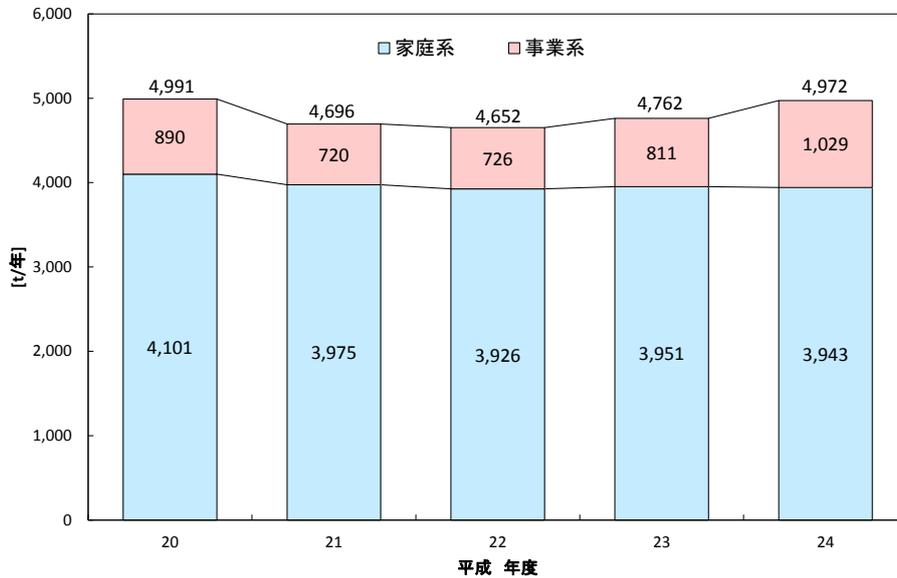


図 2-4 千代田町ごみ形態別排出量の実績

② 大泉町

大泉町のごみ排出形態別排出量の実績を図 2-5 に示します。

ごみ総排出量は、平成 23 年度まで減少傾向にありましたが、平成 24 年度で増加に転じています。家庭系ごみと事業系ごみともに、総ごみ排出量と同様の傾向にあります。

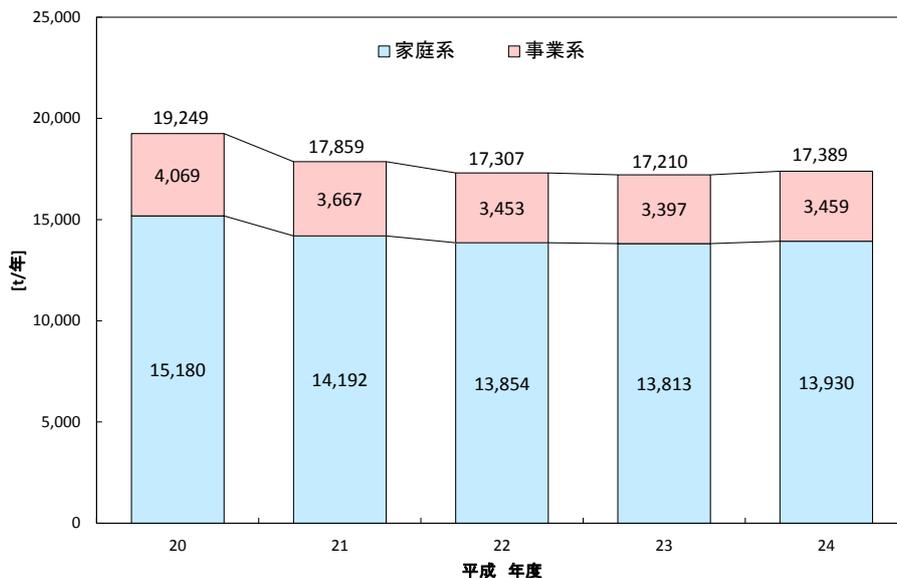


図 2-5 大泉町ごみ排出形態別排出量の実績

③ 邑楽町

邑楽町のごみ排出形態別排出量の実績を図 2-6 に示します。

ごみ総排出量は、平成 22 年度まで減少傾向にありましたが、平成 23 年度で増加し、平成 24 年度では減少しています。家庭系ごみと事業系ごみともに、総ごみ排出量と同様の傾向を示しています。

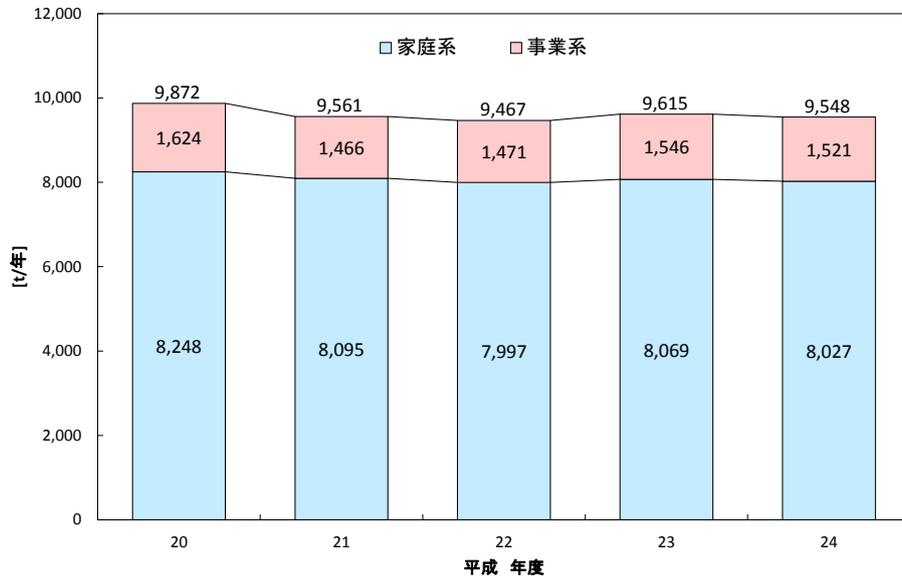


図 2-6 邑楽町ごみ排出形態別排出量の実績

## (2) 1人1日当たりのごみ排出量

本地域の1人1日当たりのごみ排出量の実績を図2-7に示します。

本地域の値は、概ね減少傾向にありましたが、平成23年度以降増加傾向にあります。県の平均値とほぼ同じで、全国の平均値よりも高くなっています。本地域内では、大泉町が最も高く、次いで千代田町となりこの2町の平成23年度値は、県と全国の平均より高くなっています。邑楽町は最も低く、県と全国の平均より低くなっています。千代田町は平成22年度まで減少し、平成23年度から増加しています。大泉町は平成23年度まで減少し、平成24年度は増加しています。邑楽町は平成22年度まで減少し、平成23年度で増加に転じ、平成24年度で減少しています。

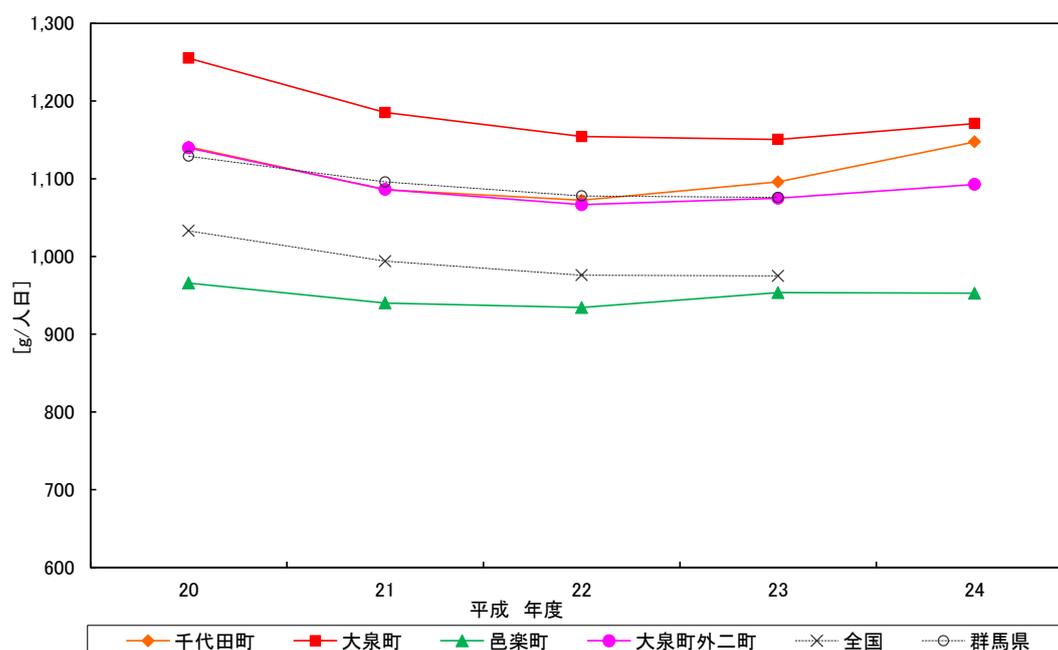


図 2-7 1人1日当たりのごみ排出量の実績

## (3) ごみ排出形態別排出割合

平成24年度の本地域内の排出形態別排出割合を図2-8～図2-11に示します。

各町とも家庭系ごみは約80%となっています。邑楽町は、事業系ごみの割合が本地域内では最も低くなっています。

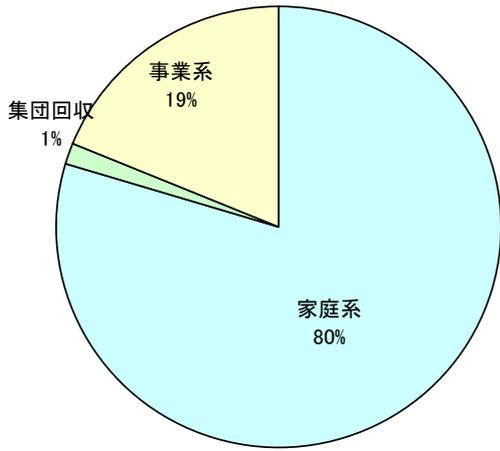


図 2-8 大泉町外二町ごみ排出形態別排出割合

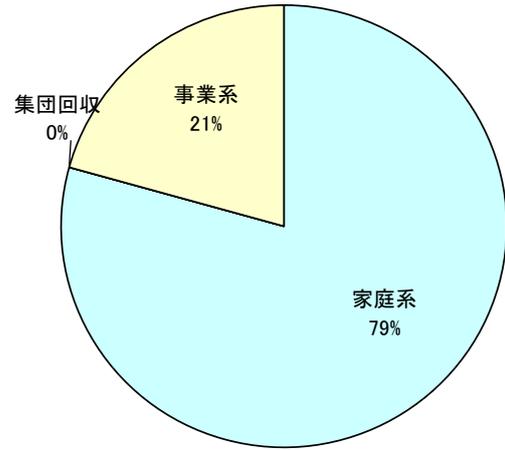


図 2-9 千代田町ごみ排出形態別排出割合

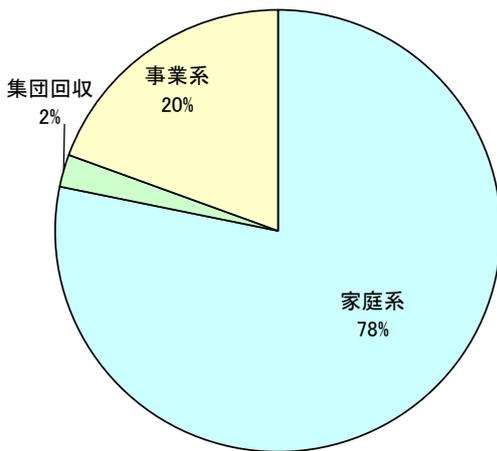


図 2-10 大泉町ごみ排出形態別排出割合

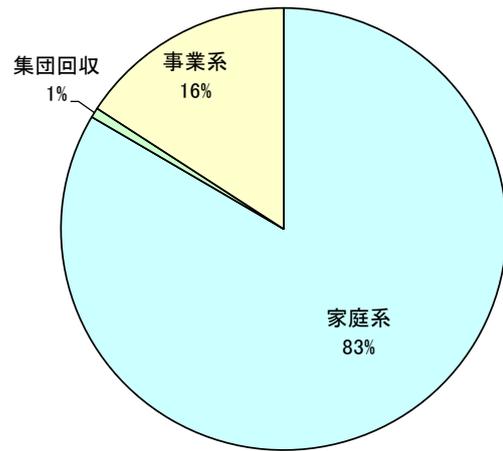


図 2-11 邑楽町ごみ排出形態別排出割合

## 2) 家庭系ごみ排出量の実績

### (1) 家庭系ごみ排出量

家庭系ごみ排出量の実績を図 2-12 に示します。

本地域の家庭系ごみ総量は、平成 21 年度以降は、概ね横ばい傾向で推移しています。町別でみると、すべての町とも総量と同様の傾向にあります。

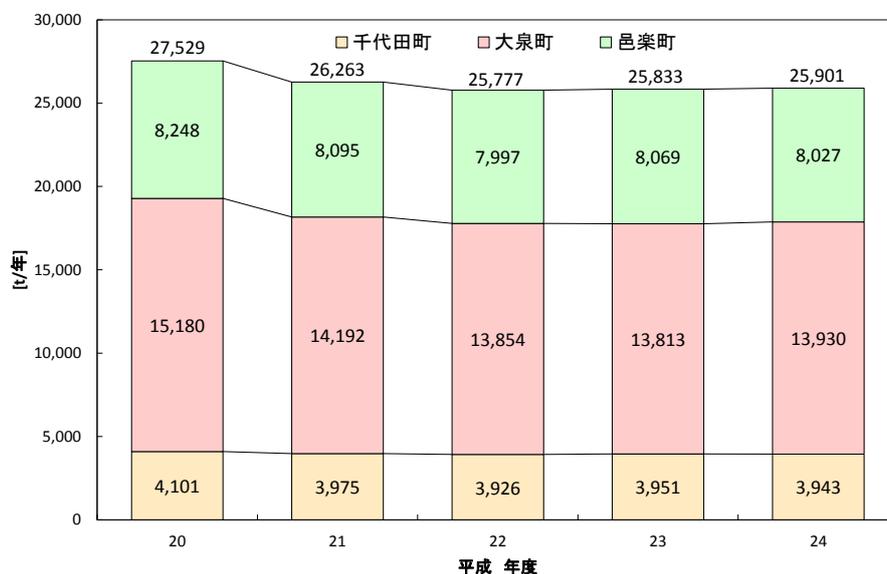


図 2-12 町別家庭系ごみ排出量の実績

### (2) 1 人 1 日当たりの家庭系ごみ排出量

1 人 1 日当たりの家庭系ごみ排出量の実績を図 2-13 に示します。

全体をみると、概ね平成 22 年度まで減少傾向にありましたが、平成 23 年度以降は増加傾向にあります。本地域の値は、全国、県の平均値より高くなっています。町別では、大泉町が最も高く、次いで千代田町となっています。この 2 町は県と全国平均値より大幅に高くなっています。邑楽町が最も低くなっていますが、全国平均値よりは高くなっています。

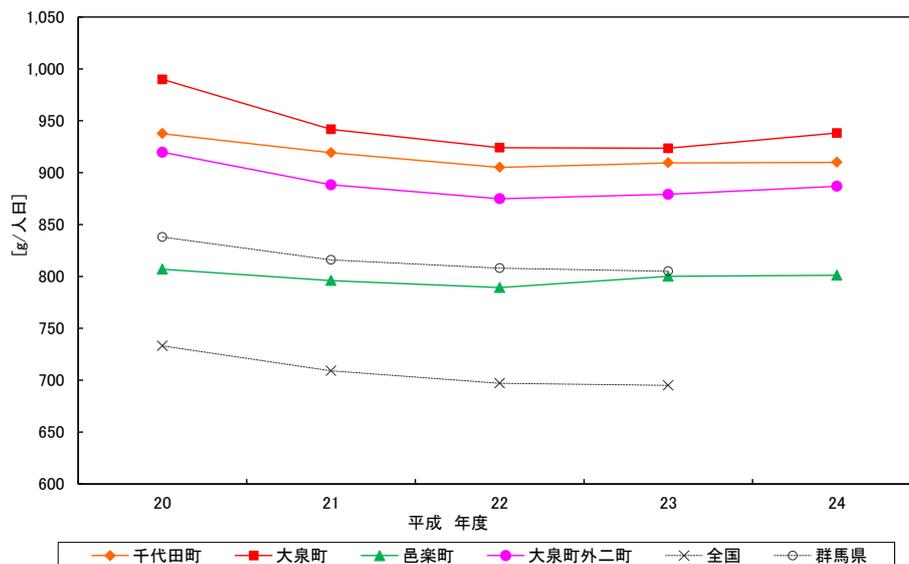


図 2-13 1 人 1 日当たりの家庭系ごみ排出量の実績

### 3) 事業系ごみ排出量

事業系ごみ排出量の実績を図 2-14 に示します。

総量で見ると、年々減少傾向にありましたが、平成 23 年度以降増加傾向にあります。町別にみると、千代田町は総量と同様の傾向にありますが、大泉町、邑楽町は平成 23 年度以降横ばいに推移しています。平成 24 年度の千代田町は大型店舗の開業等があったため大幅に増加しています。

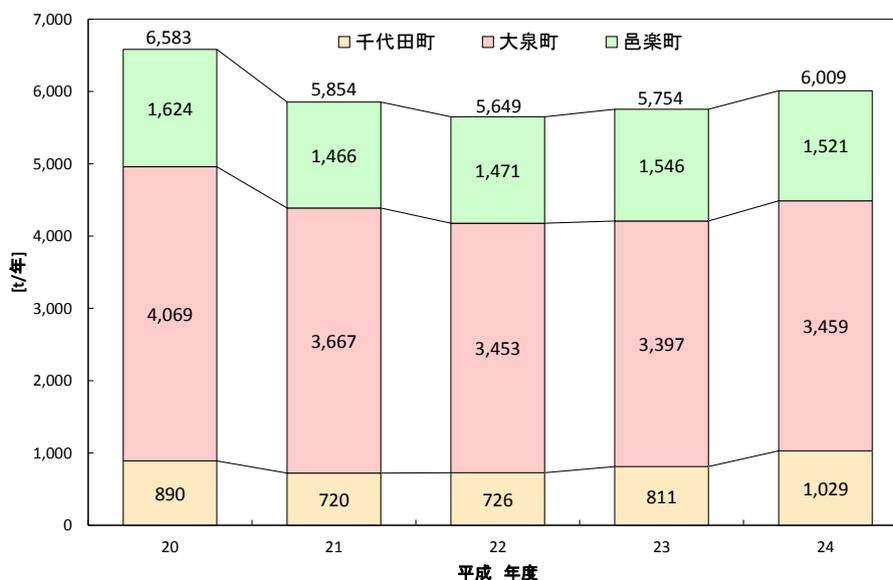


図 2-14 町別事業系ごみ排出量の実績

#### 4) ごみ種別排出量

##### (1) 可燃ごみ

可燃ごみ排出量の実績を図 2-15 に示します。

本地域の総量は、平成 22 年度まで減少傾向にありましたが、平成 23 年度以降増加傾向にあります。千代田町と邑楽町は同様な傾向を示し、千代田町は平成 24 年度の値が、平成 20 年度の値を上回っています。大泉町は平成 23 年度まで減少傾向にありましたが、平成 24 年度で増加に転じています。



図 2-15 可燃ごみ排出量の実績

##### (2) 不燃・粗大ごみ

不燃ごみ・粗大ごみ排出量の実績を図 2-16 に示します。

本地域の総量は、減少傾向にあります。千代田町と大泉町は同様に減少傾向にありますが、平成 23 年度に邑楽町は一時増加を示し、平成 24 年度では減少しています。

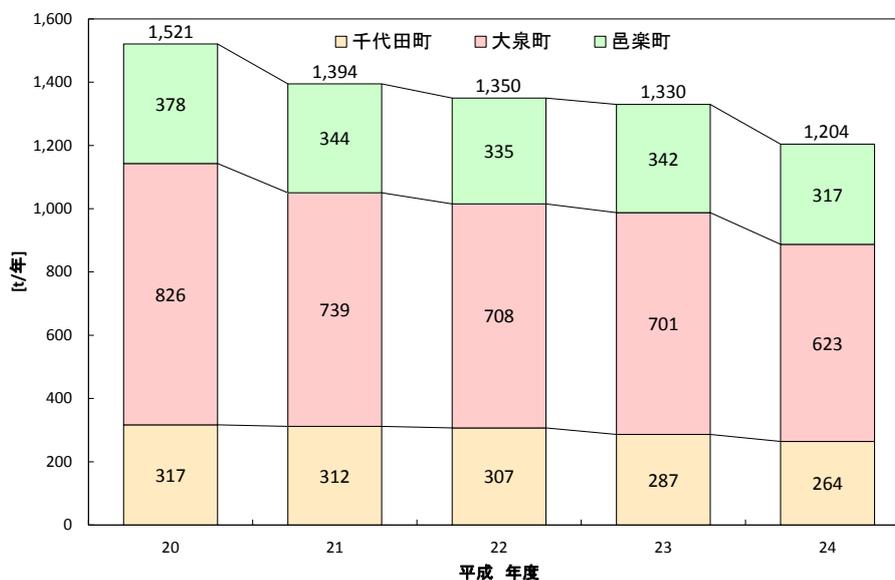


図 2-16 不燃・粗大ごみ排出量の実績

### (3) 資源ごみ

資源ごみの排出量の実績を図 2-17 に示します。

本地域の総量は、概ね減少傾向にあります。全ての町においても概ね減少傾向にあります。

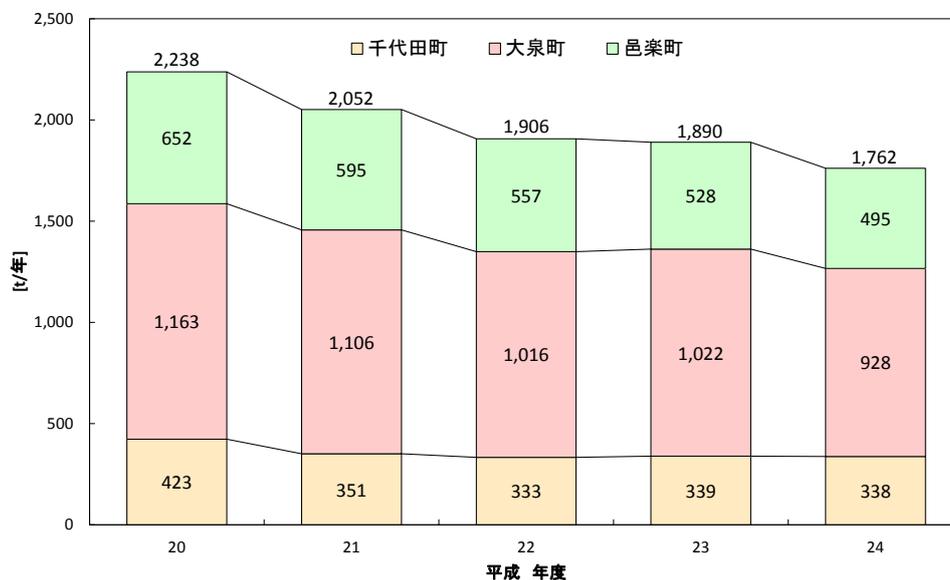


図 2-17 資源ごみ排出量の実績

### 5) 不法投棄

本地域内において、不法投棄が発生しており、環境汚染や景観の悪化等が問題となっています。不法投棄された廃棄物は大泉町外二町清掃センター及びリサイクルプラザで処理・処分されていますが、その費用は不法投棄された町が負うこととなっており、財政への負担が問題となっています。

### 3. ごみの発生排出抑制

#### 1) ごみ発生排出抑制の状況

本地域におけるごみの発生排出抑制の主な施策は、次のとおりです。

- 事業系ごみの有料化
- 生ごみ処理機等の購入補助支援
- マイバッグ運動の推進
- 集団回収に対する奨励金
- 資源物の分別回収
- 環境教育の実施
- 広報誌、回覧、ホームページ等を活用した広報・啓発活動

#### 2) 自家処理

本地域における生ごみ処理機等の補助実績を表 2-1 に、生ごみ減量化推定値を表 2-2 に示します。現在も補助金を継続し、ごみの排出抑制に努めています。

表 2-1 生ごみ処理機等の補助実績

(単位:基)

	生ごみ処理機名	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	計
千代田町	コンポスター	2	0	3	1	1	7
	電気式	0	1	0	4	4	9
大泉町	コンポスター	6	10	3	8	10	37
	電気式	8	5	3	3	4	23
邑楽町	コンポスター	28	23	23	22	18	114
	電気式	8	9	2	1	2	22
計		52	48	34	39	39	212

表 2-2 生ごみ減量化推定値※

(単位:kg)

	生ごみ処理機名	減量化推定値
千代田町	コンポスター	2,184
	電気式	2,808
大泉町	コンポスター	11,544
	電気式	7,176
邑楽町	コンポスター	35,568
	電気式	6,864
計		66,144

※減量化推定値＝1世帯あたり減量推定値×12ヶ月×普及数

1世帯あたり減量推定値＝26kg/月（昭和61年度と平成5年度のごみ減量化量調査モデル地区からの推定値）

普及数＝平成20～24年度に補助された生ごみ処理機等の基数

## 第 2 節 収集・運搬状況

### 1. 収集・運搬体制

本地域内の収集・運搬体制を表 2-3 に示します。

家庭系ごみの収集は、委託業者によって収集運搬され、事業系ごみの収集は、自己搬入または許可業者によって収集運搬されています。

収集区域は、各町とも全域で、行政区域内人口が計画収集人口となっています。

表 2-3 収集・運搬体制

項目／町	千代田町	大泉町	邑楽町
家庭系ごみ	大泉町外二町組合からの委託		委託
事業系ごみ	自己搬入、許可	自己搬入、許可	自己搬入、許可
収集区域	全域	全域	全域

### 2. 家庭系ごみの分別排出の状況

表 2-4 に、本地域における家庭系ごみ分別区分、排出形態及び収集頻度を示します。

収集回数等に違いはあるものの、大泉町外二町でごみ分別区分は概ね同様となっています。大泉町外二町では、家庭系ごみに指定袋制は採用していません。

粗大ごみについては、各町とも随時、自己搬入を大泉町外二町組合で無料で受け付けています。

このほか、大泉町外二町では平成 25 年度から布類のイベント回収を開始しました。

住民の分別排出は概ね良好ですが、一部ステーションについてはステーションで回収できないものが排出されたり、可燃ごみに資源化可能な紙類が混入していたり、汚れの著しいものがその他プラスチックに混入しているなど、分別の不徹底が見受けられます。

表 2-4 家庭系ごみ分別区分、排出形態及び収集頻度 (1/2)

分別項目	具体的品目		千代田町		大泉町		邑楽町	
			排出形態	収集頻度	排出形態	収集頻度	排出形態	収集頻度
燃えるごみ	生ごみ、木の枝、雑草、皮、ゴム製品、紙おむつ、プラマークが付いていないプラスチック製品		透明・半透明の袋 剪定枝はひもでしぼる	週2回	透明・半透明の袋 剪定枝はひもでしぼる	週2回	透明・半透明の袋	週2回
燃えないごみ	ガラス製品、陶器類、金属類(鍋、フライパンなど)、割れたビンや資源ごみで出せないカン、家電製品等1辺が50cm以内のもの		透明・半透明の袋	隔週1回	透明・半透明の袋	隔週1回	透明・半透明の袋	隔週1回
資源ごみ	ビン(飲料用、食料用)	無色透明	白色のコンテナ	隔週1回	白色コンテナ	隔週1回	白色コンテナ	隔週1回
		茶色	茶色のコンテナ		茶色コンテナ		茶色コンテナ	
		その他の色	青色のコンテナ		青色コンテナ		青色コンテナ	
	カン(飲料用、食料用)		緑色 ネットコンテナ		緑色 ネットコンテナ		緑色 ネットコンテナ	
	白色トレイ、紙パック		拠点回収(365日 排出可能)		白色トレイは 白色ネット 紙パックは 青色ネット		白色トレイは 青色ネット 紙パックは拠点回収	
	ペットボトル		水色のネットコンテナ		青色ネットコンテナ		緑色コンテナ	
	その他のプラスチック(容器包装類)		拠点回収(365日 排出可能)		灰色ネットコンテナ		青色ネット	
	古紙類、(雑誌、雑紙、ダンボール)		紐等でしぼる		紐等でしぼる		紐等でしぼる	
古布(綿のみ)		透明・半透明の袋	透明・半透明の袋	—	—			

表 2-4 家庭系ごみ分別区分、収集形態及び収集頻度 (2/2)

分別項目	具体的品目	千代田町		大泉町		邑楽町	
		排出形態	収集頻度	排出形態	収集頻度	排出形態	収集頻度
危険ごみ	蛍光管、電球、水銀体温計、乾電池、スプレー缶、ライター、カセットボンベ	【蛍光管】 青色コンテナ 【スプレー缶、ライター、カセットボンベ】 オレンジ色コンテナ	隔週1回	蛍光管、水銀体温計は水色コンテナ、乾電池は燃えないごみの日に専用の回収容器、スプレー缶、ライター、カセットボンベはオレンジ色のコンテナ	隔週1回	蛍光管、水銀体温計は水色コンテナ、乾電池は専用の回収容器、スプレー缶、ライター、カセットボンベはオレンジ色のコンテナ	隔週1回
粗大ごみ	家具類、樹木、たたみ等	自己搬入	随時	自己搬入	随時	自己搬入	随時

### 3. 事業系ごみの分別排出の状況

事業系ごみについては、大泉町外二町清掃センター、リサイクルプラザで受入を行っています。事業系ごみは処理手数料を徴収しています。大泉町外二町の事業系ごみ処理手数料を表 2-5 に示します。

事業系ごみには、コピー用紙など資源化可能な紙類の混入や、乾燥させていない剪定枝、水切りの不十分な食品残渣の排出が見受けられます。

表 2-5 持込みごみ処理手数料（平成 26 年 3 月現在）

搬入先	価格
大泉町外二町清掃センター （事業系のみ）	70 円/5kg (5kg 以下 70 円)
大泉町外二町清掃センター （動物の死がい）	210 円/1 体

### 第 3 節 中間処理状況

#### 1. 中間処理体制

##### 1) 焼却処理施設

##### ① 大泉町外二町清掃センター

大泉町外二町清掃センターの施設概要を表 2-6 に示します。

表 2-6 大泉町外二町清掃センター

施設名	大泉町外二町清掃センター
所在地	大泉町大字上小泉 330 番地の 1
敷地面積	27,017.5 m <sup>2</sup>
焼却能力	195 t / 日 (97.5 t / 24h × 2 炉)
形 式	全連続式ストーカ炉
竣 工	平成 4 年 1 月
事業費	3,646,000 千円
工場棟	鉄筋鉄骨コンクリート造 地上 3 階地下 1 階建 延床面積 4,551.51 m <sup>2</sup> ごみピット容量 1,950 m <sup>3</sup> 灰ピット容量 120 m <sup>3</sup> 固化灰 33 m <sup>3</sup>
管理棟	鉄筋鉄骨コンクリート造 2 階建 面積 839.97 m <sup>2</sup>
計量棟	管理棟と併用 トラックスケール 20 t × 1 台
煙 突	外筒 鉄筋コンクリート造 内筒 鋼板製 直径 1.5m × 2 本 高さ 59m
洗車場	—
排水処理施設	プラント水、生活雑排水等処理
ダイオキシン類 削減対策工事	建設時設計仕様を含む (ろ過式集塵器) ダイオキシン排ガス保証値 1.0ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
ダイオキシン暴 露防止設備	竣工 平成 4 年 1 月 設備内容 1. エアシャワー室 2. エアコンプレッサー及びエアラ インマスク

2) 再資源化施設

① リサイクルプラザ

リサイクルプラザの施設概要を表 2-7 に示します。

表 2-7 リサイクルプラザ施設概要

施設名	太田市外三町広域清掃組合リサイクルプラザ
所在地	太田市細谷町 604 番地の 1
敷地面積	17,200 m <sup>2</sup>
処理能力	73 t / 5h
施設規模	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不燃ごみ・不燃性粗大ごみ処理設備 45.0 t/5h</li> <li>・ 可燃性粗大ごみ処理設備 9.5 t/5h</li> <li>・ 資源ごみ処理設備 <ul style="list-style-type: none"> <li>ペットボトル 4.0 t/5h</li> <li>白色トレイ 0.5 t/5h</li> <li>紙パック 1.0 t/5h</li> <li>その他プラスチック製容器包装 1.5 t/5h</li> </ul> </li> <li>・ ビン類処理設備 11.5 t/5h</li> </ul> 併設工場 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会福祉法人 杜の舎 かん類 8.5 t/5h</li> </ul>
竣 工	平成 16 年 3 月
事業費	2,488,500 千円
管理棟	図書資料コーナー、再生品補修工房、手作り工房、ホール、研修室、多目的ホール
重機・車両	電動式フォークリフト

## 2. 中間処理施設の処理状況

### 1) 焼却処理

#### ① 大泉町外二町清掃センターにおける焼却処理量

本地域から排出された可燃ごみは、大泉町外二町清掃センターで焼却処理されています。焼却処理量の実績を図 2-18 に示します。

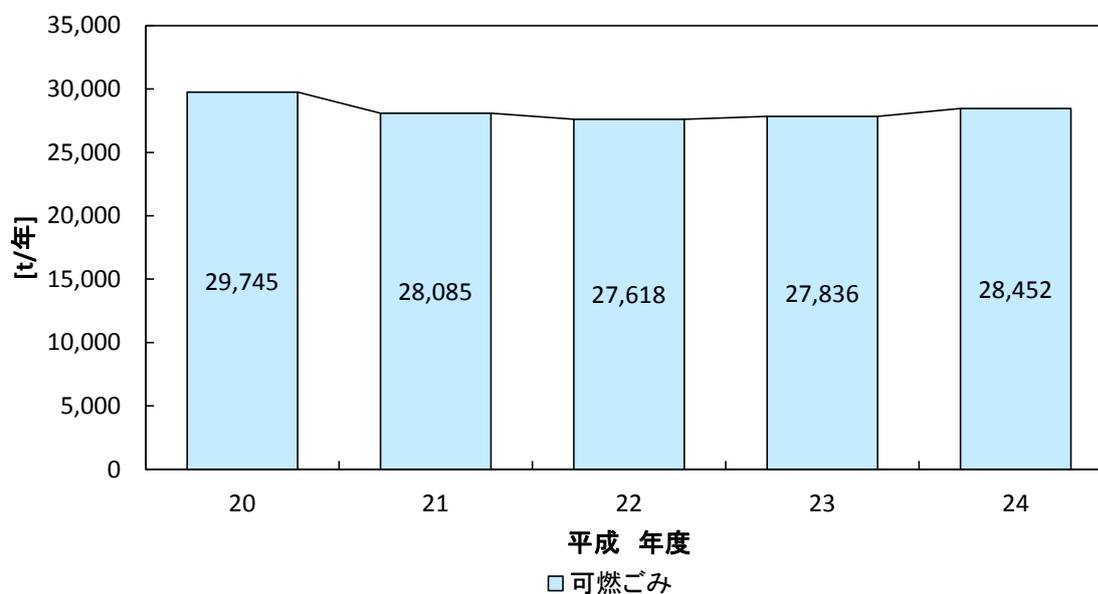


図 2-18 大泉町外二町清掃センター焼却処理量

大泉町外二町清掃センターに搬入された可燃ごみのごみ質分析結果を表 2-8 及び図 2-19～21 に示します。ごみ組成割合は、紙類の割合が多く、資源化可能な古紙類が多く含まれていることが考えられます。

水分は 45%、低位発熱量（実測）は 9,000kJ/kg 程度となっています。

表 2-8 可燃ごみ質分析結果

計量の対象		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平均
組成分析	紙・布類	%	45.78	45.13	41.80	47.53	51.30	46.31
	ビニール・合成樹脂・ゴム皮革類	%	22.40	27.48	30.50	22.35	21.98	24.94
	木・竹・ワラ類	%	16.58	15.35	11.70	17.38	14.15	15.03
	ちゅう芥類	%	5.48	4.05	4.90	6.45	5.58	5.29
	不燃物類	%	2.55	0.90	0.00	1.25	1.40	1.22
	その他	%	7.23	7.10	11.10	5.05	5.60	7.22
	合計	%	100	100	100	100	100	100
三成分	水分	%	44.35	41.23	51.50	47.18	47.68	46.39
	灰分	%	6.40	5.25	3.90	5.18	5.88	5.32
	可燃分	%	49.25	53.53	44.60	47.65	46.45	48.30
	合計	%	100	100	100	100	100	100
計算値	単位容積重量	kg/m <sup>3</sup>	127.40	106.75	149.00	142.50	137.00	132.53
	計算低位発熱量	kJ/kg	8,165.00	9,055.00	7,120.00	7,787.50	7,547.50	7,935.00
	実測低位発熱量	kJ/kg	10,170.00	10,375.00	7,660.00	8,530.00	8,392.50	9,025.50
	計算低位発熱量	kcal/kg	1,950.53	2,163.13	1,700.90	1,860.35	1,803.01	1,895.58
	実測低位発熱量	kcal/kg	2,429.50	2,478.48	1,829.90	2,037.70	2,004.87	2,156.09

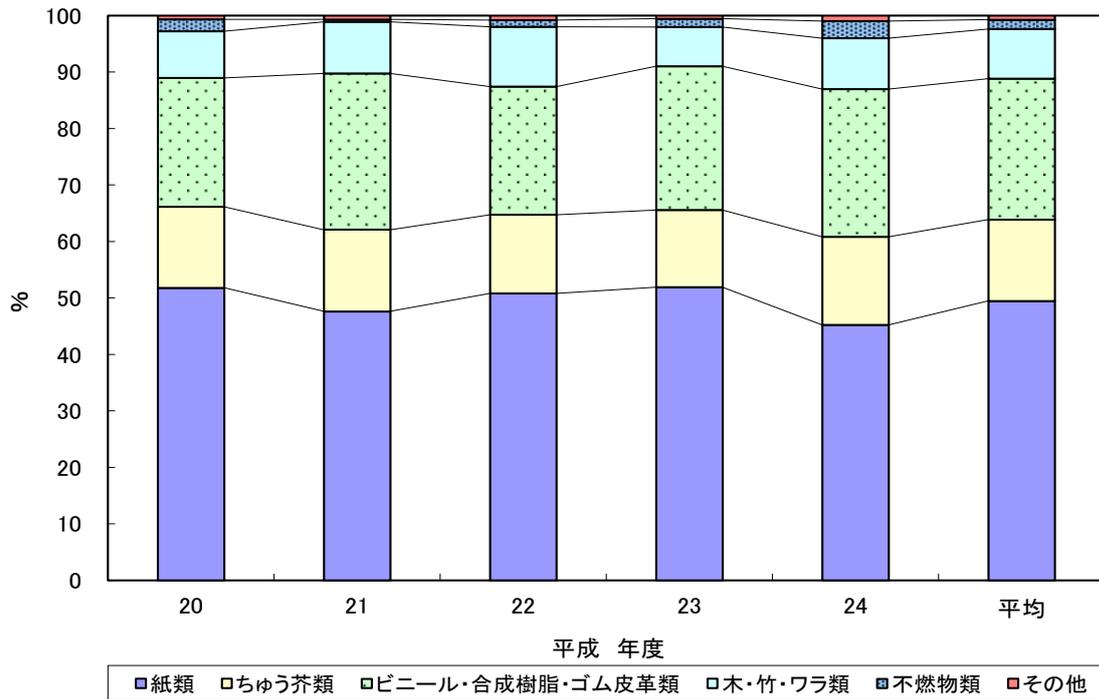


図 2-19 可燃ごみ組成割合 (乾ベース)

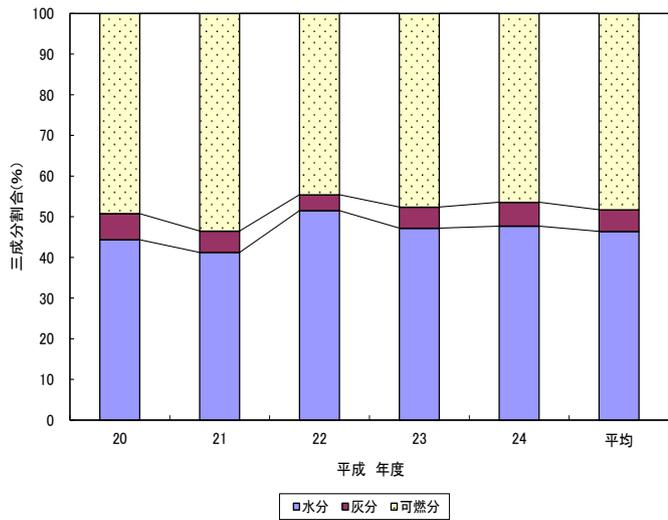


図 2-20 可燃ごみの三成分

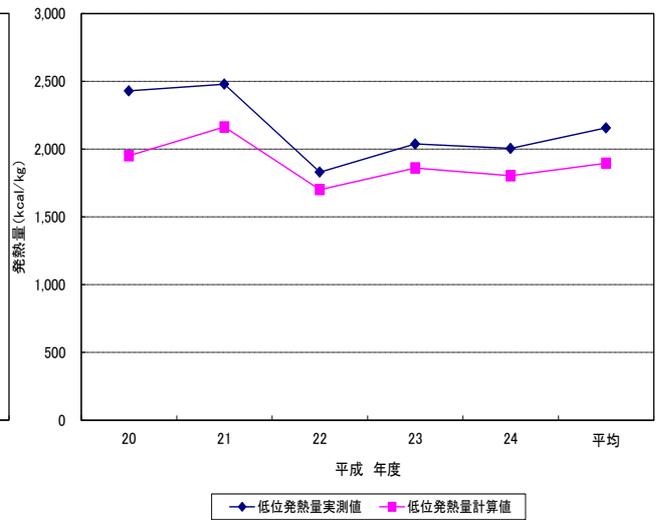


図 2-21 可燃ごみ低位発熱量

② 本地域における焼却処理量

本地域における焼却処理量<sup>\*</sup>の実績を以下の図 2-22 に示します。焼却処理量は概ね減少傾向にありましたが、平成 23 年度に増加に転じています。

焼却率については、増加傾向にあります。

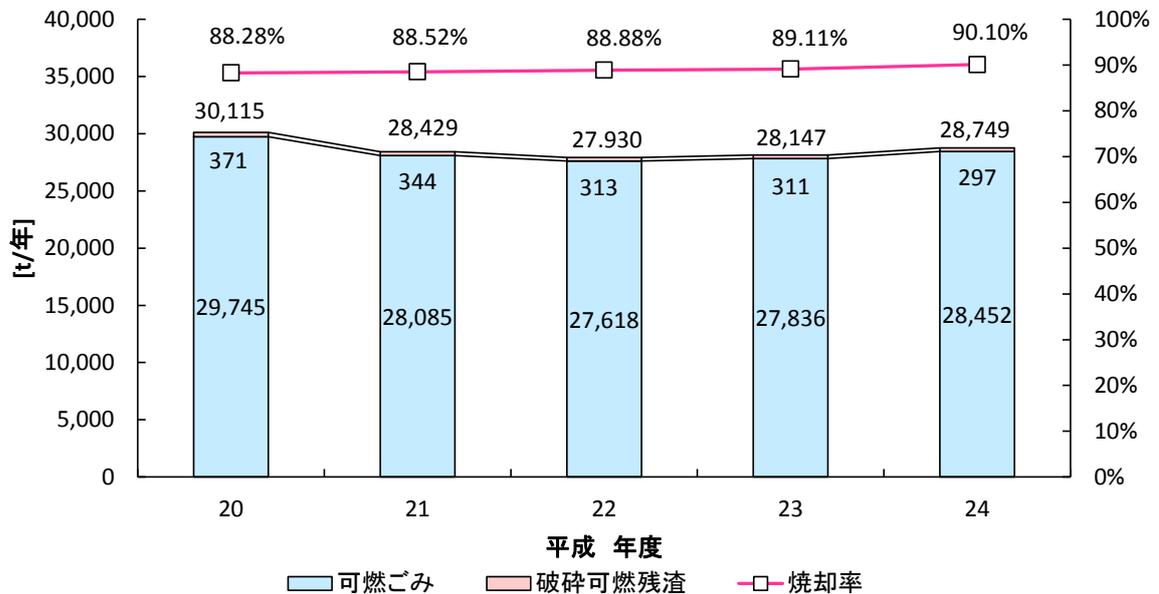


図 2-22 本地域における焼却処理量、焼却率

※本地域から排出されるごみについては、大泉町外二町清掃センターで焼却されるもの以外に不燃・粗大ごみからの破碎可燃を太田市清掃センターに委託処理をしているため、その量を含めた焼却処理量を表しています。

2) リサイクル

① リサイクルプラザにおける処理量

本地域から排出される不燃・粗大ごみは、リサイクルプラザへ搬入し破碎・選別・保管し民間業者に資源化委託しています。リサイクルプラザの搬入搬出量を表 2-9～表 2-10 に示します。

リサイクルプラザ搬出量の約 70%が資源回収されています。

表 2-9 町別リサイクルプラザ搬入量

(単位:t/年)

項目/年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
千代田町	739.79	662.81	640.21	625.91	602.02
大泉町	1,989.17	1,844.44	1,723.80	1,723.19	1,551.50
邑楽町	1,029.88	939.00	892.27	870.59	812.04
計	3,758.84	3,446.25	3,256.28	3,219.69	2,965.56

表 2-10 リサイクルプラザ搬出量内訳

(単位:t/年)

項目/年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
資源化物	2,733.22	2,519.76	2,349.56	2,326.78	2,169.85
可燃残渣	370.64	343.58	312.92	311.36	296.67
不燃残渣	555.83	523.63	532.08	531.79	503.15
ガラス等	11.97	14.39	12.18	10.88	11.13
計	3,671.66	3,401.36	3,206.74	3,180.81	2,980.80

### 3. 温室効果ガス排出状況

ごみ焼却量、燃料等使用量、買電量等から、大泉町外二町清掃センター及び大泉町外二町最終処分場における温室効果ガス（二酸化炭素）排出量を算出しました。算出結果を表 2-11 に示します。

表 2-11 温室効果ガス排出量

区分	項目		単位	排出係数	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
大泉町外二町	清掃センター	A重油	使用量	L/年		77,019	76,812	72,264	66,179	67,280
			CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub> /年	0.00271 t-CO <sub>2</sub> /L	209	208	196	179	182
		電気	使用量	kwh/年		3,518,354	3,380,074	3,248,977	3,261,762	3,187,373
			CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub> /年	0.000464 t-CO <sub>2</sub> /kwh	1,633	1,568	1,508	1,513	1,479
		焼却由来	焼却処理量	t/年		29,745	28,085	27,618	27,836	28,452
			プラ焼却量	t/年		4,307	4,067	3,999	4,031	4,120
			プラ由来CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub> /年	2.77 t-CO <sub>2</sub> /t	11,931	11,265	11,077	11,165	11,412
			合成繊維焼却量	t/年		842	795	782	788	805
			合成繊維由来CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub> /年	2.290 t-CO <sub>2</sub> /t	1,928	1,820	1,790	1,804	1,844
			焼却に伴うCH <sub>4</sub> 排出量	t-CH <sub>4</sub> /年	0.00000095 tCH <sub>4</sub> /t	0.028	0.027	0.026	0.026	0.027
			CO <sub>2</sub> 換算	t-CO <sub>2</sub> /年	21 換算係数	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
			焼却に伴うN <sub>2</sub> O排出量	t-N <sub>2</sub> O/年	0.0000567 tN <sub>2</sub> O/t	2	2	2	2	2
		CO <sub>2</sub> 換算	t-CO <sub>2</sub> /年	310 換算係数	523	494	485	489	500	
		CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub> /年		14,382	13,579	13,353	13,459	13,757	
	計	CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub> /年		16,223	15,356	15,057	15,152	15,418	
	最終処分場	灯油	使用料	L/年		11,700	8,800	11,100	33,500	9,100
			CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub> /年	0.00249 t-CO <sub>2</sub> /L	29	22	28	83	23
		軽油	使用料	L/年		245	130	286	80	64
			CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub> /年	0.00258 t-CO <sub>2</sub> /L	0.63	0.34	0.74	0.21	0.17
		電気	使用料	kwh/年		413,256	392,556	416,982	381,170	385,656
			CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub> /年	0.000464 t-CO <sub>2</sub> /kwh	192	182	193	177	179
		計	CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub> /年		222	204	222	260	202
		計	CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub> /年		16,445	15,560	15,279	15,412	15,620
	1人1日当たり温室効果ガス排出量			kg/人日		0.549	0.526	0.519	0.523	0.535

※ 排出係数、換算係数、プラスチック・合成繊維割合は、「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer. 3.4 平成25年5月 環境省 経済産業省」による。

#### 4. ごみ処理に係る経費

本地域の過去5年間におけるごみ処理経費（建設・改良費と処理及び維持管理費）を以下の表 2-12 に示します。邑楽町は、収集運搬のみ町独自委託となります。リサイクルプラザでの処理に係る経費は、組合分担金（太田市外三町組合）となります。

表 2-12 本地域におけるごみ処理経費

単位(千円)

項目		年度							
		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度			
行政区域内人口		82,004	80,999	80,720	80,512	80,006			
ごみ排出量		34,112	32,116	31,426	31,587	31,910			
千代田町	建設・改良費	0	0	0	0	0			
	処理及び維持管理費	0	0	0	0	0			
	組合分担金(太田市外三町組合)	20,708	23,912	20,754	23,626	21,954			
	その他	0	0	0	0	0			
	小計	20,708	23,912	20,754	23,626	21,954			
大泉町	建設・改良費	0	0	0	0	0			
	処理及び維持管理費	0	0	0	0	0			
	組合分担金(太田市外三町組合)	54,977	56,580	45,660	51,976	47,320			
	その他	12,027	12,099	11,642	12,075	20,713			
	小計	67,004	68,679	57,302	64,051	68,033			
邑楽町	建設・改良費	0	0	0	0	0			
	処理及び維持管理費	人件費	一般職	28,043	28,125	9,528	9,507	9,379	
			技能職	収集運搬	1,929	2,803	1,357	1,215	1,137
	処理及び維持管理費	委託費	収集運搬費	1,929	2,803	1,357	1,215	1,137	
			収集運搬費	31,913	30,035	38,455	38,527	38,858	
	組合分担金(太田市外三町組合)		28,075	30,273	24,905	28,351	26,090		
	その他		1,163	1,161	1,052	1,034	1,050		
	小計		93,052	95,200	76,654	79,849	77,651		
	大泉町外二町組合	建設・改良費	工事費	収集運搬施設	0	0	0	0	0
				中間処理施設	0	0	0	0	0
最終処分場				0	0	0	0	0	
その他				0	0	0	0	0	
調査費				0	0	0	0	0	
小計		0	0	0	0	0			
処理及び維持管理費		人件費	技能職	一般職	36,304	47,355	43,358	40,415	41,840
				収集運搬	0	0	0	0	0
				中間処理	10,322	0	0	0	0
				最終処分	0	0	0	0	0
				収集運搬費	653	619	804	805	0
		処理費	中間処理費	292,669	259,970	300,830	254,404	284,159	
			最終処分費	59,044	49,142	62,520	128,490	101,152	
			車両等購入費	0	0	0	0	0	
		委託費	収集運搬費	198,802	189,230	188,111	185,984	182,302	
			中間処理費	166,068	166,205	166,205	166,205	166,205	
			最終処分費	39,480	39,516	39,165	39,165	39,165	
			その他	0	0	0	0	0	
			調査研究費	0	0	0	0	0	
		小計		803,342	752,037	800,993	815,468	814,823	
	その他		0	0	0	0	0		
合計		803,342	752,037	800,993	815,468	814,823			
本地域	合計	984,106	939,828	955,703	982,994	982,461			
	ごみ1t当りの経費※	28.85	29.26	30.41	31.12	30.79			
	1人当りの経費※	12.00	11.60	11.84	12.21	12.28			

※ 建設費・改良費は含まない

## 第 4 節 最終処分状況

### 1. 最終処分体制

大泉町外二町については、邑楽町内に最終処分場を所有しており、大泉町外二町清掃センターから搬出される焼却灰を埋立処分しています。施設概要は表 2-13 のとおりです。

表 2-13 大泉町外二町最終処分場（平成 24 年度）

施設名	大泉町外二町環境衛生施設組合一般廃棄物最終処分場
所在地	邑楽町大字狸塚 1731 番地 1
埋立開始年度	平成 9 年度
埋立終了年度	平成 33 年度
埋立地面積 (㎡)	23,600
全体容積 (㎡)	150,000
残余容量 (㎡)	81,828
処分対象廃棄物	焼却灰
平成 24 年度埋立量 (t)	2,865.25
メタン回収の有無	回収していない

### 2. 最終処分量

最終処分量※の実績を図 2-23 に示します。

最終処分量は、減少傾向にありましたが、平成 23 年度で増加に転じ、平成 24 年度は減少しています。平成 20 年度と平成 24 年度を比較すると、大泉町と邑楽町は減少していますが、千代田町はほぼ同量の値となっています。



図 2-23 町別最終処分量の実績

※リサイクルプラザ、太田市清掃センター委託分の最終処分量を含みます。

## 第 5 節 資源化・再利用状況

### 1. 資源化の状況

#### 1) 資源化量

本地域の資源化量を図 2-24 に示します。

中間処理後資源物とは、リサイクルプラザで破砕選別後回収された資源物をいい、直接資源化とは、リサイクルプラザへ搬入はされますが、主に保管のみを行っている資源物（乾電池、蛍光灯等）をいいます。溶融資源化処理とは、委託を含め、灰を溶融処理したものを指します。

本地域における資源化量は平成 20 年度をピークに減少傾向にあります。集団回収量、中間処理後資源化物、直接資源化物ともに減少傾向にあります。

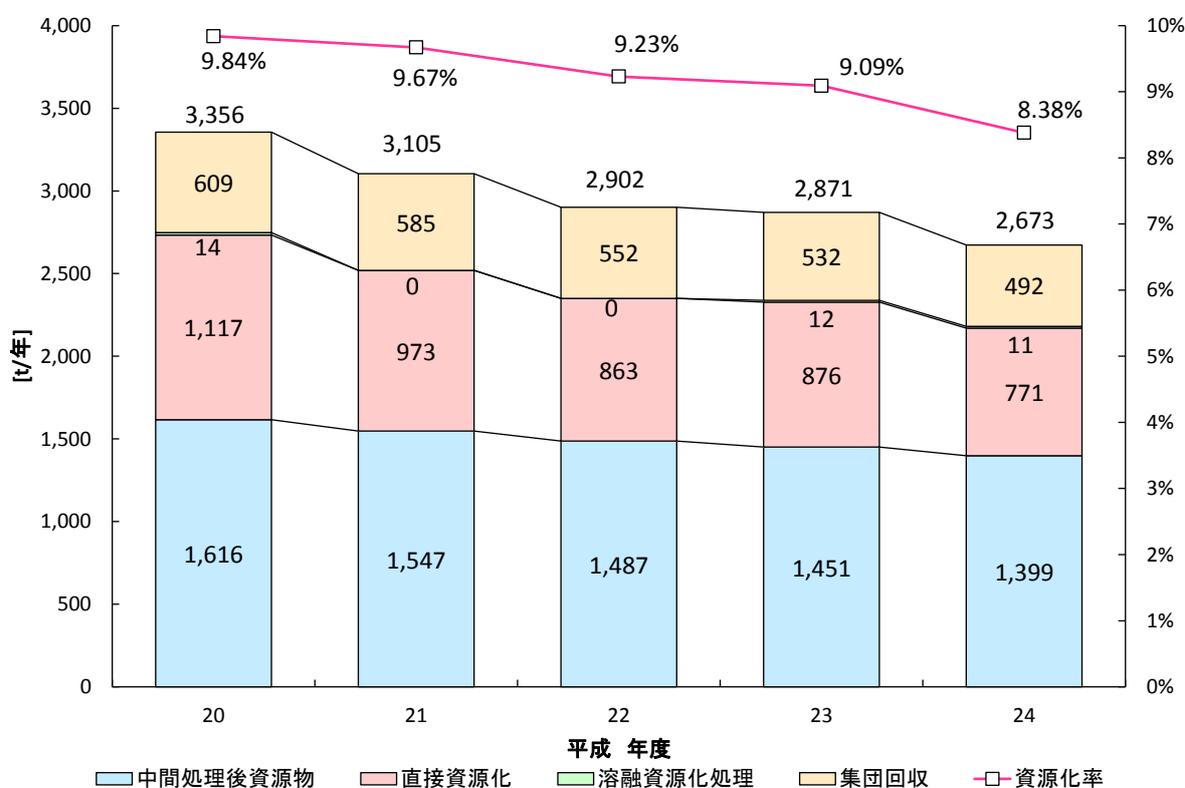


図 2-24 本地域の資源化量の実績

※資源化率 (%) = (中間処理後資源化物+直接資源化+溶融資源化処理+集団回収) / 総ごみ排出量

#### 2) 本地域及び町別の資源化率

本地域及び町別の資源化率を図 2-25 に示します。

本地域の値は全国、県の平均値よりも大幅に低くなっています。本地域では、大泉町が最も高く、邑楽町が最も低くなっています。

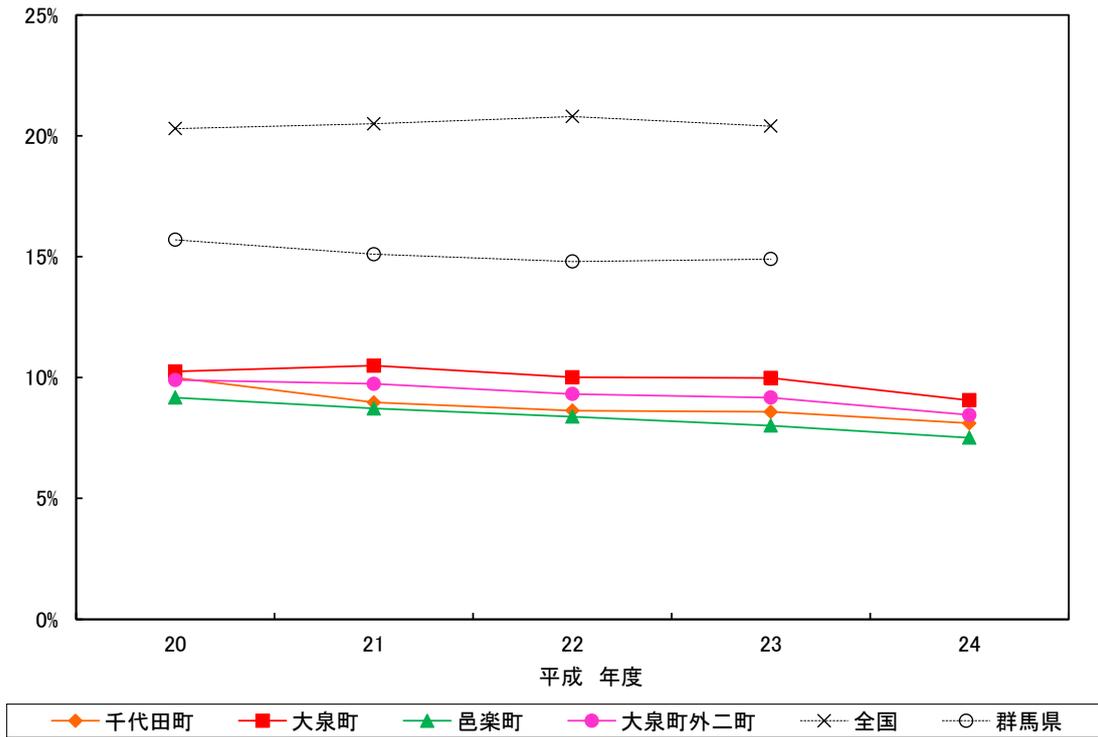


図 2-25 本地域の資源化率の実績

### 3) ごみの民間資源回収の状況

大泉町外二町では、住民の協力のもと自治会等の住民団体により集団回収を行っています。集団回収の実績を表 2-14 に示します。

また、古着のイベント回収を実施し、回収した古着を NPO に資源化委託しています。

その他、本地域では、新聞販売業者による購買古新聞の回収やスーパー等小売店における牛乳パック、白色トレイ、紙類、アルミ缶の店頭回収を行っています。

表 2-14 集団回収量の実績

(単位:t/年)

項目/年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
千代田町					
大泉町	538	515	476	453	422
邑楽町	71	70	76	79	70
計	609	585	552	532	492

※千代田町は助成金制度を導入していないため未把握

## 第 6 節 現行ごみ処理の課題

### 1. ごみの排出

本地域のごみ総排出量は平成 22 年度まで減少傾向にありましたが、平成 23 年度以降増加傾向にあります。

ごみ種類別にみると、本地域の可燃ごみ量は、減少傾向にありましたが、平成 23 年度以降増加傾向にあります。不燃・粗大ごみ量、資源ごみ量は減少傾向にあります。可燃ごみ量については、平成 21 年度以降は大泉町が横ばいに推移しており、邑楽町、千代田町が微増傾向にあります。不燃・粗大ごみ量、資源ごみ量については、各町とも概ね減少傾向にあります。

本地域の 1 人 1 日当たりのごみ排出量については、近年ほぼ横ばいで推移しています。邑楽町以外は、全国の平均値より高くなっており、大泉町がもっとも高く、次いで千代田町となっています。この 2 町の平成 23 年度の値は、群馬県平均値よりも高くなっています。

1 人 1 日当たりの家庭系ごみ排出量については、全ての町が全国の平均値よりも高く、特に大泉町と千代田町は県の平均値よりも大幅に高く、減量化していく必要があります。邑楽町については 1 人 1 日当たりの家庭系ごみ排出量は、横ばいに推移していますが、全国の平均よりも高く、今後の増加を抑制し減少させることが必要です。

事業系ごみは概ね減少傾向にありますが、事業系ごみは事業者自らがその責任において適正に処理することとなっており、今後更なる減量化、資源化に努めていく必要があります。

### 2. 収集・運搬

本地域の家庭系ごみの収集・運搬は、大泉町外二町及び大泉町外二町組合のもと、委託収集により適正に行われています。今後は、収集回数、収集方法等について分別排出の徹底や経費削減に向け、適宜見直しを行っていく必要があります。

可燃ごみには、資源化可能な紙・布類が含まれており、水分の多い生ごみ、剪定枝が排出されています。今後は、分別・排出方法の見直し、周知・徹底を行い、資源ごみの回収率を向上させていく必要があります。

### 3. 中間処理

本地域の可燃ごみ等の焼却処理を行っている大泉町外二町清掃センターは、施設稼働から 20 年以上が経過し、老朽化により維持管理費が増大するとともに、安定的なごみ処理の確保に懸念が生じています。減量化に努め施設への負担を減らしながら、大泉町外二町清掃センターの適切な維持管理を行うとともに、新しい焼却施設の整備を進める必要があります。

不燃・粗大ごみから資源物を回収する施設であるリサイクルプラザは、稼働から 9 年が経過しましたが、適切な維持管理により、適正な処理・資源化が実施されています。今後も適正な維持管理を行い、施設の延命化・長寿命化を行っていく必要があります。

また、焼却率が90%と高くなっており、可燃ごみの減量化、分別排出の徹底により低減していく必要があります。

#### 4. 最終処分

現在、焼却残渣の処分は、大泉町外二町最終処分場で行っています。リサイクルプラザからの不燃残渣は、民間の処理施設で処分されています。

大泉町外二町最終処分場の埋立期間は平成33年度までで、平成34年度以降の処分先は未定となっています。

本地域の廃棄物の安定処理確保のため、焼却残渣や不燃残渣の有効な利用方法、最終処分について検討していく必要があります。

## 第 3 章 基本方針

### 第 1 節 基本理念

近年、我が国では、これまでの「大量生産・大量消費・大量廃棄社会」の“量”に起因した問題だけでなく、有用な希少金属や有害物質を含む電気電子機器廃棄物への対応など“質”を見る重要性も高まりつつあります。そのような中、第三次循環型社会形成推進基本計画が策定され、循環を“量”の側面から捉えて廃棄物の減量化に重きをおいてリサイクル等を推進していくというステージから、循環を“質”の面からも捉え廃棄物等を貴重な資源やエネルギー源として一層有効活用して資源生産性を高め、枯渇が懸念される天然資源の消費を抑制するという新たなステージに進んでいます。

これらのことを踏まえ循環型社会を実現するためには、4Rを推進することにより、ものが循環し環境負荷の少ない低炭素社会、循環型社会の構築に向けた取組みを行っていくことが重要です。

一方で、群馬県においては群馬県一般廃棄物処理マスタープランによって、効率的な処理が可能な広域ブロック区分を設定し、それに基づいたごみ処理の広域化を推進しています。ごみ処理を広域化することによって、施設の集約化に伴う施設建設費・維持管理費の削減、環境負荷の低減が期待でき、安定的で効率的なごみ処理が可能となります。

これらの背景から、大泉町外二町では、太田市とともに新しいごみ処理体制を確立し、協働してごみ処理を行い、持続可能な社会を構築していくこととしました。

よって、本計画の基本理念を以下のように定めます。

みんなで考えようごみのこと、次の世代につなぐ4R社会

#### 4 R運動の推進

- Refuse** リフューズ（発生回避）：余計なものは買わない、使わない、貰わない。
- Reduce** リデュース（発生抑制）：使い捨てのものは買わず、詰め替え品を選ぶ。  
きちんと計画を立て、必要な量だけ買う。  
長持ちするものを選んで買う。
- Reuse** リユース（再使用）：再利用できる容器を使ったものを買う。  
不用になった物は、他の人に使ってもらおう。
- Recycle** リサイクル（再生利用）：不用品（ごみ）は、資源としてリサイクルする。  
再生原料を使っているリサイクル製品を使う。

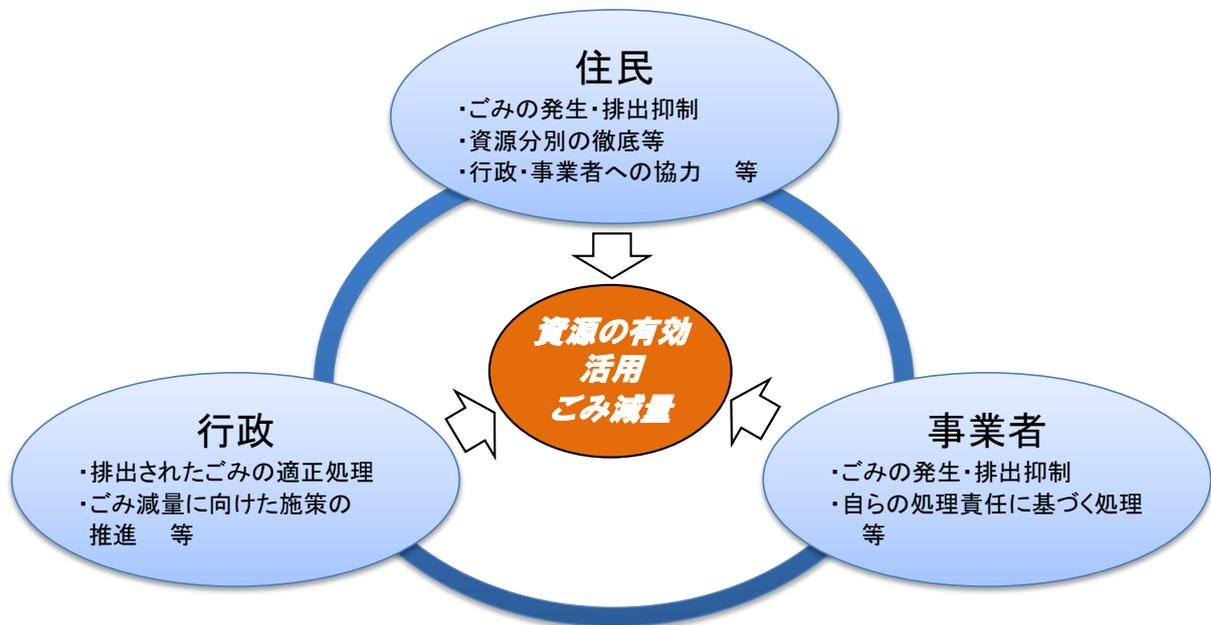
## 第 2 節 基本原則

本計画を遂行するためには、基本理念に基づいて住民・事業者・行政の三者がごみの減量、資源化の推進に向けた 4 R 運動に参画し、それぞれの役割を果たすことが必要となります。また、取組みの実施においては、三者が協働、連携し取り組むことにより、より高い水準のごみ減量、資源化が可能となります。

基本原則として、本地域に関わる各者が以下のような役割分担のもと取り組んでいくものとします。

本計画の基本原則を「住民・事業者・行政の 4 R 運動への参画と協働」とし、計画の遂行に取り組んでいくものとします。

### 住民・事業者・行政の 4 R 運動への参画と協働



### 第3節 数値目標

基本理念に基づき、ごみの減量化、資源化に係る目標値を以下のとおり定めます。

#### 大泉町外二町減量化等の目標値

区分	実績値 (平成24年度)	中間目標値 (平成30年度)	目標値 (平成40年度)
1人1日当たりの 家庭系ごみ排出量 (減量化率)	887g/人日 ( - )	851g/人日 (△4.1%)	812g/人日 (△8.5%)
事業系ごみ排出量 (減量化率)	6,009t/年 ( - )	5,756t/年 (△4.2%)	5,484t/年 (△8.7%)
資源化率	8.4%	11.3%	16.6%
最終処分量 (減量化率)	3,416t/年 ( - )	3,088t/年 (△9.6%)	1,997t/年 (△41.5%)

#### 各市町減量化等の目標値

##### 千代田町

区分	実績値 (平成24年度)	中間目標値 (平成30年度)	目標値 (平成40年度)
1人1日当たりの 家庭系ごみ排出量 (減量化率)	910g/人日 ( - )	864g/人日 (△5.0%)	819g/人日 (△10.0%)
事業系ごみ排出量 (減量化率)	1,029t/年 ( - )	978t/年 (△5.0%)	926t/年 (△10.0%)
資源化率	8.0%	11.5%	16.7%
最終処分量 (減量化率)	521t/年 ( - )	464t/年 (△10.9%)	297t/年 (△43.0%)

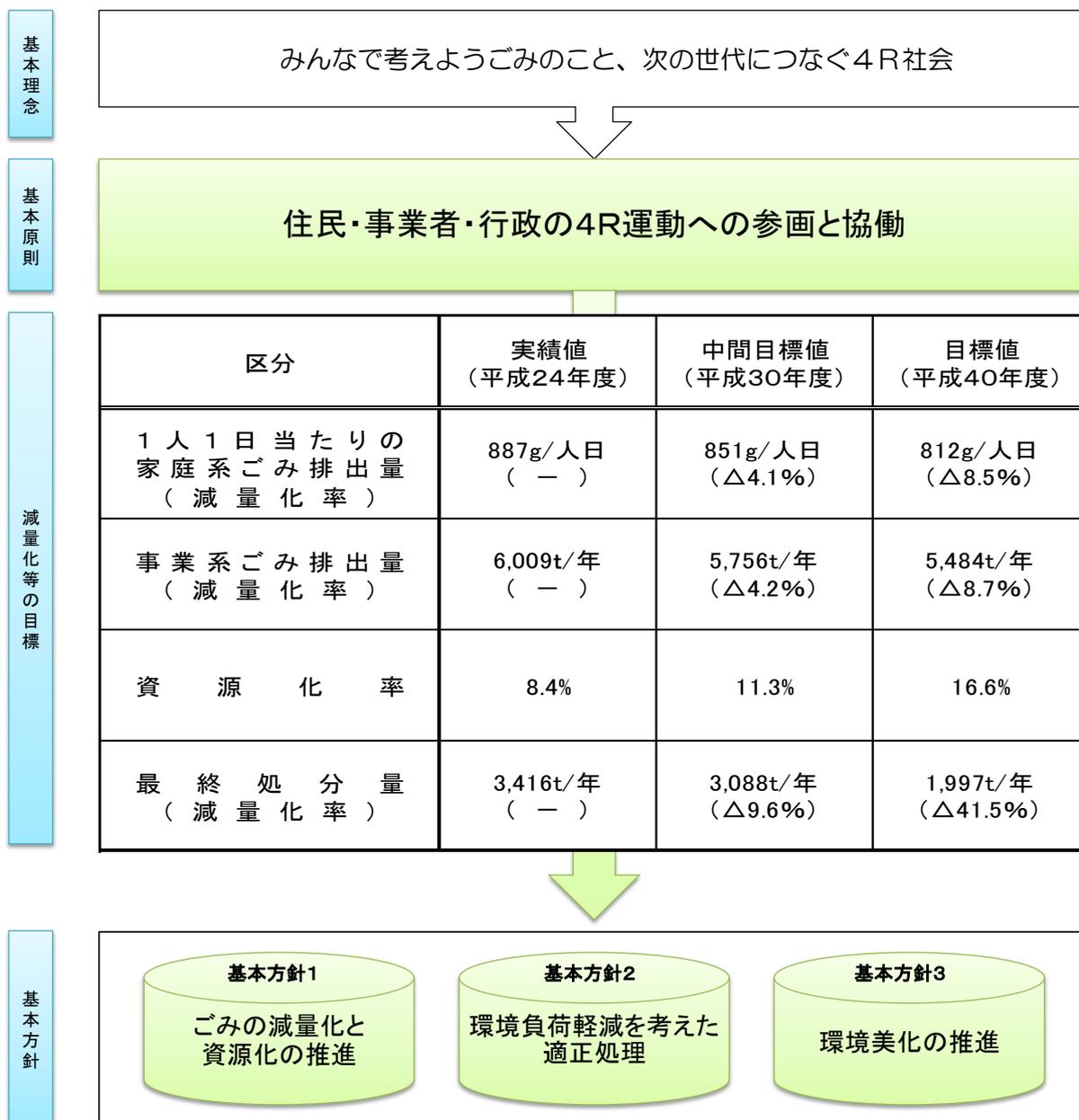
##### 大泉町

区分	実績値 (平成24年度)	中間目標値 (平成30年度)	目標値 (平成40年度)
1人1日当たりの 家庭系ごみ排出量 (減量化率)	938g/人日 ( - )	891g/人日 (△5.0%)	844g/人日 (△10.0%)
事業系ごみ排出量 (減量化率)	3,459t/年 ( - )	3,286t/年 (△5.0%)	3,113t/年 (△10.0%)
資源化率	9.0%	12.1%	16.9%
最終処分量 (減量化率)	1,833t/年 ( - )	1,637t/年 (△10.6%)	1,063t/年 (△42.0%)

##### 邑楽町

区分	実績値 (平成24年度)	中間目標値 (平成30年度)	目標値 (平成40年度)
1人1日当たりの 家庭系ごみ排出量 (減量化率)	801g/人日 ( - )	786g/人日 (△1.9%)	761g/人日 (△5.0%)
事業系ごみ排出量 (減量化率)	1,521t/年 ( - )	1,492t/年 (△1.9%)	1,445t/年 (△5.0%)
資源化率	7.4%	9.8%	16.2%
最終処分量 (減量化率)	1,062t/年 ( - )	987t/年 (△7.1%)	637t/年 (△40.0%)

第 4 節 基本計画の体系図



## 第 4 章 ごみ処理基本計画

### 第 1 節 ごみの減量化と資源化の推進

4Rの基本的な考え方として、リフューズ、リデュースを優先して推進し、それでも排出されるものについてリユース、リサイクルするものとします。

#### 1. 啓発・情報提供活動の充実

広報誌やホームページ、パンフレット、ポスター等活用して、排出抑制、再使用、再利用によるごみの減量化・資源化のための情報を継続して提供します。

発信する情報としては、ごみの分け方、出し方だけでなく、発生抑制、再使用の取組みを重点的に取り上げるとともに、住民・事業者のニーズに合わせて必要な情報をわかりやすく住民・事業者提供し、環境意識の高揚を図ります。

そのために、以下に掲げる活動を行います。

- 1) 広報誌、ホームページによる情報提供【継続】
- 2) ごみ減量化イベントの開催【継続】
- 3) 事業者への情報提供

また、地域団体と連携し、ごみをつくらない、出さないための行動を呼びかけていきます。

#### 2. 発生抑制行動に対する取組みの推進

住民や事業者の独自性を優先した発生抑制の取組みを推進するために、以下に掲げる活動を支援します。

- 1) 地球に優しい買い物運動の推進【継続】
- 2) リサイクルイベントの開催【継続】
- 3) 生ごみ処理機器購入者補助【継続】
- 4) 生ごみ水切り推進
- 5) 剪定枝、草の乾燥推進

#### 3. 環境教育の実施

教育機関やボランティア団体との連携を強化し、各団体が主催する研修会などに町または組合職員が講師として参加し情報の提供、環境学習の普及・啓発を図ります。

そのために、以下に掲げる活動を行います。

- 1) 学校教育における4R運動学習プログラムの提供【継続】
- 2) 住民が環境に対する知識と行動を習得する場の提供【継続】

#### 4. ごみ処理手数料の適正化

排出者負担の原則、ごみ処理費用負担の公平性から家庭系ごみの有料化や事業系ごみ処理手数料の見直しを検討します。

処理手数料の見直しにあたっては、他自治体の動向を把握するとともに、処理コストの把握に努め、適正な料金体系の見直しを検討します。

#### 5. 資源化への取組み

不要となったものを再使用、再生利用するための仕組みづくりを行うとともに分別排出の徹底、住民や事業者の自主的な資源化の取組みを推進していきます。

そのために、以下に掲げる活動を行います。

- 1) 集団資源回収活動への助成【継続】
- 2) グリーン購入のすすめ【継続】
- 3) 分別区分の適宜見直し
- 4) 事業系ごみの資源化の促進

## 第 2 節 環境負荷軽減を考えた適正処理

### 1. 将来ごみ処理体制

#### 1) 将来ごみ処理フロー

今後は、太田市外三町のごみ焼却施設を統廃合し、太田市と大泉町外二町で新たなごみ処理施設として広域熱回収施設を整備するものとします。

平成 32 年度までは、現在のごみ処理フローを継続し、排出抑制・資源化を推進するものとします。広域熱回収施設稼働後の平成 33 年度からは、図 4-1 のとおり処理を行っていきます。

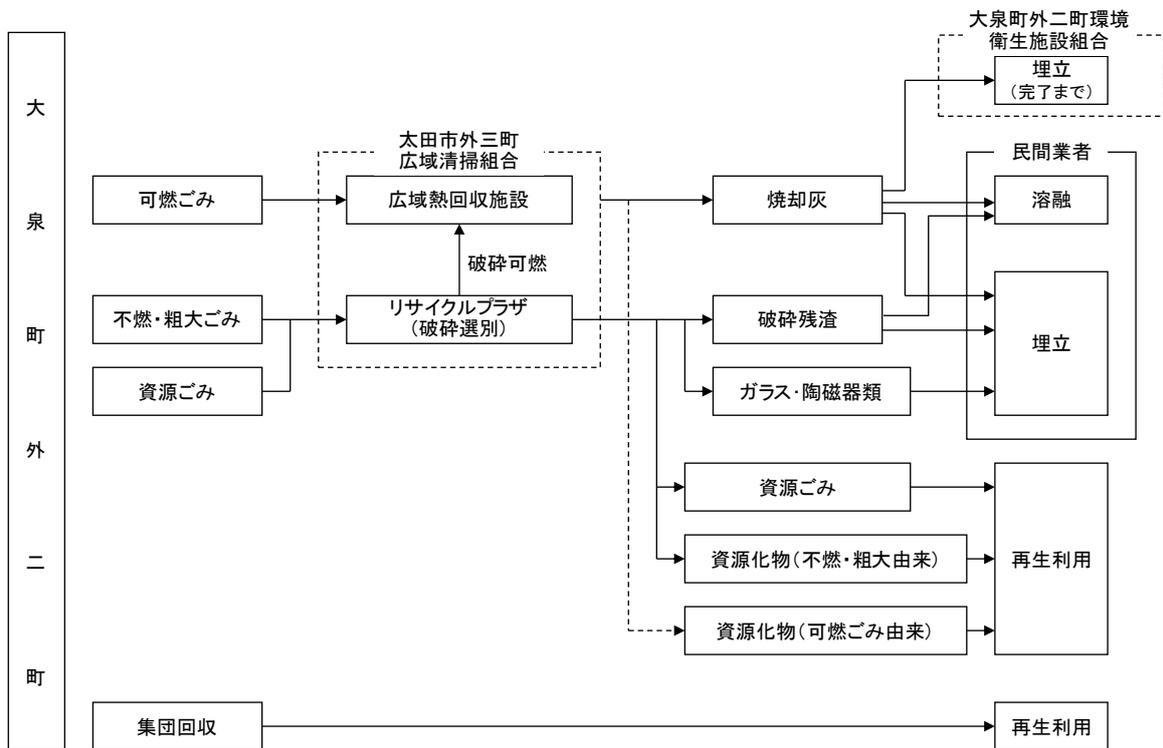


図 4-1 将来のごみ処理フロー

## 2) ごみ処理主体

ごみ処理主体について、現在及び将来の処理主体を表 4-1 に示します。

表 4-1 現在及び将来の処理主体

		現在	将来（平成 32 年度まで）	将来（平成 33 年度以降）
収集・運搬	家庭系	委託・自己搬入	委託・自己搬入	委託・自己搬入
	事業系	自己搬入、許可業者	自己搬入、許可業者	自己搬入、許可業者
中間処理 (焼却施設)		大泉町外二町清掃センター	大泉町外二町清掃センター	太田市外三町広域清掃組合 広域熱回収施設
中間処理 (資源化施設)		太田市外三町広域清掃組合 リサイクルプラザ	太田市外三町広域清掃組合 リサイクルプラザ	太田市外三町広域清掃組合 リサイクルプラザ
最終処分		大泉町外二町最終処分場	大泉町外二町最終処分場	民間委託 大泉町外二町最終処分場

## 2. 収集・運搬計画

### 1) 分別区分

将来の家庭系ごみ分別区分及び収集頻度の計画について表 4-2 に示します。平成 25 年 4 月 1 日に施行された小型家電リサイクル法に基づき小型家電のリサイクルを推進するため、新たに分別区分を設けます。また、新たに古布類の資源化を強化していくために、古布類の分別区分を設けます。

表 4-2 将来のごみ分別区分及び収集頻度

分別項目	具体的品目		千代田町	大泉町	邑楽町
			収集頻度	収集頻度	収集頻度
燃えるごみ	生ごみ、木の枝、雑草、皮、ゴム製品、紙おむつ、プラマークが付いていないプラスチック製品		週 2 回	週 2 回	週 2 回
燃えないごみ	ガラス製品、陶器類、金属類（鍋、フライパンなど）、割れたビンや資源ごみで出せないカン、家電製品等 1 辺が 50cm 以内のもの		隔週 1 回	隔週 1 回	隔週 1 回
資源ごみ	ビン（飲料用、食料用）	無色透明	隔週 1 回	隔週 1 回	隔週 1 回
		茶色			
		その他の色			
	カン（飲料用、食料用）				
	白色トレイ、紙パック				
	ペットボトル				
	その他のプラスチック（容器包装類）				
	古紙類				
	古布（綿のみ）				
	古布類				拠点回収
小型家電		拠点回収	拠点回収	拠点回収	
剪定枝		—	—	—	
危険ごみ	蛍光管、電球、水銀体温計、乾電池、スプレー缶、ライター、カセットボンベ		隔週 1 回	隔週 1 回	隔週 1 回
粗大ごみ	家具類、樹木、たたみ等	自己搬入	随時	随時	随時

## 2) 収集・運搬

広域熱回収施設稼働後は、処理施設までの運搬ルートが現在より長くなることから、温室効果ガスの削減、収集運搬費用の低減を目指してより効率的な運搬ルート等を検討していきます。

家庭系ごみ自己搬入分については、住民サービス維持のため別途中継施設を設ける等の検討を行います。

広域熱回収施設稼働後の収集・運搬体制、収集・運搬主体と施設の運営主体の情報共有等については、太田市外三町、太田市外三町組合、大泉町外二町組合で今後詳細に検討し、相互の連携を強化していくものとします。

### 3. 中間処理計画

本地域の焼却施設は老朽化が進んでいることから、焼却施設を統廃合し、太田市外三町で新たに広域熱回収施設を整備し、本地域の安定的なごみ処理体制を確保します。

#### 1) 適正処理の継続

広域熱回収施設稼働までは、現在の中間処理、資源化体制を維持していきます。大泉町外二町清掃センターは老朽化が進行していることから、広域熱回収施設稼働までの運転が可能となるよう必要な維持管理・補修を行い処理能力の維持に努めます。リサイクルプラザについては、太田市外三町組合で延命化・長寿命化を図るため適正な維持管理・補修を行い、処理能力の維持に努めます。

民間業者への資源物の売却、資源化委託、処理委託を継続するとともに適正な資源化、処理・処分が行われているか確認・監視していきます。

#### 2) 広域熱回収施設の整備

広域熱回収施設の整備は太田市外三町組合が行います。施設の整備にあたっては、施設整備に関する環境調査や住民説明会等を実施し、住民参画と環境に配慮していきます。施設計画検討等の太田市外三町組合が実施する施策に大泉町外二町は協力していきます。

広域熱回収施設では、ごみ発電などごみ焼却に伴い発生する熱エネルギーの有効活用を図っていきます。

想定される広域熱回収施設の概要を表 4-3 に示します。

表 4-3 広域熱回収施設概要

名称	(仮称) 太田市外三町広域熱回収施設
建設場所	太田市細谷町 1712 番地 (現太田市清掃センター敷地内)
処理能力	約 330 t/日 (約 165 t/日×2 炉)
稼働開始予定年	平成 33 年度
炉形式	全連続燃焼方式 (ストーカ炉)
エネルギー回収	発電等

### 4. 最終処分計画

現在、大泉町外二町は、大泉町外二町組合が管理運営している最終処分場で埋立を行っていますが、今後も最終処分先を確保するため、減量化・資源化を推進し、最終処分量の低減を図りながら、広域での適切な最終処分のあり方を検討していきます。

また、大泉町外二町最終処分場については、平成 33 年度で埋立完了予定となっておりますが、残余容量を勘案し今後の活用方法を検討していきます。

### 第 3 節 環境美化の推進

#### 1. 不法投棄対策

本地域では、ごみステーションへの不適切排出や私有地等への不法投棄があります。不法投棄は、投棄された土地所有者に責任が生じるため、土地所有者への周知や不法投棄パトロールの強化等を太田市外三町、太田市外三町組合、大泉町外二町組合、周辺自治体と協力し、廃棄物の不法投棄の防止に努めていきます。

#### 2. 街の美化

美しい街づくりを推進するため、住民、事業者、行政が連携して清掃活動やポイ捨て防止、植栽・植林を行う活動を行っていきます。

### 第 4 節 その他の計画

#### 1. 災害廃棄物処理対策

災害発生時の廃棄物処理については、各町の地域防災計画に沿って、ごみの収集運搬、中間処理、最終処分を行うこととなっています。

広域熱回収施設稼動後は、本地域におけるごみ処理施設は広域熱回収施設のみとなるため、災害廃棄物の処理体制については、太田市外三町組合及び大泉町外二町組合と協議するとともに、周辺自治体・一部事務組合との相互の速やかな支援体制を予め協議・構築していきます。

## 第 5 節 三者の役割

本計画を推進するために定めた基本方針に基づいて、住民・事業者・行政が行うべき取組みを以下の表 4-4 に示します。

表 4-4 住民・事業者・行政の取組み (1/2)

方針	施策	行政	事業者	住民
ごみの発生抑制の取組み	啓発・情報提供活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>発生・排出抑制方法の周知</li> <li>店舗へ要請</li> <li>イベント会場でごみの減量や資源化をPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品リサイクル法への取組み</li> <li>やさしい買い物運動</li> <li>過剰包装の削減</li> <li>電子化によるペーパーレス化の推進</li> <li>環境配慮型店舗への転換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レジ袋の削減、マイバッグ持参</li> <li>詰め替え製品の購入</li> <li>製品の長期使用</li> <li>エコクッキング</li> </ul>
	発生抑制行動に対する取組みの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球に優しい買い物運動の推進</li> <li>リサイクルイベントの開催</li> <li>生ごみ水切りの推進</li> <li>剪定枝、草の乾燥推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>優しい買い物運動(簡易包装、レジ袋・トレイ削減、ばら売り・量り売り等)</li> <li>生ごみ水切り</li> <li>剪定枝、草の乾燥</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイバッグの持参</li> <li>優しい買い物運動実施</li> <li>生ごみ水切り</li> <li>剪定枝、草の乾燥</li> </ul>
	ごみ処理手数料の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ有料化の検討</li> <li>ごみ処理手数料の見直し</li> <li>一般廃棄物処理システムによる評価の検討</li> </ul>		
	環境学習の普及・啓発 学校教育・学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設見学会の開催</li> <li>学習プログラムの充実</li> <li>各種団体との連携</li> <li>副読本等による情報提供</li> <li>出前講座の実施</li> <li>学校との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境教育の充実</li> <li>行政との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会へ参加</li> <li>ごみの分別、適正排出</li> </ul>
	排出事業者責任の浸透	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の提供</li> <li>実施要請</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>拡大生産者責任の認識と実行</li> <li>環境にやさしい商品の開発</li> <li>廃棄物の自主回収</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境にやさしい商品の購入</li> </ul>
	多量排出事業所指導体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>処理計画書提出要請の検討[町、組合]</li> <li>立ち入り調査の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画書・報告書の提出</li> </ul>	
ごみの減量化と資源化の推進	資源化推進のための仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>不用品の情報提供</li> <li>リサイクルショップの利用促進</li> <li>グリーン購入への推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>再使用の推進</li> <li>リサイクルショップ等の設立</li> <li>グリーン調達</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返し使用する</li> <li>リターナブル商品の使用</li> <li>フリーマーケット等の活用</li> <li>グリーン購入</li> </ul>
	分別排出・収集の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>搬入検査の強化</li> <li>外国語表記のパンフレット作成</li> <li>適正処理困難物の事業者回収の法整備に向けた働きかけ</li> <li>分別の手引き配布</li> <li>地域との連携</li> <li>分別区分の適宜見直し</li> <li>小型家電、レアメタルの分別回収</li> <li>資源ごみ持ち去りの規制、パトロールの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な分別排出</li> <li>店頭回収の促進</li> <li>各種リサイクル法に基づき資源化の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な分別排出</li> <li>拠点回収への協力</li> <li>店頭回収の積極的利用</li> <li>資源物持ち帰りの通報</li> </ul>
	地域の自主的な取組みの活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団回収活動への助成</li> <li>活動の情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動への協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動への参加</li> </ul>
	生ごみ堆肥化への取組み推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>生ごみ処理機器等購入助成</li> <li>生ごみ減量に関する啓発</li> <li>堆肥化の推進、堆肥活用策の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食べ残し削減の工夫</li> <li>食品廃棄物の自己処理</li> <li>食品リサイクルの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンポスター等の使用による生ごみ減量</li> <li>水切りの徹底</li> <li>調理の工夫、食べ残しをしないなどの実践</li> <li>ごみをつくらないライフスタイルへの転換</li> </ul>
	剪定枝等再生利用の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>剪定枝再生利用の検討</li> <li>廃食用油の拠点回収の継続及び検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な自己搬入</li> <li>回収拠点の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な自己搬入</li> </ul>
	事業系ごみの資源化情報の提供や指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>排出事業者への分別指導等の啓発</li> <li>情報提供</li> <li>パンフレットの発行</li> <li>搬入検査の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの減量及び分別の徹底</li> <li>従業員を対象とした学習会の実施</li> <li>機密文書、シュレッダーごみ資源化の推進</li> </ul>	

表 4-4 住民・事業者・行政の取組み (2/2)

方針	施策	行政	事業者	住民	
環境負荷軽減を考えた適正処理	既存施設の適正管理	既存施設の維持管理の徹底	・搬入ごみチェック体制の強化[組合] ・施設整備体制の充実[組合] ・安全・安定的な処理[組合] ・効率的な施設運営[組合]	・分別収集への協力 ・適正な分別排出 ・適正な自己搬入	・分別収集への協力
		収集作業の安全性の確保	・安全運転、安全確認		・分別の徹底
	広域化によるごみ処理体制の確立	1市3町連携による事業の推進	・ごみ減量施策統一化の検討 ・処理手数料統一化の検討		
		効率的な収集運搬体制の確立	・新施設稼働に向けた収集運搬管理の見直し ・連携強化	・適正な分別排出	・ごみ出しルールの遵守 ・収集時間への協力
		新焼却施設の整備	・運営・管理方法の検討 [※組合] ・収集・運搬の適正計画の検討		
		廃棄物焼却による熱エネルギー回収	・発熱・余熱利用設備の整備[※組合] ・余剰電力の売却[※組合]		
		資源化施設の維持管理	・資源化施設の補修・維持管理[※組合]		
		最終処分場の維持管理・延命化	・ごみ減量化の啓発 ・大泉町外二町最終処分場の将来活用の検討 [※組合] ・焼却灰資源化の検討[※組合] ・最終処分方法の検討[※組合]		
	環境美化の推進	二酸化炭素排出量の削減	・収集車両低公害車へ更新 ・熱回収施設の設置[※組合] ・排出抑制の啓発、ハイブリッド車導入 [※組合] ・中間処理施設の適正管理[※組合]	・プラスチックごみ等の発生抑制 ・環境負荷の少ない製品の選択、車の開発	・プラスチックごみ等の発生抑制 ・店頭回収の利用 ・収集時間への協力
		適正処理困難物への対応	・適正処理困難物の事業者回収の法整備に向けた働きかけ ・処理相談窓口や販売店の紹介[※組合]	・適正な分別排出	・分別収集への協力
その他	不法投棄の防止	・パトロールの実施 ・周辺自治体、県、警察との協力体制 ・情報の提供	・行政への通報 ・自主パトロールの実施 ・情報の提供	・行政への通報 ・地域一斉清掃の実施 ・自主パトロールの実施 ・情報の提供	
	ポイ捨て防止と美化啓発の推進	・住民への啓発 ・ポイ捨て防止推進事業 ・新規指定区域について検討 ・横断幕、懸垂幕、のぼり等の設置による啓発 ・広報、インターネットによる啓発	・キャンペーンへの参加 ・ボランティアへの参加 ・地域との連携	・キャンペーンへの参加 ・ボランティアへの参加 ・美化意識の向上	
	イベントでの減量化の推進	・マイカップ、マイハン持参の呼びかけ ・ごみ持ち帰り、分別排出の周知		・マイカップ等持参 ・ごみ持ち帰り	
その他	再生可能エネルギーの活用	・太陽光発電の併設検討、太陽光パネルの設置			
	災害時のごみ処理対策	・近隣市町との連携体制の確立	・ごみ処理の協力	・地域における応援体制の確立	

※太田市外三町組合を含む

## 第 6 節 ごみ排出量の将来予測

### 1. 計画収集人口の予測

大泉町外二町の将来人口を図 4-2 に示します。

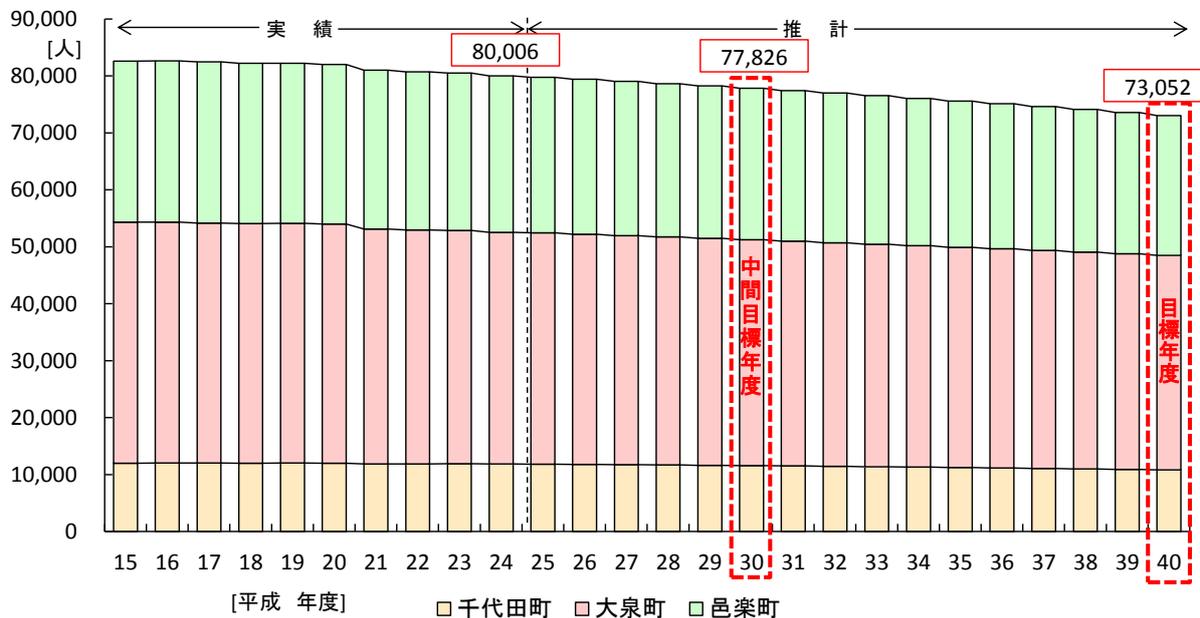


図 4-2 将来人口

### 2. 将来ごみ排出量

将来ごみ排出量の予測を図 4-3 に示します。

現状のまま推移すると、人口の減少に伴いごみ排出量は減少すると予測されます。

第 3 章第 3 節の数値目標に示した目標値を達成した場合、平成 24 年度約 32,000 t であったごみ排出量は、中間目標年度の平成 30 年度には約 30,000 t、目標年度の平成 40 年度には、約 27,000 t まで削減されると予測されます。

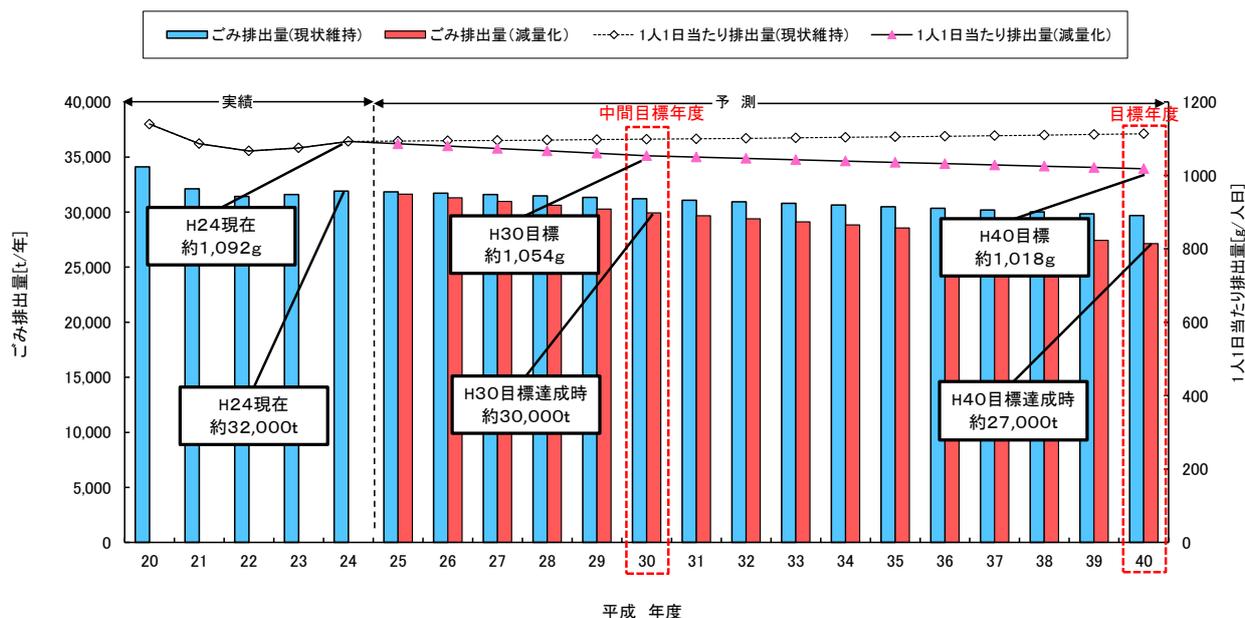


図 4-3 将来ごみ排出量の予測

### 3. 資源化率と最終処分量

資源化率と最終処分量の予測を図 4-4 に示します。

資源化率は、可燃ごみ中の紙ごみ、古布類から資源物の回収率を高めることで、増加が見込まれます。広域熱回収施設稼働後は、灰溶融委託を今後も続けた場合、最終処分量の減少と資源化率の増加が見込まれます。

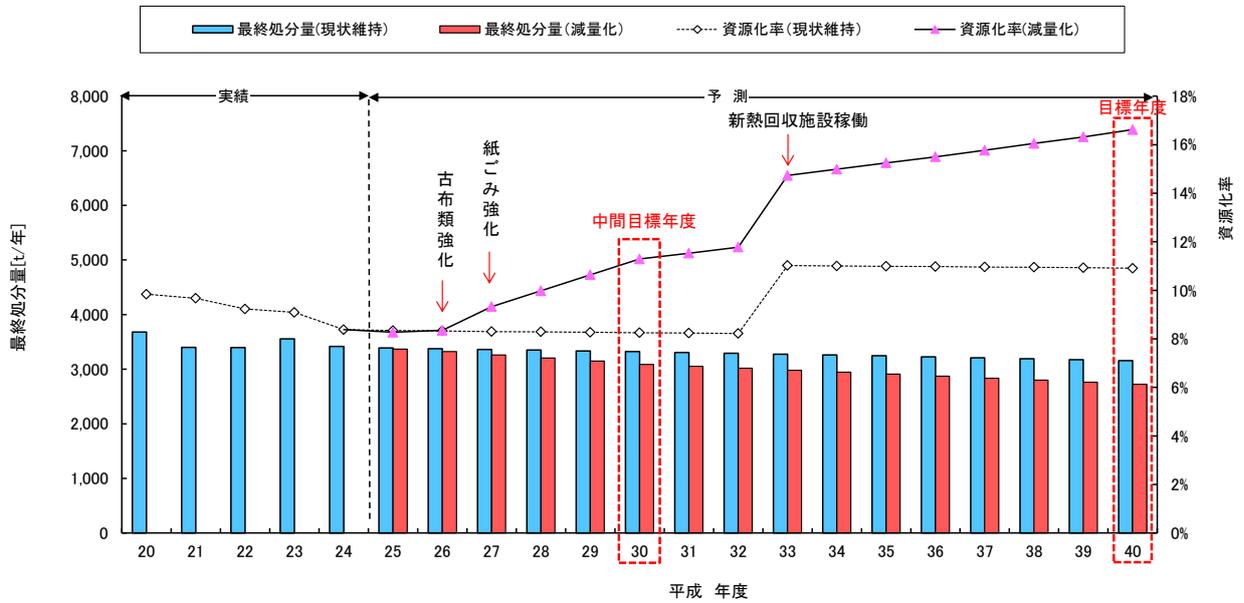


図 4-4 資源化率と最終処分量の予測

## 第 7 節 計画の点検・見直し・評価

事業の実施効果を把握するため、表 4-5 に示す項目について、毎年点検・評価を行い、施策の実施効果について把握していきます。

また、本計画は必要に応じて見直しを行っていきませんが、計画の見直しに当たっては、年度ごとの評価を踏まえ見直しを行っていきます。

表 4-5 評価項目

視点	指標で測るもの	指標の名称	単位	計算方法
循環型社会 形成	廃棄物の発生	1人1日当たりごみ排出量	g/人日	$(\text{年間収集量} + \text{年間直接搬入量} + \text{集団回収量}) \div \text{計画収集人口} \div \text{年度日数}$
	廃棄物の再生利用	資源化率	%	$\text{総資源化量} \div (\text{年間収集量} + \text{年間直接搬入量} + \text{集団回収量})$
	最終処分	最終処分量	%	$\text{最終処分量} \div (\text{年間収集量} + \text{年間直接搬入量} + \text{集団回収量})$
その他	施策の実施状況	—	—	施策実施ができていますか

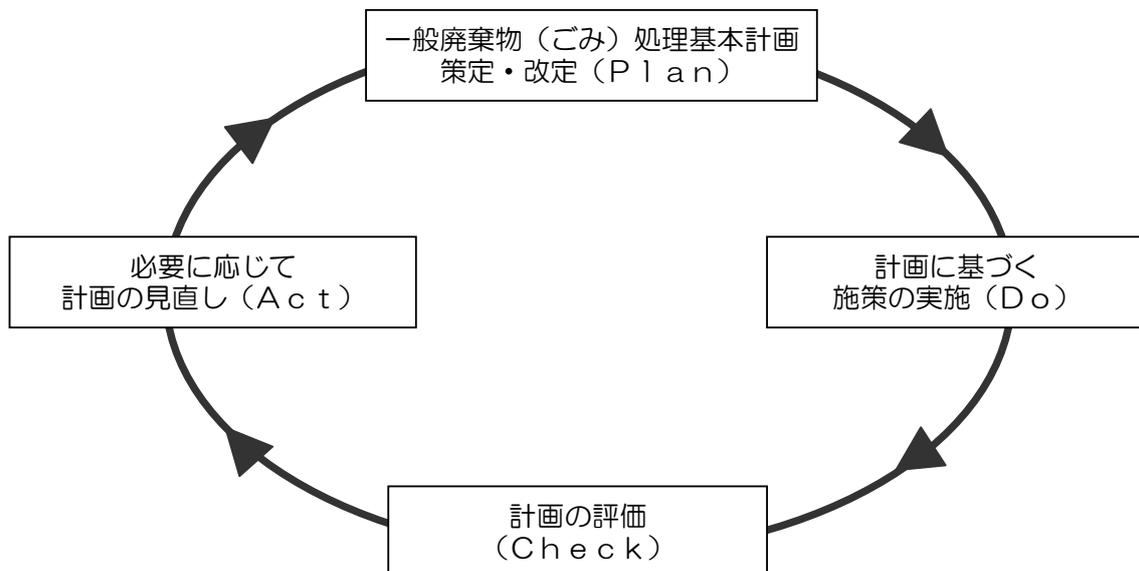


図 4-5 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画におけるPDCAサイクル

## 資料編

# 第 1 章 地域概況

## 第 1 節 地理的概況

### 1. 地勢

本地域は、群馬県南東部の南は利根川、北は渡良瀬川にはさまれた東毛地域の中央部に位置し、関東平野の洪積台地上にあり、その表面を関東ローム層に覆われ、標高は 20m から 30m 程度となっています。

千代田町は、三町の南側に位置し、利根川の左岸に沿って東西に細長く伸びた平坦地です。北は館林市・邑楽町、東は明和町、西は大泉町、南は利根川を隔てて埼玉県行田市・熊谷市に隣接しています。

大泉町は、三町の北西側に位置し、地形は平坦で群馬県で一番小さい町です。北及び西は太田市、東は邑楽町・千代田町、南側は利根川を隔てて埼玉県熊谷市に隣接しています。

邑楽町は、三町の北東側に位置し、平均標高は 25m の平坦地です。北は栃木県足利市、東は館林市、西は太田市、大泉町、南は千代田町に隣接しています。

各市町の概要を表 1-1 に、位置図を図 1-1 に示します。

表 1-1 各町の概要

町名	千代田町	大泉町	邑楽町
人口	11,871 人	40,681 人	27,454 人
面積	21.76km <sup>2</sup>	17.93km <sup>2</sup>	31.12km <sup>2</sup>

資料：住民基本台帳（在留外国人含む）

平成 25 年 4 月 1 日現在



図 1-1 位置図

## 2. 気候

本地域の気候は、比較的温暖で、年間平均気温は15℃程度であり、降水量は比較的少なく積雪はまれです。冬から早春にかけて「上州のからっ風」と呼ばれる季節風が吹き、気温以上に体感温度は低く感じます。一年を通して晴天の日が多く日照時間が多いのも特徴であり、夏は気温が高く雷雨が多く発生します。

本地域の気温及び降水量の推移を表 1-2、図 1-2 に示します。

最高気温は39.2℃、最低気温は-5.6℃となっており、年間降水量は1,059.5mm となっています。日照時間は2,269h、平均風速は2.4m/s となっています。

表 1-2 本地域の気温及び降水量の推移（平成 24 年）

	気温 (°C)			降水量 (mm)		平均風速 (m/s)	日照時間 (h)
	平均気温	最高	最低	月間	最大日		
1月	2.7	11.7	-5.6	35.5	17.0	2.6	213.6
2月	3.7	15.5	-5.6	44.0	18.0	2.7	189.3
3月	7.5	21.2	-1.2	95.5	29.0	2.7	178.5
4月	13.5	27.5	1.1	90.0	37.5	2.7	178.1
5月	19.0	29.9	7.6	210.0	104.5	2.7	224.3
6月	21.4	32.2	15.0	154.0	67.0	2.2	140.9
7月	26.5	39.2	16.5	143.0	35.5	1.9	159.6
8月	29.2	38.0	22.7	21.0	9.5	2.0	260.1
9月	25.5	35.7	15.8	119.0	39.5	2.1	170.6
10月	18.1	32.6	7.8	72.5	20.0	2.2	190.0
11月	10.6	21.8	0.4	49.0	20.0	2.5	169.7
12月	5.1	17.1	-4.6	26.0	15.0	2.8	194.3
年間	15.2	39.2	-5.6	1059.5	104.5	2.4	2269.0

資料：館林地域気象観測所（アメダス）

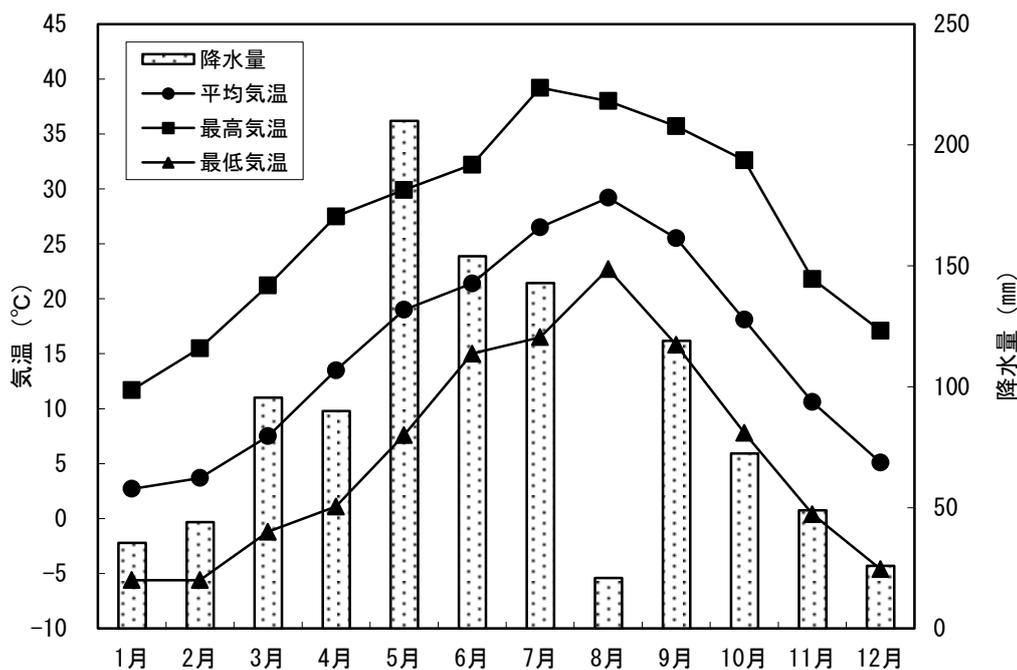


図 1-2 本地域の気温及び降水量の推移（平成 24 年）

## 第 2 節 社会的概況

### 1. 人口動態

#### 1) 本地域

本地域の過去 10 年間（平成 15～24 年度）の人口及び世帯数の推移を表 1-3、図 1-3 に、5 歳階級別人口を図 1-4 に示します。

総人口は概ね減少傾向にありますが、世帯数は増加傾向にあります。内訳をみると日本人、外国人ともに減少傾向にあります。

5 歳階級別人口については、60～64 歳が最も多く、次いで 35～39 歳が多いひょうたん型となっています。

表 1-3 本地域の人口及び世帯数の推移

年度	世帯数 (戸)	人口 (人)			一世帯当り (人)
		総数	日本人	外国人	
平成 15 年	26,125	82,592	75,655	6,937	3.2
平成 16 年	26,338	82,648	75,421	7,227	3.1
平成 17 年	26,528	82,474	75,122	7,352	3.1
平成 18 年	26,737	82,230	74,764	7,466	3.1
平成 19 年	27,004	82,225	74,621	7,604	3.0
平成 20 年	27,157	82,004	74,281	7,723	3.0
平成 21 年	27,345	80,999	73,938	7,061	3.0
平成 22 年	27,536	80,720	73,721	6,999	2.9
平成 23 年	27,788	80,512	73,456	7,056	2.9
平成 24 年	27,655	80,006	73,378	6,628	2.9

資料：住民基本台帳（世帯数に外国人は含まない）

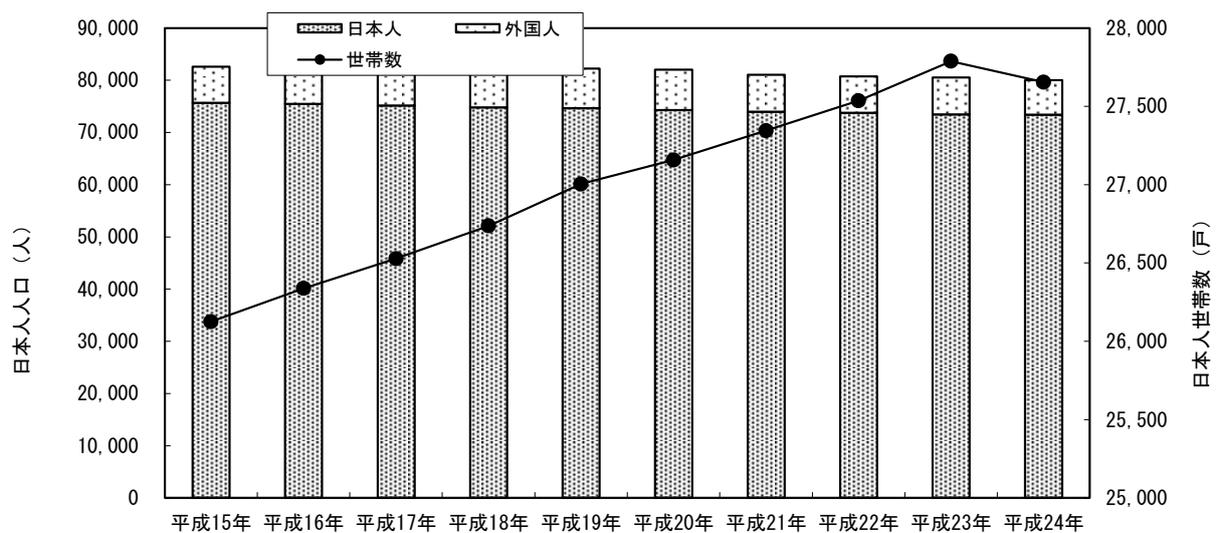


図 1-3 本地域の人口及び世帯数の推移

単位：歳、人			
年齢等	総数	男	女
計	78,753	40,318	38,435
0～4	3,204	1,650	1,554
5～9	3,694	1,906	1,788
10～14	3,823	1,960	1,863
15～19	3,842	2,013	1,829
20～24	4,030	2,229	1,801
25～29	4,808	2,637	2,171
30～34	5,453	2,990	2,463
35～39	6,338	3,432	2,906
40～44	5,775	3,131	2,644
45～49	4,979	2,646	2,333
50～54	4,903	2,491	2,412
55～59	5,846	2,941	2,905
60～64	6,855	3,486	3,369
65～69	5,029	2,594	2,435
70～74	3,453	1,697	1,756
75～79	2,660	1,186	1,474
80～84	1,980	740	1,240
85歳以上	1,995	526	1,469
年齢不詳	86	63	23

資料：平成22年国勢調査

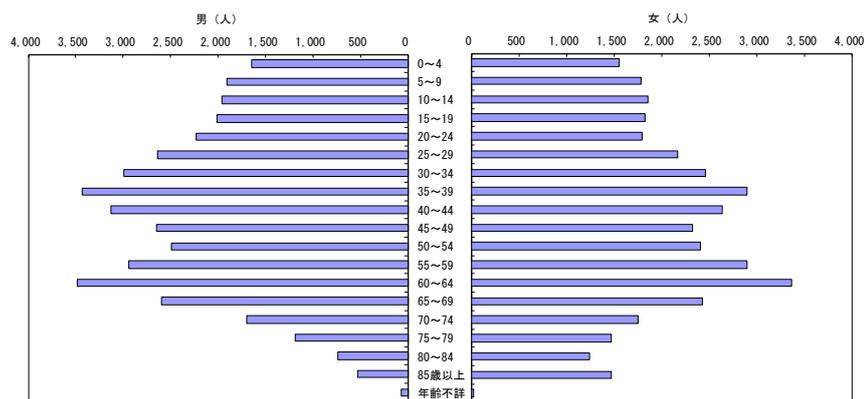


図 1-4 本地域の5歳階級別人口

## 2) 千代田町

千代田町の過去10年間(平成15～24年度)の人口及び世帯数の推移を表1-4、図1-5に、平成22年度の5歳階級別人口を図1-6に示します。

総人口は横ばいに推移していますが、世帯数は増加傾向にあります。内訳をみると日本人は減少傾向にあります、外国人は増加傾向にあります。

5歳階級別人口については、60～64歳が最も多く、次いで55～59歳が多くなっています。

表 1-4 千代田町の人口及び世帯数の推移

年度	世帯数 (戸)	人口(人)			一世帯当り (人)
		総数	日本人	外国人	
平成15年	3,622	11,975	11,741	234	3.2
平成16年	3,675	12,026	11,765	261	3.2
平成17年	3,682	12,018	11,730	288	3.2
平成18年	3,726	11,987	11,690	297	3.1
平成19年	3,761	12,024	11,697	327	3.1
平成20年	3,795	11,984	11,648	336	3.1
平成21年	3,833	11,848	11,549	299	3.0
平成22年	3,923	11,884	11,563	321	2.9
平成23年	3,989	11,904	11,576	328	2.9
平成24年	4,008	11,871	11,548	323	2.9

資料：住民基本台帳(世帯数に外国人は含まない)

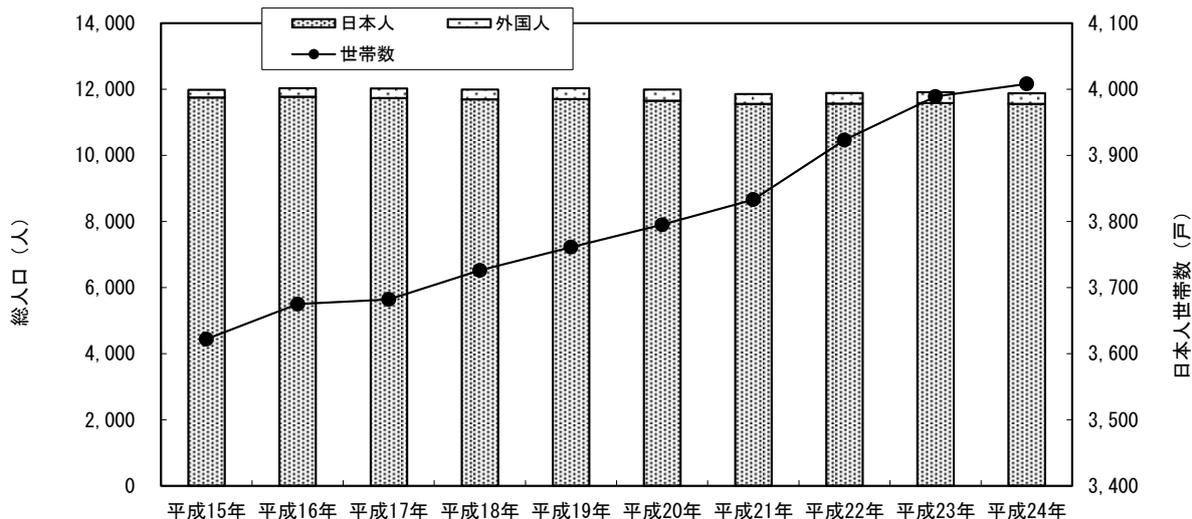


図 1-5 千代田町の人口及び世帯数の推移

年齢等	単位：歳、人		
	総数	男	女
計	11,473	5,700	5,773
0～4	441	246	195
5～9	564	297	267
10～14	526	261	265
15～19	550	288	262
20～24	592	298	294
25～29	583	298	285
30～34	757	402	355
35～39	833	415	418
40～44	696	361	335
45～49	656	335	321
50～54	711	367	344
55～59	927	456	471
60～64	1,071	546	525
65～69	711	384	327
70～74	517	256	261
75～79	499	217	282
80～84	385	149	236
85歳以上	430	104	326
年齢不詳	24	20	4

資料：平成22年国勢調査

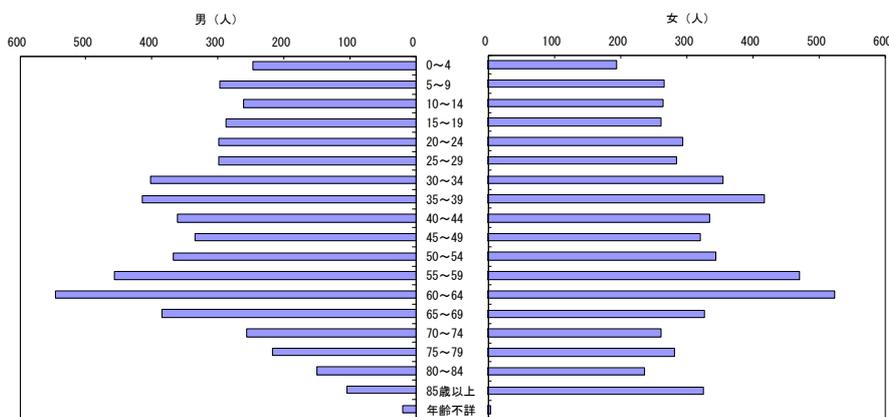


図 1-6 千代田町の5歳階級別人口

### 3) 大泉町

大泉町の過去10年間（平成15～24年度）の人口及び世帯数の推移を表1-5、図1-7に、5歳階級別人口を図1-8に示します。

総人口は減少傾向にありますが、世帯数は増加傾向にあります。内訳をみると日本人、外国人ともに減少傾向にあります。

5歳階級別人口については、35～39歳が最も多く、次いで40～44歳が多くなっています。

表 1-5 大泉町の人口及び世帯数の推移

年度	世帯数 (戸)	人口 (人)			一世帯当り (人)
		総数	日本人	外国人	
平成 15 年	13,762	42,354	35,998	6,356	2.6
平成 16 年	13,826	42,303	35,735	6,568	2.6
平成 17 年	13,896	42,165	35,489	6,676	2.6
平成 18 年	13,928	42,075	35,295	6,780	2.5
平成 19 年	14,089	42,113	35,235	6,878	2.5
平成 20 年	14,127	42,015	35,056	6,959	2.5
平成 21 年	14,219	41,286	34,925	6,361	2.5
平成 22 年	14,248	41,074	34,817	6,257	2.4
平成 23 年	14,372	40,980	34,692	6,288	2.4
平成 24 年	14,246	40,681	34,768	5,913	2.4

資料：住民基本台帳（世帯数に外国人は含まない）

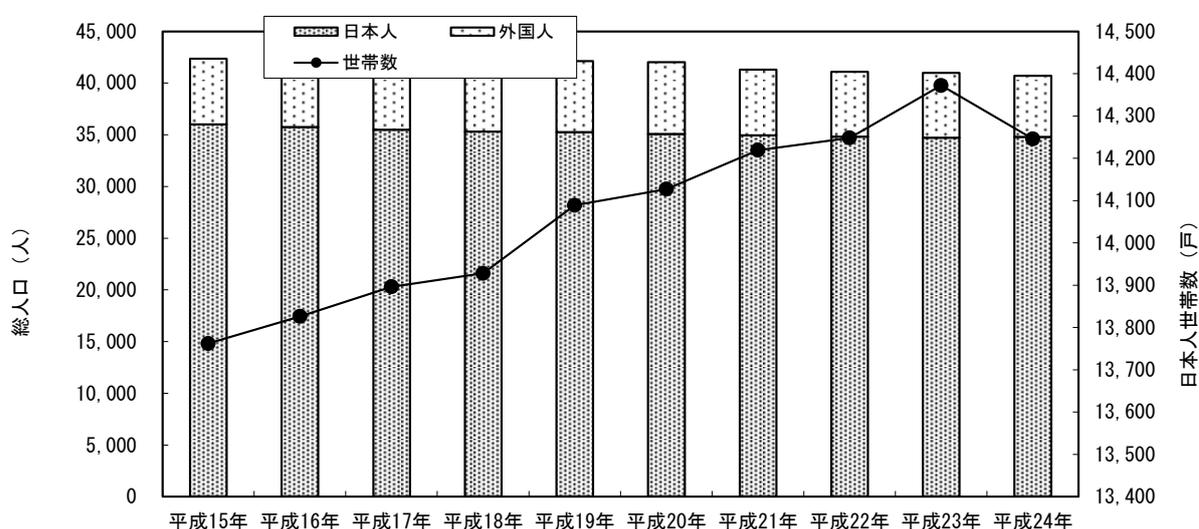


図 1-7 大泉町の人口及び世帯数の推移

単位：歳、人

年齢等	総数	男	女
計	40,257	21,049	19,208
0～4	1,764	888	876
5～9	1,857	943	914
10～14	1,997	1,047	950
15～19	2,022	1,060	962
20～24	2,252	1,307	945
25～29	2,778	1,579	1,199
30～34	3,049	1,699	1,350
35～39	3,423	1,884	1,539
40～44	3,314	1,839	1,475
45～49	2,814	1,564	1,250
50～54	2,458	1,282	1,176
55～59	2,692	1,379	1,313
60～64	3,031	1,554	1,477
65～69	2,392	1,200	1,192
70～74	1,630	793	837
75～79	1,164	517	647
80～84	817	296	521
85歳以上	794	212	582
年齢不詳	9	6	3

資料：平成22年国勢調査

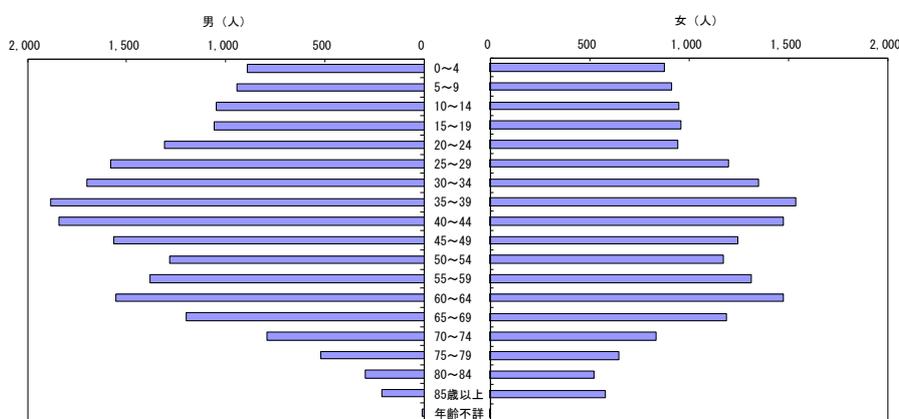


図 1-8 大泉町の5歳階級別人口

#### 4) 邑楽町

邑楽町の過去10年間（平成15～24年度）の人口及び世帯数の推移を表1-6、図1-9に、5歳階級別人口を図1-10に示します。

総人口は減少傾向にあり、世帯数は増加傾向にあります。内訳をみると日本人は減少傾向にあり、外国人も概ね減少傾向にあります。

5歳階級別人口については、60～64歳が最も多く、次いで55～59歳が多くなっています。

表 1-6 邑楽町の人口及び世帯数の推移

年度	世帯数 (戸)	人口(人)			一世帯当り (人)
		総数	日本人	外国人	
平成15年	8,741	28,263	27,916	347	3.2
平成16年	8,837	28,319	27,921	398	3.2
平成17年	8,950	28,291	27,903	388	3.1
平成18年	9,083	28,168	27,779	389	3.1
平成19年	9,154	28,088	27,689	399	3.0
平成20年	9,235	28,005	27,577	428	3.0
平成21年	9,293	27,865	27,464	401	3.0
平成22年	9,365	27,762	27,341	421	2.9
平成23年	9,427	27,628	27,188	440	2.9
平成24年	9,401	27,454	27,062	392	2.9

資料：住民基本台帳（世帯数に外国人は含まない）

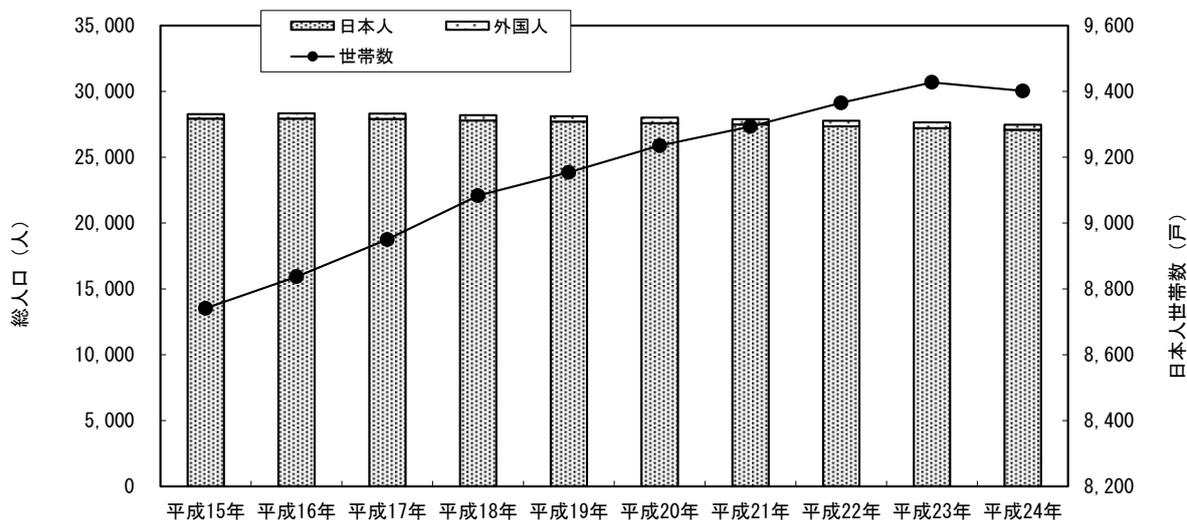


図 1-9 邑楽町の人口及び世帯数の推移

単位：歳、人

年齢等	総数	男	女
計	27,023	13,569	13,454
0～4	999	516	483
5～9	1,273	666	607
10～14	1,300	652	648
15～19	1,270	665	605
20～24	1,186	624	562
25～29	1,447	760	687
30～34	1,647	889	758
35～39	2,082	1,133	949
40～44	1,765	931	834
45～49	1,509	747	762
50～54	1,734	842	892
55～59	2,227	1,106	1,121
60～64	2,753	1,386	1,367
65～69	1,926	1,010	916
70～74	1,306	648	658
75～79	997	452	545
80～84	778	295	483
85歳以上	771	210	561
年齢不詳	53	37	16

資料：平成22年国勢調査

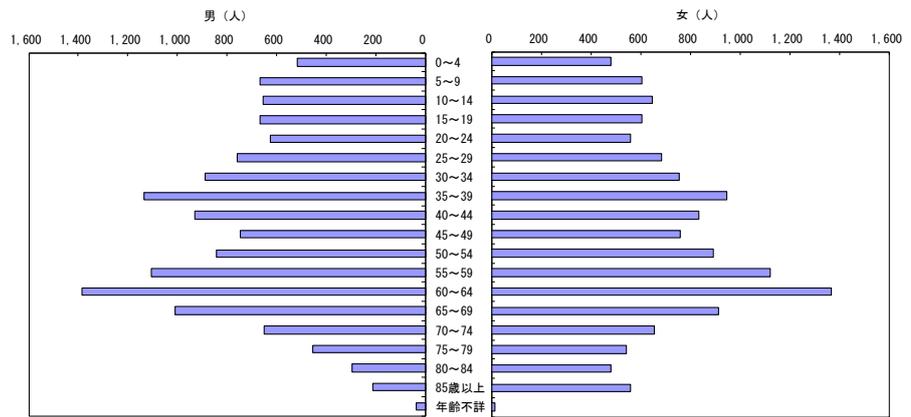


図 1-10 邑楽町の5歳階級別人口

## 2. 就業構造

### 1) 本地域

本地域の産業別就業者数の推移を表 1-7、図 1-11 に示します。

就業総人口は減少傾向にあります。産業別でみると、第二次産業が最も多く、次いで第三次産業となっています。平成 12 年度に比べ平成 22 年度では第二次産業が減少しており、第三次産業は増加しています。

表 1-7 本地域の産業別就業者数の推移

単位：人、%

産業別	平成12年度		平成17年度		平成22年度		
	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比	
総 数	51,254	100.0%	48,918	100.0%	44,928	100.0%	
第一次産業	総 数	53	0.1%	61	0.1%	93	0.2%
	農 業	—	0.0%	—	0.0%	—	0.0%
	林 業	—	0.0%	—	0.0%	—	0.0%
	漁 業	—	0.0%	—	0.0%	—	0.0%
第二次産業	総 数	33,997	66.3%	31,363	64.1%	26,947	60.0%
	鉱 業	21	0.0%	14	0.0%	31	0.1%
	建 設 業	1,974	3.9%	1,746	3.6%	1,769	3.9%
	製 造 業	32,002	62.4%	29,603	60.5%	25,147	56.0%
第三次産業	総 数	17,204	33.6%	17,494	35.8%	17,888	39.8%
	電気・ガス熱供給・水道業	3	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	運輸・通信業	2,885	5.6%	2,375	4.9%	2,736	6.1%
	卸売・小売業、飲食店	5,732	11.2%	5,356	10.9%	5,597	12.5%
	金融・保険業	391	0.8%	342	0.7%	361	0.8%
	不動産業	210	0.4%	195	0.4%	332	0.7%
	サービス業	7,983	15.6%	9,226	18.9%	8,862	19.7%
分類不能の産業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	

※農業・林業・漁業の内訳は未把握

各年10月1日

資料：国勢調査及び経済センサス

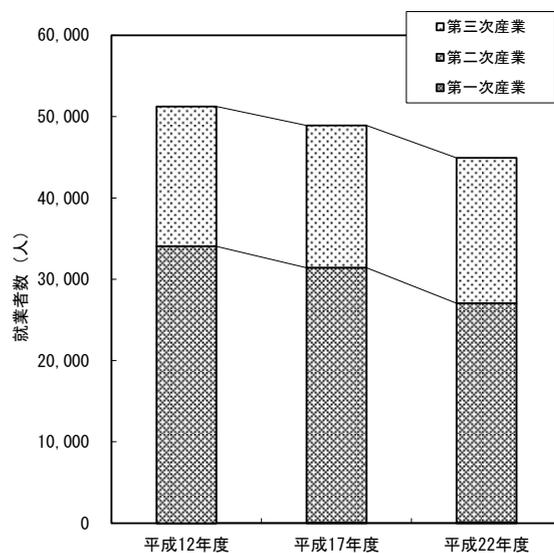


図 1-11 本地域の産業別就業人口の推移

2) 千代田町

千代田町の産業別就業者数の推移を表 1-8、図 1-12 に示します。

就業総人口は減少傾向にあります。産業別でみると、第二次産業は減少傾向にあります。第三次産業は増加傾向にあります。

表 1-8 千代田町の産業別就業者数の推移

産業別		平成12年度		平成17年度		平成22年度	
		就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比
総 数		6,169	100.0%	6,059	100.0%	5,877	100.0%
第一次産業	総 数	26	0.4%	21	0.3%	40	0.7%
	農 業	—	0.0%	—	0.0%	—	0.0%
	林 業	—	0.0%	—	0.0%	—	0.0%
	漁 業	—	0.0%	—	0.0%	—	0.0%
第二次産業	総 数	3,928	63.7%	3,821	63.1%	3,318	56.5%
	鉱 業	15	0.2%	11	0.2%	28	0.5%
	建 設 業	542	8.8%	541	8.9%	485	8.3%
	製 造 業	3,371	54.6%	3,269	54.0%	2,805	47.7%
第三次産業	総 数	2,215	35.9%	2,217	36.6%	2,519	42.9%
	電気・ガス熱供給・水道業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	運輸・通信業	894	14.5%	851	14.0%	816	13.9%
	卸売・小売業	611	9.9%	609	10.1%	794	13.5%
	金融・保険業	39	0.6%	37	0.6%	32	0.5%
	不動産業	22	0.4%	23	0.4%	46	0.8%
	サービス業	649	10.5%	697	11.5%	831	14.1%
分類不能の産業		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

※農業・林業・漁業の内訳は未把握

各年10月1日

資料：国勢調査及び経済センサス

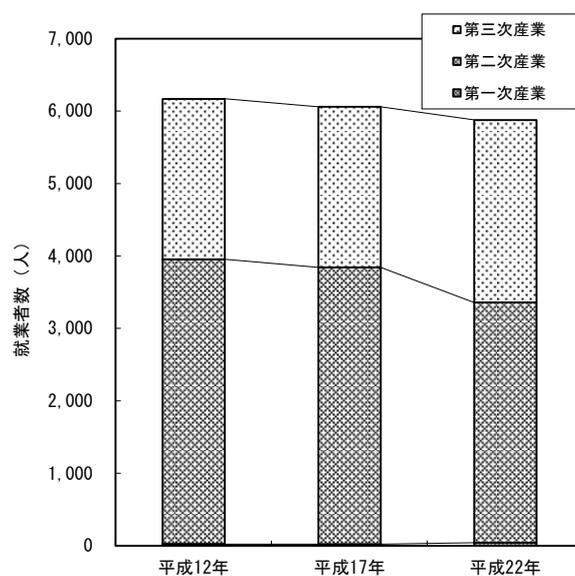


図 1-12 千代田町の産業別就業者数の推移

### 3) 大泉町

大泉町の産業別就業者数の推移を表 1-9、図 1-13 に示します。

就業総人口は減少傾向にあります。産業別にみても、第二次産業は大きく減少傾向にあります。第三次産業は横ばいに推移しています。

表 1-9 大泉町の産業別就業者数の推移

単位：人、%

産業別	平成12年度		平成17年度		平成22年度		
	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比	
総数	33,247	100.0%	31,046	100.0%	27,754	100.0%	
第一次産業	総数	4	0.0%	4	0.0%	0	0.0%
	農業	—	0.0%	—	0.0%	—	0.0%
	林業	—	0.0%	—	0.0%	—	0.0%
	漁業	—	0.0%	—	0.0%	—	0.0%
第二次産業	総数	22,683	68.2%	20,442	65.8%	17,404	62.7%
	鉱業	6	0.0%	3	0.0%	3	0.0%
	建設業	875	2.6%	694	2.2%	677	2.4%
	製造業	21,802	65.6%	19,745	63.6%	16,724	60.3%
第三次産業	総数	10,560	31.8%	10,600	34.1%	10,350	37.3%
	電気・ガス熱供給・水道業	3	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	運輸・通信業	1,266	3.8%	923	3.0%	1,240	4.5%
	卸売・小売業	3,616	10.9%	3,165	10.2%	3,004	10.8%
	金融・保険業	289	0.9%	237	0.8%	259	0.9%
	不動産業	150	0.5%	128	0.4%	188	0.7%
	サービス業	5,236	15.7%	6,147	19.8%	5,659	20.4%
分類不能の産業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	

※農業・林業・漁業の内訳は未把握

各年10月1日

資料：国勢調査及び経済センサス

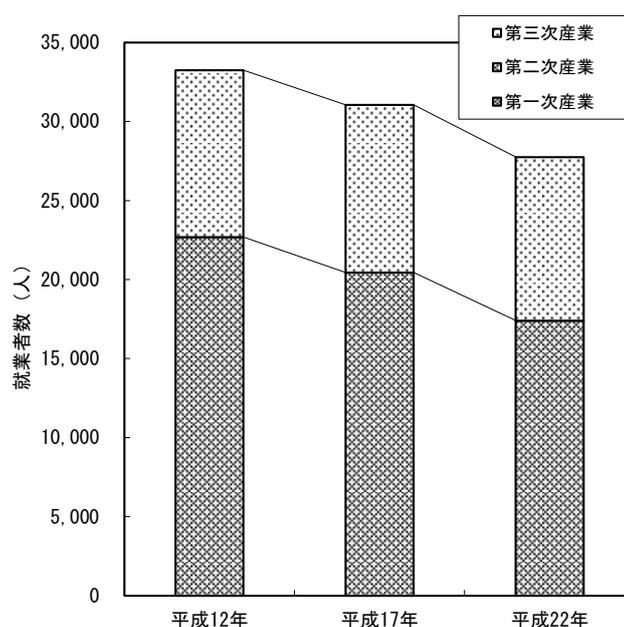


図 1-13 大泉町の産業別就業者数の推移

#### 4) 邑楽町

邑楽町の産業別就業者数の推移を表 1-10、図 1-14 に示します。

就業総人口は減少傾向にあります。産業別にみても、第二次産業は減少傾向にあります。第三次産業は増加傾向にあります。

表 1-10 邑楽町の産業別就業者数の推移

産業別	平成12年度		平成17年度		平成22年度	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比
総 数	11,838	100.0%	11,813	100.0%	11,297	100.0%
第一次産業						
総 数	23	0.2%	36	0.3%	53	0.5%
農 業	—	0.0%	—	0.0%	—	0.0%
林 業	—	0.0%	—	0.0%	—	0.0%
漁 業	—	0.0%	—	0.0%	—	0.0%
第二次産業						
総 数	7,386	62.4%	7,100	60.1%	6,225	55.1%
鉱 業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
建 設 業	557	4.7%	511	4.3%	607	5.4%
製 造 業	6,829	57.7%	6,589	55.8%	5,618	49.7%
第三次産業						
総 数	4,429	37.4%	4,677	39.6%	5,019	44.4%
電気・ガス熱供給・水道業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
運輸・通信業	725	6.1%	601	5.1%	680	6.0%
卸売・小売業	1,505	12.7%	1,582	13.4%	1,799	15.9%
金融・保険業	63	0.5%	68	0.6%	70	0.6%
不動産業	38	0.3%	44	0.4%	98	0.9%
サービス業	2,098	17.7%	2,382	20.2%	2,372	21.0%
分類不能の産業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

※農業・林業・漁業の内訳は未把握

各年10月1日

資料：国勢調査及び経済センサス

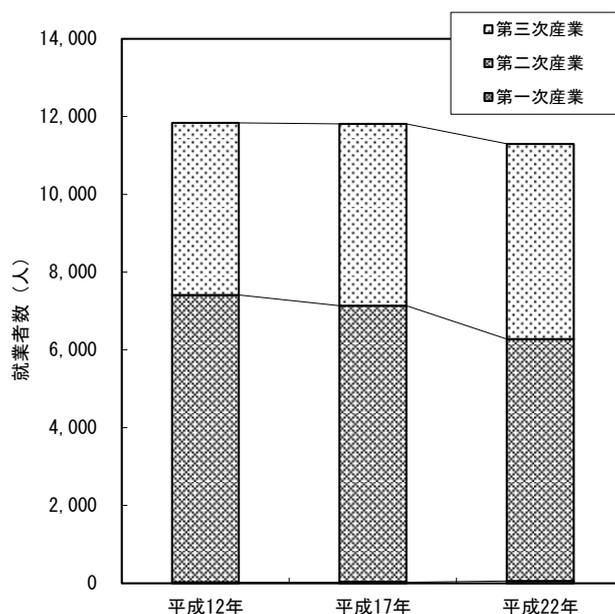


図 1-14 邑楽町の産業別就業者数の推移

### 3. 農業

#### 1) 本地域

本地域の専兼業農家数と農業就業人口の推移を表 1-11、図 1-15 に、経営耕地面積を表 1-12 に示します。

農家総数及び農業就業人口は減少傾向にあります。内訳でみると、専業は増加傾向にあり、第1種及び第2種ともに平成12年度に比べ平成22年度は減少しています。経営耕地面積は、全て減少傾向にあります。

表 1-11 本地域の専兼業農家数と農業就業人口の推移

年度	農家数（戸）					農家人口 （人）	農業就業 人口 （人）
	農家総数	専業	兼業				
			計	第1種	第2種		
平成12年	1,935	235	1,700	235	1,465	10,179	2,651
平成17年	1,625	266	1,359	263	1,096	—	2,274
平成22年	1,321	277	1,044	140	904	—	1,746

資料：「農林業センサス」

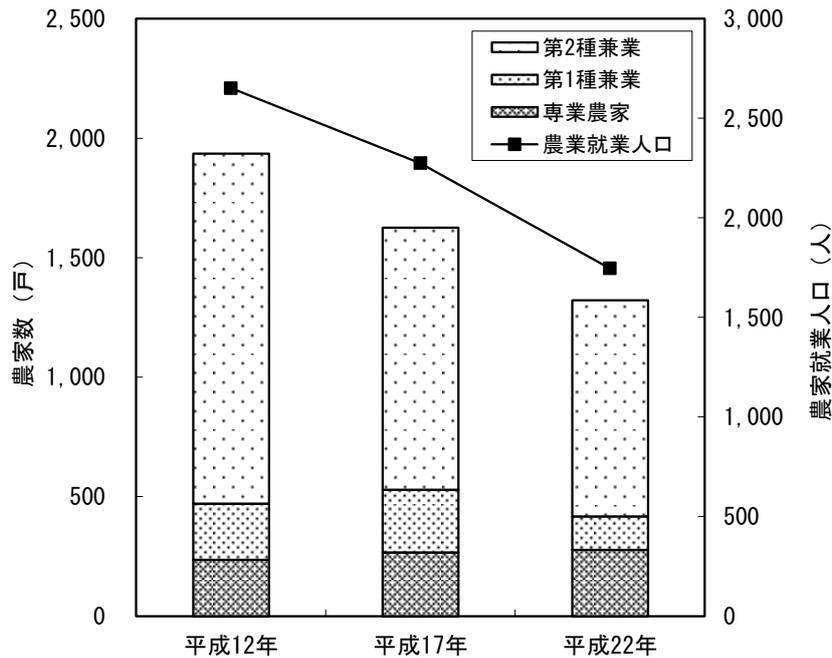


図 1-15 本地域の専兼業農家数と農業就業人口の推移

表 1-12 本地域の経営耕地面積の推移

単位：ha

年度	計	田	畑	樹園地
平成12年	2,504	2,047	389	67
平成17年	2,201	1,900	257	43
平成22年	2,106	1,816	248	42

資料：「農林業センサス」

## 2) 千代田町

千代田町の専兼業農家数と農業就業人口の推移を表 1-13、図 1-16 に、経営耕地面積を表 1-14 に示します。

農家総数及び農業就業人口は減少傾向にあります。内訳でみると、専業は増加傾向にあり、第1種及び第2種は平成12年度に比べ平成22年度は減少しています。

経営耕地面積は、減少傾向にあります。

表 1-13 千代田町の専兼業農家数と農業就業人口の推移

年度	農家数（戸）					農家人口 （人）	農業就業 人口 （人）
	農家総数	専業	兼業				
			計	第1種	第2種		
平成12年	638	62	576	53	523	3,555	912
平成17年	538	88	450	115	335	2,400	828
平成22年	424	82	342	37	305	—	624

資料：「農林業センサス」

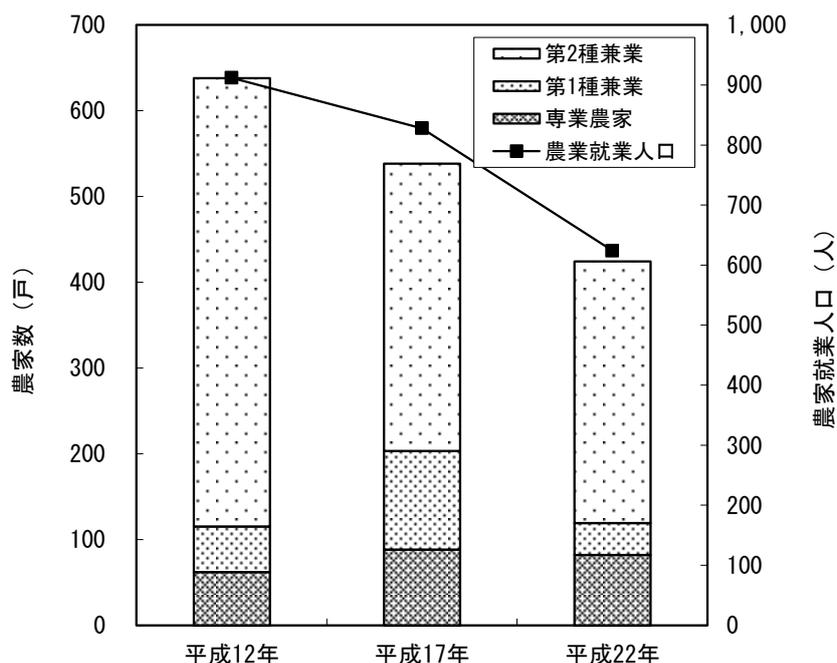


図 1-16 千代田町の専兼業農家数と農業就業人口の推移

表 1-14 千代田町の経営耕地面積の推移

年度	単位：ha			
	計	田	畑	樹園地
平成12年	870	718	99	52
平成17年	740	648	51	41
平成22年	703	615	49	39

資料：「農林業センサス」

### 3) 大泉町

大泉町の専兼業農家数と農業就業人口の推移を表 1-15、図 1-17 に、経営耕地面積を表 1-16 に示します。

農家総数及び農業就業人口は減少傾向にあります。内訳でみると、平成 12 年度から平成 22 年度にかけて専業は増加しており、第 1 種及び第 2 種は減少しています。

経営耕地面積は、減少傾向にあります。

表 1-15 大泉町の専兼業農家数と農業就業人口の推移

年度	農家数 (戸)					農家人口 (人)	農業就業 人口 (人)
	農家総数	専業	兼業				
			計	第1種	第2種		
平成 12 年	427	40	387	14	373	1,813	409
平成 17 年	365	27	338	25	313	—	292
平成 22 年	299	41	258	5	253	—	195

資料：「農林業センサス」

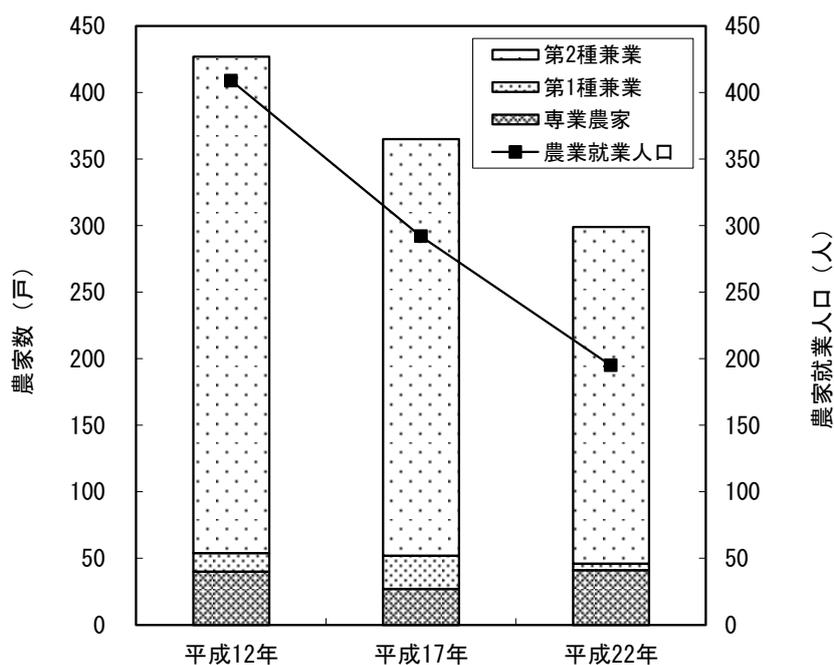


図 1-17 大泉町の専兼業農家数と農業就業人口の推移

表 1-16 大泉町の経営耕地面積の推移

年度	単位：ha			
	計	田	畑	樹園地
平成 12 年	307	240	64	3
平成 17 年	223	193	28	1
平成 22 年	198	173	24	1

資料：「農林業センサス」

#### 4) 邑楽町

邑楽町の専兼業農家数と農業就業人口の推移を表 1-17、図 1-18 に、経営耕地面積を表 1-18 に示します。

農家総数及び農業就業人口は減少傾向にあります。内訳でみると、専業は増加傾向にあります。第1種及び第2種は減少傾向にあります。

経営耕地面積は、概ね減少傾向にあります。

表 1-17 邑楽町の専兼業農家数と農業就業人口の推移

年度	農家数（戸）					農家人口 （人）	農業就業 人口 （人）
	農家総数	専業	兼業				
			計	第1種	第2種		
平成12年	870	133	737	168	569	4,811	1,330
平成17年	722	151	571	123	448	4,081	1,154
平成22年	598	154	444	98	346	—	927

資料：「農林業センサス」

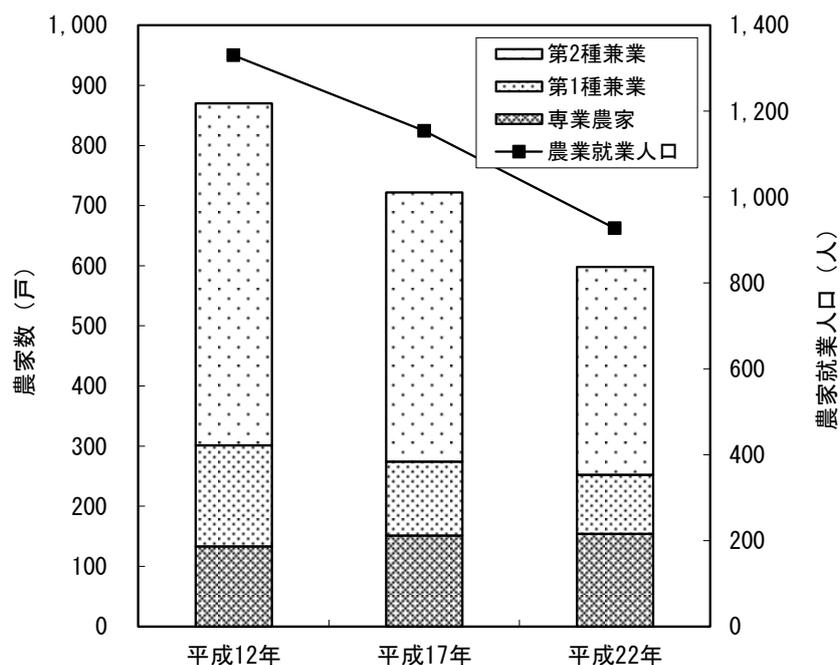


図 1-18 邑楽町の専兼業農家数と農業就業人口の推移

表 1-18 邑楽町の経営耕地面積の推移

単位：ha

年度	計	田	畑	樹園地
平成12年	1,327	1,089	226	12
平成17年	1,238	1,059	178	1
平成22年	1,205	1,028	175	2

資料：「農林業センサス」

#### 4. 商業・工業

##### 1) 本地域

本地域の卸売・小売業の商店数・従業者数・年間商品販売額の推移を表 1-19、事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移を表 1-20 に示します。

商店数は年々減少していますが、年間販売額は平成 16 年度が 126,465 百万円となり最も高くなっています。従業者数は減少傾向にあります。

製造業の事業所数は平成 21 年度が最も多くなっています。製造品出荷額等は平成 21 年度と平成 23 年度を比べると増加傾向にあります。従業者数は平成 21 年度からは減少傾向にあります。

表 1-19 本地域の商店数・従業者数・年間商品販売額の推移

年度	商店数	従業者数（人）	年間商品販売額（百万円）
平成 14 年	852	5,818	126,112
平成 16 年	832	5,402	126,465
平成 19 年	746	5,001	123,853

資料：商業統計調査

表 1-20 本地域の事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移

年度	事業所数	従業者数（人）	製造品出荷額等（百万円）
平成 21 年	348	21,096	910,289
平成 22 年	331	20,403	1,016,559
平成 23 年	339	18,884	993,137

資料：工業統計調査

##### 2) 千代田町

千代田町の商店数・従業者数・年間商品販売額の推移を表 1-21 に、事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移を表 1-22 に示します。

商店数及び従業者数は年々減少していますが、年間販売額は平成 16 年度に 21,333 百万円となり最も高くなっています。

事業所数は横ばいに推移していますが、従業者数は年々減少しています。製造品出荷額等は平成 22 年度に最も多くなっていますが、平成 21 年度に比べて平成 23 年度は増加しています。

表 1-21 千代田町の商店数・従業者数・年間商品販売額の推移

年度	商店数	従業者数（人）	年間商品販売額（百万円）
平成 14 年	119	616	19,820
平成 16 年	108	561	21,333
平成 19 年	98	537	18,235

資料：商業統計調査

表 1-22 千代田町の事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移

年度	事業所数	従業者数（人）	製造品出荷額等（百万円）
平成 21 年	88	2,998	190,129
平成 22 年	86	2,897	214,220
平成 23 年	90	2,817	199,854

資料：工業統計調査

### 3) 大泉町

大泉町の商店数・従業者数・年間商品販売額の推移を表 1-23 に、事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移を表 1-24 に示します。

商店数及び従業者数は年々減少していますが、年間販売額は平成 16 年度に 80,376 百万円となり最も高くなっています。

事業所数は横ばいに推移していますが、従業者数は年々減少しています。製造品出荷額等は平成 22 年度に最も多くなっていますが、平成 21 年度に比べて平成 23 年度は減少しています。

表 1-23 大泉町の商店数・従業者数・年間商品販売額の推移

年度	商店数	従業者数（人）	年間商品販売額（百万円）
平成 14 年	499	3,797	80,088
平成 16 年	493	3,506	80,376
平成 19 年	436	3,001	77,809

資料：商業統計調査

表 1-24 大泉町の事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移

年度	事業所数	従業者数（人）	製造品出荷額等（百万円）
平成 21 年	127	12,984	535,745
平成 22 年	120	12,433	588,612
平成 23 年	128	11,022	486,938

資料：工業統計調査

### 4) 邑楽町

邑楽町の商店数・従業者数・年間商品販売額の推移を表 1-25 に、事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移を表 1-26 に示します。

商店数は年々減少していますが、従業者数及び年間販売額は平成 16 年度が最も少なく、平成 19 年度に最も高くなっています。

事業所数及び従業者数は年々減少していますが、製造品出荷額等は年々増加し、平成 23 年度に 306,346 百万円となっています。

表 1-25 邑楽町の商店数・従業者数・年間商品販売額の推移

年度	商店数	従業者数（人）	年間商品販売額（百万円）
平成 14 年	234	1,405	26,204
平成 16 年	231	1,335	24,756
平成 19 年	212	1,463	27,809

資料：商業統計調査

表 1-26 邑楽町の事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移

年度	事業所数	従業者数（人）	製造品出荷額等（百万円）
平成 21 年	133	5,114	184,415
平成 22 年	125	5,073	213,727
平成 23 年	121	5,045	306,346

資料：工業統計調査

## 5. 土地利用状況

本地域の土地利用状況を表 1-27、図 1-19 に示します。

地目別に見てみると、田、畑の割合が全体の40%程となっており、宅地が全体の30%程となっています。

表 1-27 本地域の土地利用状況

区分	総数	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地	その他
面積 (ha)	7,081	1,759	1,271	1,999	17	194	2	238	1,601
構成比 (%)	100.0	24.8	17.9	28.2	0.2	2.7	0.03	3.4	22.6

資料：各町（表1-28～表1-30）の合計値

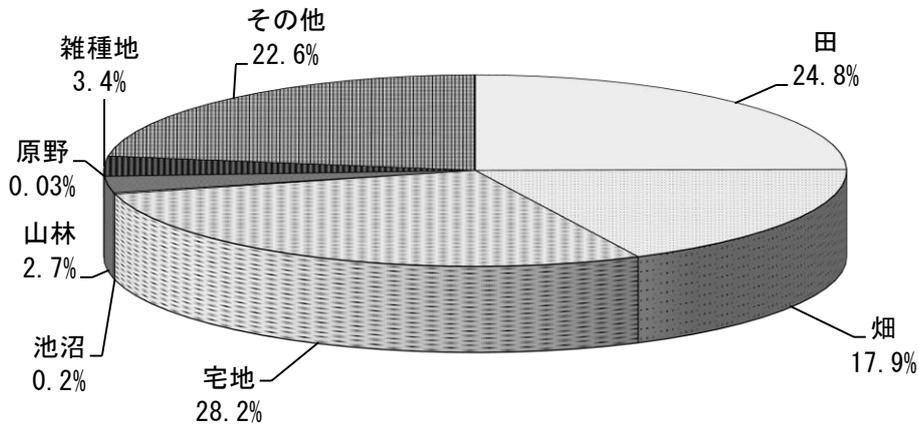


図 1-19 本地域の土地利用状況

各町の土地利用状況を表 1-28～表 1-30 に示します。

表 1-28 千代田町の土地利用状況

区分	総数	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地	その他
面積 (ha)	2,176	681	370	430	2	65	1	53	574
構成比 (%)	100.0	31.3	17.0	19.8	0.1	3.0	0.0	2.4	26.4

平成25年1月現在

表 1-29 大泉町の土地利用状況

区分	総数	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地	その他
面積 (ha)	1,793	182	136	850	4	8	0	84	529
構成比 (%)	100.0	10.2	7.6	47.4	0.2	0.4	0.0	4.7	29.5

平成25年4月現在

資料：固定資産概要調書

表 1-30 邑楽町の土地利用状況

区分	総数	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地	その他
面積 (ha)	3,112	896	765	719	11	121	1	101	498
構成比 (%)	100.0	28.8	24.6	23.1	0.4	3.9	0.0	3.2	16.0

平成23年1月現在

資料：固定資産概要調書

## 6. 工業団地の整備

本地域の工業団地の整備状況を表 1-31 に示します。

表 1-31 工業団地の整備状況

市町名	千代田町
開発名称	千代田東部住宅団地第2期-2造成事業
概要	商業用地の開発・造成
整備範囲	ふれあいタウンちよだ事業区域内北西部の未造成地全域
面積	約7.5ha
開発予定時期	平成27年度中の完成予定
備考	出店事業者が確定していないため、誘致見込み、人口増、ごみ増の推計はなし

7. 上位計画との関係

1) 千代田町の将来構想（「第五次総合計画」）

千代田町の将来像は「人と自然がふれあう 元気で豊かなまち ちよだ」とされ、施策や事業にごみの減量化とリサイクルの推進等が謳われています。



図 1-20 千代田町の第五次総合計画における一般廃棄物処理の位置付け

2) 大泉町の将来構想（「第五次総合計画」）

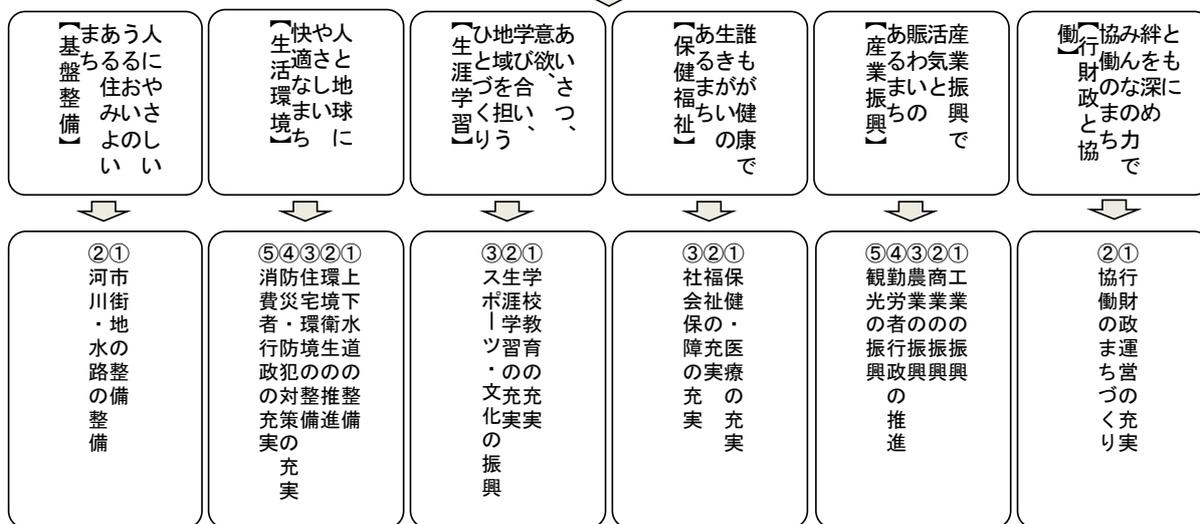
大泉町の将来像は「ずっと住みたい私のまち おおいずみ ～ともに創る、安らぎと活力にあふれるまち～」とされ、施策や事業にごみの減量化と太陽光発電事業の推進等が謳われています。

【 基 本 理 念 】

みんなで考え、みんなが進めるまちづくり

【 町 の 将 来 像 】

ずっと住みたい私のまち おおいずみ  
～ともに創る、安らぎと活力にあふれるまち～



【 以 下 省 略 】

(生活環境)  
基本目標: 人と地球にやさしい快適なまち  
主要施策: 環境衛生の推進  
施策: 循環型社会の推進  
太陽光発電設備や生ごみ処理機等の設置を支援し、日々の生活の中で環境に配慮した行動を意識し、限りある地球資源への認識を高め、CO<sub>2</sub>削減や地球温暖化防止への貢献を図ります。  
また、町で運用している環境マネジメントシステムに対する町民の理解を深め、町民一人ひとりが環境に配慮した行動を実施できるよう周知に努めます。

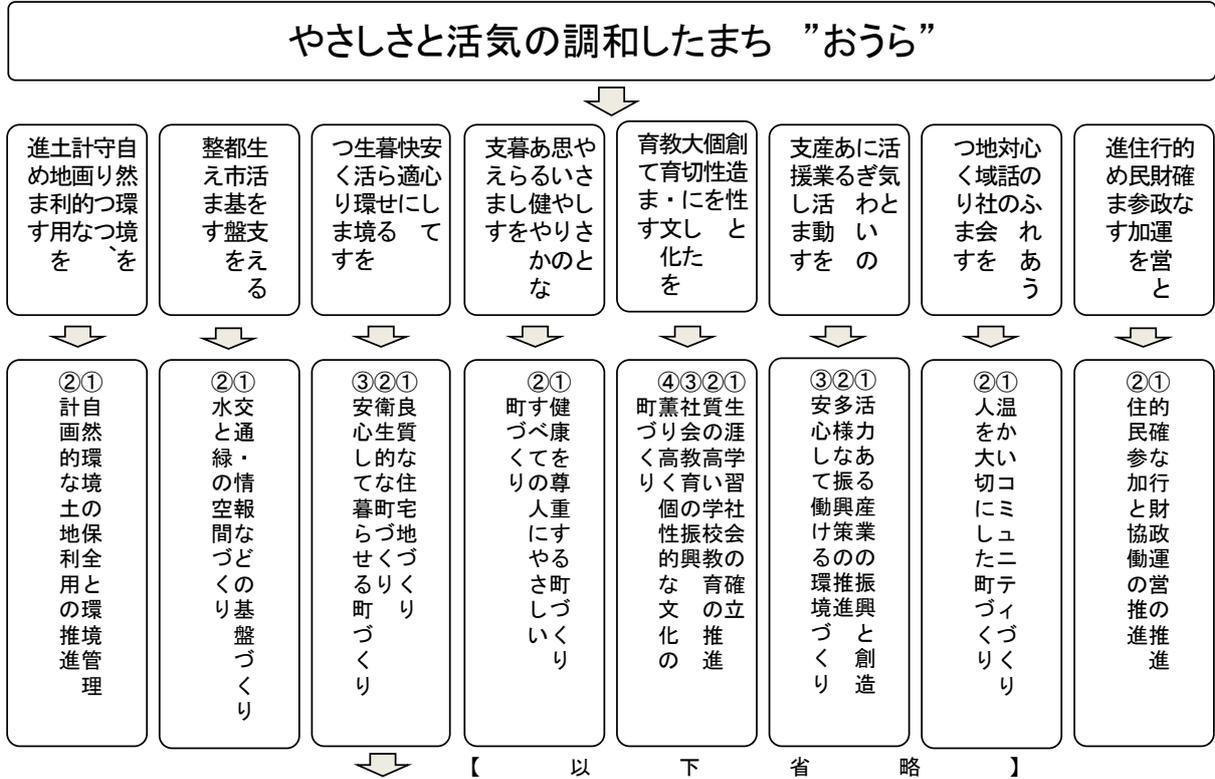
(事業)  
循環型社会形成の推進に向けて、ごみ処理体制の確立やごみ排出の抑制と減量化、ごみの資源化などを一層促進します。  
限りある地球資源への認識を高め、CO<sub>2</sub>削減や地球温暖化防止への貢献を図ります。  
◇資源ごみ回収奨励補助事業の推進  
◇廃食油回収事業の推進  
◇生ごみ処理機購入補助事業の推進  
◇太陽光発電システム導入補助事業の推進  
◇太陽熱利用温水器導入補助事業の推進  
◇グリーンカーテン事業の推進  
◇環境学習の場の充実

図 1-21 大泉町の第五次総合計画における一般廃棄物処理の位置付け

3) 邑楽町の将来構想（「第五次総合計画」）

邑楽町の将来像は「やさしさと活気の調和したまち“おうら”」とされ、施策や事業にごみの減量化とごみの適正処理の実施等が謳われています。

【 町 の 将 来 像 】



**（環境衛生）**  
本町では、大泉町外二町組合の清掃センターとリサイクルプラザにおいてごみを処理しています。ごみ処理について今後は、収集体制及び処理体制の強化を図り、資源の有効活用とごみの減量化を推進します。

**（基本方針）**  
住民が衛生的な環境の中で生活できるように、ごみ処理・し尿処理を適正に実施します。ごみ処理では、分別・減量化・資源の有効活用の徹底などを推進します。

**（施策の方向性）**  
 (1)一般廃棄物  
 ◇収集車・作業員・収集場所・収集回数等の合理的配置を図り、収集業務を円滑に推進します。  
 ◇ごみの減量化と資源の有効活用を推進するため、分別収集や集団回収など、地域の取り組みの活性化を図ります  
 ◇生活様式の変化などにより増え続ける台所ごみに対応するため、生ごみの堆肥化による自家処理を推進します。  
 (2)産業廃棄物  
 ◇産業廃棄物の処理については、事業者責任による適正な処理の指導を推進します。  
 ◇不法投棄の監視を行います。

図 1-22 邑楽町の第五次総合計画における一般廃棄物処理の位置付け

## 第 2 章 各町のごみ予測

千代田町 ごみ排出量、処理処分実績及び将来予測(1/2)

千代田町	単位	H 2 0	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	H 3 3	H 3 4	H 3 5	H 3 6	H 3 7	H 3 8	H 3 9	H 4 0	
人口	行政区内人口	人	11,984	11,848	11,884	11,904	11,871	11,813	11,772	11,728	11,680	11,628	11,572	11,513	11,449	11,382	11,311	11,236	11,157	11,075	10,989	10,899	10,805
	計画収集人口	人	11,984	11,848	11,884	11,904	11,871	11,813	11,772	11,728	11,680	11,628	11,572	11,513	11,449	11,382	11,311	11,236	11,157	11,075	10,989	10,899	10,805
	自家処理人口	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
排出量	年間排出量	t/年	4,991.39	4,695.62	4,651.57	4,761.90	4,972.06	4,919	4,873	4,813	4,752	4,689	4,627	4,585	4,541	4,496	4,451	4,404	4,357	4,308	4,259	4,209	4,156
	総排出量	t/年	4,101.16	3,975.30	3,925.85	3,951.38	3,942.66	3,890	3,844	3,797	3,749	3,699	3,649	3,612	3,573	3,533	3,493	3,451	3,409	3,365	3,321	3,276	3,230
	収集・直接搬入量	t/年	3,678.14	3,624.36	3,592.86	3,612.00	3,604.78	3,557	3,509	3,435	3,360	3,283	3,206	3,168	3,129	3,087	3,047	3,004	2,962	2,918	2,873	2,828	2,782
	可燃ごみ	t/年	3,366.19	3,316.11	3,289.68	3,329.13	3,344.32	3,300															
	可燃ごみ(施策強化後)	t/年							3,258	3,187	3,115	3,041	2,968	2,932	2,896	2,856	2,819	2,779	2,740	2,699	2,656	2,614	2,571
	不燃ごみ・粗大ごみ	t/年	311.95	308.25	303.18	282.87	260.46	257															
	不燃ごみ・粗大ごみ(小型家電リ適用)	t/年							251	248	245	242	238	236	233	231	228	225	222	219	217	214	211
	資源ごみ	t/年	423.02	350.94	332.99	339.38	337.88	333															
	資源ごみ(施策強化後)	t/年							335	362	389	416	443	444	444	446	446	447	447	447	447	448	448
	空き缶類	t/年	31.81	30.01	26.14	26.64	25.77	25	25	25	24	24	24	24	23	23	23	23	22	22	22	21	21
	空きビン類	t/年	75.14	72.36	73.36	70.69	71.17	70	69	68	68	67	66	65	64	64	63	62	62	61	60	59	58
	紙類(H27施策強化後)	t/年								213.66	242.30	270.94	299.47	302.01	304.57	306.01	307.64	310.09	311.73	313.36	315.82	318.34	319.99
	紙類追加分	t/年								31	62	93	124	128	132	136	140	144	148	152	156	160	164
	紙類	t/年	258.88	194.55	177.24	187.55	189.69	187.51	185.14														
	紙パック	t/年	2.73	3.17	2.75	2.65	2.72	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	新聞	t/年	136.91	106.83	95.38	96.65	95.86	94.51	93.14	91.66	91.30	88.94	88.47	88.01	87.57	86.01	85.64	84.09	83.73	81.36	80.82	80.34	78.99
	ダンボール	t/年	49.87	37.03	37.91	40.58	45.72	45	45	44	43	43	42	42	42	41	40	40	39	39	39	38	38
	雑誌・雑紙	t/年	69.37	47.52	41.2	47.67	45.39	45	44	44	43	43	42	42	41	41	40	40	39	39	38	38	37
	ペットボトル	t/年	24.91	24.15	25.61	24.34	23.05	22.70	22.40	22.20	21.90	21.60	21.40	21.10	20.90	20.70	20.40	20.20	19.90	19.60	19.40	19.20	18.90
	白色トレイ	t/年	0.69	0.76	0.75	0.66	0.62	0.61	0.60	0.60	0.59	0.58	0.57	0.57	0.56	0.56	0.55	0.54	0.54	0.53	0.52	0.52	0.51
	その他プラ	t/年	21.62	20.67	20.49	19.94	19.46	19.18	18.95	18.72	18.49	18.26	18.03	17.85	17.62	17.45	17.22	17.05	16.82	16.59	16.41	16.18	15.95
	古布(H26施策強化後)	t/年							3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4
	古布(綿のみ)	t/年	2.54	1.33	1.77	1.78	1.15	1.13	1.12	1.11	1.09	1.08	1.07	1.06	1.04	1.03	1.02	1.01	0.99	0.98	0.97	0.96	0.94
	乾電池	t/年	2.54	2.51	2.61	2.81	2.44	2.40	2.38	2.35	2.32	2.29	2.26	2.24	2.21	2.19	2.16	2.14	2.11	2.08	2.06	2.03	2.00
	蛍光灯	t/年	1.55	1.34	1.28	1.24	1.15	1.13	1.12	1.11	1.09	1.08	1.07	1.06	1.04	1.03	1.02	1.01	0.99	0.98	0.97	0.96	0.94
	スプレー缶	t/年	3.09	2.99	3.42	3.42	3.09	3.05	3.01	2.97	2.94	2.90	2.86	2.84	2.80	2.77	2.73	2.71	2.67	2.63	2.61	2.57	2.53
	その他危険	t/年	0.25	0.27	0.32	0.31	0.29	0.29	0.28	0.28	0.28	0.27	0.27	0.27	0.26	0.26	0.26	0.25	0.25	0.25	0.24	0.24	0.24
	小型家電	t/年							3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	集団回収※1	t/年																					
	事業系	総排出量	t/年	890.23	720.32	725.72	810.52	1,029.40	1,029	1,029	1,016	1,003	990	978	973	968	963	958	953	948	943	938	933
可燃ごみ	t/年	885.41	716.70	721.68	806.86	1,025.72	1,025	1,025															
可燃ごみ(施策強化後)	t/年								992	973	954	936	926	916	906	896	886	876	866	856	846	830	
不燃・粗大ごみ	t/年	4.82	3.62	4.04	3.66	3.68	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
資源ごみ(施策強化後)	t/年								20	26	32	39	44	49	54	59	64	69	74	79	84	93	
原単位	ごみ総排出量	g/人日	1,141.10	1,085.80	1,072.40	1,096.00	1,147.50	1,141	1,134	1,124	1,115	1,105	1,095	1,091	1,087	1,082	1,078	1,074	1,070	1,066	1,062	1,058	1,054
	家庭系ごみ	g/人日	937.60	919.20	905.10	909.40	909.90	902	895	887	879	872	864	860	855	851	846	842	837	833	828	824	819
	収集・運搬	g/人日	840.90	838.10	828.30	831.30	832.00	825	817	802	788	774	759	754	749	743	738	732	727	722	716	711	705
	小型家電	g/人日							0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64
	事業系ごみ	g/人日	203.50	166.60	167.30	186.50	237.60	239	239	237	235	233	232	232	232	232	232	232	233	233	234	235	235

※1 集団回収については、実施しているが補助金対象でないため未把握。



大泉町 ごみ排出量、処理処分実績及び将来予測(1/2)

大泉町		単位	H 2 0	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	H 3 3	H 3 4	H 3 5	H 3 6	H 3 7	H 3 8	H 3 9	H 4 0
人口	行政区内人口	人	42,015	41,286	41,074	40,980	40,681	40,630	40,435	40,239	40,044	39,848	39,653	39,458	39,262	39,067	38,872	38,676	38,481	38,285	38,090	37,895	37,699
	計画収集人口	人	42,015	41,286	41,074	40,980	40,681	40,630	40,435	40,239	40,044	39,848	39,653	39,458	39,262	39,067	38,872	38,676	38,481	38,285	38,090	37,895	37,699
	自家処理人口	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
排出量	年間排出量	t /年	19,248.88	17,859.49	17,306.98	17,210.18	17,389.33	17,227	17,015	16,805	16,597	16,389	16,182	16,034	15,885	15,738	15,592	15,446	15,301	15,156	15,013	14,869	14,727
	総排出量	t /年	15,180.27	14,192.12	13,854.09	13,813.12	13,930.48	13,797	13,614	13,433	13,253	13,074	12,896	12,765	12,634	12,504	12,375	12,246	12,119	11,991	11,865	11,739	11,614
	収集・直接搬入量	t /年	13,479.20	12,571.37	12,361.94	12,337.75	12,580.15	12,460	12,274	12,016	11,757	11,501	11,247	11,077	10,966	10,826	10,688	10,548	10,412	10,274	10,138	10,001	9,864
	可燃ごみ	t /年	12,784.57	11,932.47	11,737.82	11,705.88	12,005.20	11,890															
	可燃ごみ(施策強化後)	t /年								11,721	11,470	11,219	10,970	10,723	10,589	10,453	10,319	10,186	10,051	9,920	9,788	9,657	9,525
	不燃・粗大ごみ	t /年	694.63	638.90	624.12	631.87	574.95	570															
	不燃・粗大ごみ(小型家電リ適用)	t /年								553	546	538	531	524	518	513	507	502	497	492	486	481	476
	資源ごみ	t /年	1,163.07	1,105.75	1,016.15	1,022.37	928.33	919															
	資源ごみ(施策強化後)	t /年								927	1,010	1,094	1,177	1,258	1,271	1,285	1,299	1,312	1,327	1,340	1,354	1,367	1,382
	空き缶類	t /年	114.41	107.94	91.61	92.78	89.02	88.13	86.97	85.82	84.67	83.52	82.37	81.51	80.65	79.88	79.02	78.25	77.39	76.62	75.76	74.99	74.12
	空きビン類	t /年	270.14	260.61	257.13	246.27	245.68	243.21	240.04	236.86	233.68	230.51	227.33	224.95	222.57	220.45	218.07	215.95	213.57	211.45	209.07	206.95	204.57
	紙類(H27施策強化後)	t /年									498.54	588.11	677.67	765.23	783.39	802	820.25	837.42	856.12	874.29	892.01	910.17	928.88
	紙類追加分	t /年									95	190	285	378	400	422	444	466	488	510	532	554	576
	紙類	t /年	576.74	542.75	473.73	496.69	418.84	414.42	408.98														
	紙バック	t /年	9.78	11.37	9.63	9.19	9.38	9	9														
	新聞	t /年	242.43	225.55	182.84	186.94	160.04	158.42	156.98	154.54	152.11	149.67	148.23	146.39	144.55	144.25	142.42	140.12	139.29	138.01	136.17	134.88	133.06
	ダンボール	t /年	146.62	147.74	136.51	144.96	122.35	121	119	118	116	115	113	112	111	110	108	108	106	106	105	104	103
	雑誌・雑紙	t /年	177.91	158.09	144.75	155.6	127.07	126	124	122	121	119	117	116	115	114	113	112	111	109	108	107	106
	ペットボトル	t /年	89.57	86.9	89.78	84.84	79.6	79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	69	68	68	67	66
	白色トレイ	t /年	2.46	2.73	2.66	2.34	2.19	2.17	2.14	2.11	2.08	2.05	2.03	2.01	1.98	1.97	1.94	1.93	1.90	1.88	1.86	1.84	1.82
	その他プラ	t /年	77.67	74.44	71.84	69.54	67.16	66.49	65.62	64.75	63.88	63.01	62.14	61.49	60.84	60.26	59.61	59.03	58.38	57.80	57.15	56.57	55.92
	古布(H26施策強化後)	t /年								11	11	12	12	12	13	13	13	14	14	14	14	15	15
	古布(綿のみ)	t /年	5.11	4.68	2.76	2.81	1.79	1.77	1.75	1.73	1.70	1.68	1.66	1.64	1.62	1.61	1.59	1.57	1.56	1.54	1.52	1.51	1.49
	乾電池	t /年	9.21	9.1	9.1	9.82	8.37	8.29	8.18	8.07	7.96	7.85	7.74	7.66	7.58	7.51	7.43	7.36	7.28	7.20	7.12	7.05	6.97
	蛍光灯	t /年	5.63	4.8	4.48	4.31	3.98	3.94	3.89	3.84	3.79	3.73	3.68	3.64	3.61	3.57	3.53	3.50	3.46	3.43	3.39	3.35	3.31
	スプレー缶	t /年	11.15	10.76	11.97	11.91	10.68	10.57	10.43	10.30	10.16	10.02	9.88	9.78	9.68	9.58	9.48	9.39	9.28	9.19	9.09	9.00	8.89
	その他危険	t /年	0.98	1.04	1.09	1.06	1.02	1.01	1.00	0.98	0.97	0.96	0.94	0.93	0.92	0.92	0.91	0.90	0.89	0.88	0.87	0.86	0.85
小型家電	t /年							9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	
集団回収	t /年	538	515	476	453	422	418	413	407	402	396	391	387	383	379	375	371	367	363	360	356	352	
総排出量	t /年	4,068.61	3,667.37	3,452.89	3,397.06	3,458.85	3,430	3,401	3,372	3,344	3,315	3,286	3,269	3,251	3,234	3,217	3,200	3,182	3,165	3,148	3,130	3,113	
可燃ごみ	t /年	3,937.14	3,567.58	3,369.36	3,328.11	3,410.63	3,382	3,354															
可燃ごみ(施策強化後)	t /年									3,258	3,211	3,164	3,117	3,094	3,071	3,048	3,025	3,002	2,979	2,956	2,933	2,909	
不燃・粗大ごみ	t /年	131.47	99.79	83.53	68.95	48.22	48	47	47	46	46	46	45	45	45	44	44	44	44	44	44	43	
資源ごみ(施策強化後)	t /年									67	86	105	123	129	135	141	147	153	159	165	171	177	
原単位	ごみ総排出量	g/人日	1,255.20	1,185.20	1,154.40	1,150.60	1,171.10	1,162	1,153	1,144	1,136	1,127	1,118	1,113	1,108	1,104	1,099	1,094	1,089	1,085	1,080	1,075	1,070
	家庭系ごみ	g/人日	989.90	941.80	924.10	923.50	938.20	930	922	915	907	899	891	886	882	877	872	868	863	858	853	849	844
	小型家電	g/人日							0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64
	収集・運搬	g/人日	878.96	834.23	824.57	824.84	847.23	840	832	818	804	791	777	771	765	759	753	747	741	735	729	723	717
	事業系ごみ	g/人日	265.30	243.40	230.30	227.10	232.90	233	234	236	237	238	215	215	215	215	215	216	216	216	216	216	216



邑楽町 ごみ排出量、処理処分実績及び将来予測(1/2)

邑楽町	単位	H 2 0	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	H 3 3	H 3 4	H 3 5	H 3 6	H 3 7	H 3 8	H 3 9	H 4 0		
人口	行政区内人口	人	28,005	27,865	27,762	27,628	27,454	27,329	27,203	27,078	26,919	26,760	26,601	26,442	26,283	26,081	25,878	25,676	25,474	25,272	25,031	24,789	24,548	
	計画収集人口	人	28,005	27,865	27,762	27,628	27,454	27,329	27,203	27,078	26,919	26,760	26,601	26,442	26,283	26,081	25,878	25,676	25,474	25,272	25,031	24,789	24,548	
	自家処理人口	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
排出量	年間排出量	t/年	9,872.09	9,561.28	9,467.46	9,615.28	9,548.19	9,482	9,415	9,350	9,275	9,199	9,124	9,050	8,976	8,889	8,803	8,718	8,633	8,548	8,453	8,358	8,264	
	総排出量	t/年	8,247.99	8,095.40	7,996.90	8,068.84	8,027.45	7,966	7,904	7,843	7,773	7,702	7,632	7,562	7,493	7,411	7,330	7,249	7,169	7,089	6,999	6,908	6,819	
	収集・直接搬入量	t/年	7,525.57	7,430.47	7,363.71	7,461.54	7,462.32	7,416	7,346	7,256	7,156	7,056	6,956	6,868	6,781	6,681	6,582	6,484	6,387	6,289	6,181	6,074	5,968	
	可燃ごみ	t/年	7,162.38	7,099.71	7,039.41	7,129.27	7,157.83	7,114																
	可燃ごみ(施策強化後)	t/年							7,052	6,965	6,867	6,770	6,673	6,587	6,503	6,406	6,310	6,215	6,121	6,026	5,922	5,818	5,716	
	不燃・粗大ごみ	t/年	363.19	330.76	324.30	332.27	304.49	302																
	不燃・粗大ごみ(小型家電リ適用)	t/年							294	291	289	286	283	281	278	275	272	269	266	263	259	256	252	
	資源ごみ	t/年	651.75	595.08	557.25	528.26	495.45	492																
	資源ごみ(施策強化後)	t/年							500	530	560	590	620	639	657	676	694	712	730	748	767	784	801	
	空き缶類	t/年	76.63	71.99	61.04	62.57	60.16	60	59	59	58	58	57	57	56	55	55	54	54	53	53	52	51	
	空きビン類	t/年	180.94	173.79	171.34	166.07	166.04	164.36	164.28	161.78	161.27	158.89	158.4	155.89	155.51	153.14	151.76	149.38	148.01	146.62	145.23	142.99	140.61	
	紙類(H27施策強化後)	t/年								184	217	249	282	304	325	347	368	390	411	433	454	475	496	
	紙類追加分	t/年								34	68	102	136	159	182	205	228	251	274	297	320	343	365	
	紙類	t/年	264.09	224.56	199.36	177.29	153.81	153	151															
	紙パック	t/年	6.56	7.59	6.42	6.21	6.34	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	
	新聞	t/年	130.85	101.89	85.11	72.9	64.6	65	63	63	62	62	61	60	60	58	58	57	56	56	56	56	56	
	ダンボール	t/年	53.87	51.81	49.38	48.6	41.58	41	41	41	40	40	39	39	39	38	38	38	37	37	37	36	35	
	雑誌・雑紙	t/年	72.81	63.27	58.45	49.58	41.29	41	41	40	40	39	39	39	38	38	38	37	37	37	37	36	35	
	ペットボトル	t/年	60	57.98	59.83	57.21	53.79	53.42	53	53	52	52	51	51	50	50	49	49	48	48	47	47	46	
	白色トレイ	t/年																						
	その他プラ	t/年	52.02	49.63	47.88	46.88	45.39	45.07	44.71	44.34	43.97	43.52	43.15	42.78	42.33	41.87	41.41	40.95	40.49	40.04	39.58	39.03	38.57	
	古布(H26施策強化後)	t/年							6	6	6	7	7	7	7	8	8	8	8	8	9	9	9	
	古布	t/年																						
	乾電池	t/年	6.18	6.06	6.06	6.58	5.66	5.62	5.57	5.53	5.48	5.43	5.38	5.33	5.28	5.22	5.16	5.11	5.05	4.99	4.94	4.87	4.81	
	蛍光灯	t/年	3.75	3.2	2.99	2.91	2.68	2.66	2.64	2.62	2.6	2.57	2.55	2.53	2.5	2.47	2.44	2.42	2.39	2.36	2.34	2.3	2.28	
	スプレー缶	t/年	7.47	7.19	7.99	8.04	7.21	7.16	7.1	7.04	6.99	6.91	6.85	6.8	6.72	6.65	6.58	6.5	6.43	6.36	6.29	6.2	6.13	
	その他危険	t/年	0.67	0.68	0.76	0.71	0.71	0.71	0.7	0.69	0.69	0.68	0.67	0.67	0.66	0.65	0.65	0.64	0.63	0.63	0.62	0.61	0.6	
	小型家電	t/年							6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
	集団回収	t/年	70.67	69.85	75.94	79.04	69.68	58	58	57	57	56	56	55	55	54	54	53	52	52	51	50	50	
	事業系	総排出量	t/年	1,624.10	1,465.88	1,470.56	1,546.44	1,520.74	1,516	1,511	1,507	1,502	1,497	1,492	1,488	1,483	1,478	1,473	1,469	1,464	1,459	1,454	1,450	1,445
可燃ごみ		t/年	1,609.16	1,452.72	1,459.84	1,536.38	1,508.64	1,504	1,499															
可燃ごみ(施策強化後)		t/年								1,435	1,420	1,405	1,391	1,381	1,370	1,359	1,348	1,338	1,327	1,316	1,305	1,295	1,290	
不燃・粗大ごみ		t/年	14.94	13.16	10.72	10.06	12.10	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	
資源ごみ(施策強化後)	t/年								60	70	80	89	95	101	107	113	119	125	131	137	143	144		
原単位	ごみ総排出量	g/人日	965.80	940.10	934.30	953.50	952.80	951	948	946	944	942	940	938	936	934	932	930	928	927	925	924	922	
	家庭系ごみ	g/人日	806.90	796.00	789.20	800.10	801.10	799	796	794	791	789	786	784	781	779	776	774	771	769	766	764	761	
	収集・運搬	g/人日	736.20	730.60	726.70	739.90	744.70	743	740	734	728	722	716	712	707	702	697	692	687	682	677	671	666	
	小型家電	g/人日							0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64	
	事業系ごみ	g/人日	158.90	144.10	145.10	153.40	151.80	152	153	154	155	156	141	141	141	142	142	143	143	144	145	145	146	

邑楽町 ごみ排出量、処理処分実績及び将来予測(2/2)

邑楽町		単位	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	
大泉町外二町清掃センター	搬入量	t/年	29,744.85	28,085.29	27,617.79	27,835.63	28,452.34	28,215	27,910	27,307	26,804	26,304	25,808	25,508	25,209	24,894	24,584	24,270	23,963	23,651	23,329	23,007	22,686	
	邑楽町のみ処理量	t/年	8,771.54	8,552.43	8,499.25	8,665.65	8,666.47	8,618	8,551	8,400	8,287	8,175	8,064	7,968	7,873	7,765	7,658	7,553	7,448	7,342	7,227	7,113	7,006	
	可燃ごみ	t/年	8,771.54	8,552.43	8,499.25	8,665.65	8,666.47	8,618	8,551	8,400	8,287	8,175	8,064	7,968	7,873	7,765	7,658	7,553	7,448	7,342	7,227	7,113	7,006	
	家庭系	t/年	7,162.38	7,099.71	7,039.41	7,129.27	7,157.83	7,114	7,052	6,965	6,867	6,770	6,673	6,587	6,503	6,406	6,310	6,215	6,121	6,026	5,922	5,818	5,716	
	事業系	t/年	1,609.16	1,452.72	1,459.84	1,536.38	1,508.64	1,504	1,499	1,435	1,420	1,405	1,391	1,381	1,370	1,359	1,348	1,338	1,327	1,316	1,305	1,295	1,290	
	千代田町のみ処理量	t/年	4,251.60	4,032.81	4,011.36	4,135.99	4,370.04	4,325	4,283	4,179	4,088	3,995	3,904	3,858	3,812	3,762	3,715	3,665	3,616	3,565	3,512	3,460	3,401	
	大泉町のみ処理量	t/年	16,721.71	15,500.05	15,107.18	15,033.99	15,415.83	15,272	15,075	14,728	14,430	14,134	13,840	13,683	13,524	13,367	13,211	13,053	12,899	12,744	12,590	12,434	12,279	
	搬出量	t/年	3,067.75	2,818.54	2,813.78	2,974.46	2,865.25	2,841	2,811	2,750	2,699	2,649	2,599	2,569	2,539	2,507	2,476	2,444	2,413	2,382	2,349	2,317	2,285	
	邑楽町のみ搬出量	t/年	904.66	858.29	865.93	925.99	872.74	868	861	846	834	823	812	802	793	782	771	761	750	739	728	716	706	
	可燃ごみ由来焼却残渣	t/年	3,067.75	2,818.54	2,813.78	2,974.46	2,865.25	2,841	2,811	2,750	2,699	2,649	2,599	2,569	2,539	2,507	2,476	2,444	2,413	2,382	2,349	2,317	2,285	
	大泉町	t/年	1,724.60	1,555.53	1,539.16	1,606.51	1,552.43	1,538	1,519	1,483	1,453	1,424	1,394	1,378	1,362	1,346	1,331	1,314	1,299	1,284	1,267	1,253	1,236	
	邑楽町	t/年	904.66	858.29	865.93	925.99	872.74	868	861	846	834	823	812	802	793	782	771	761	750	739	728	716	706	
	千代田町	t/年	438.49	404.72	408.69	441.96	440.08	435	431	421	412	402	393	389	384	379	374	369	364	359	354	348	343	
	リサイクルプラザ	搬入量	t/年	1,029.88	939.00	892.27	870.59	812.04	806	806	833	861	888	915	932	947	963	978	993	1,008	1,023	1,038	1,052	1,064
資源ごみ		t/年	651.75	595.08	557.25	528.26	495.45	492	500	530	560	590	620	639	657	676	694	712	730	748	767	784	801	
不燃・粗大ごみ		t/年	378.13	343.92	335.02	342.33	316.59	314	306	303	301	298	295	293	290	287	284	281	278	275	271	268	263	
搬出量		t/年	1,144.68	1,057.95	1,001.23	972.05	914.61	906	903	929	956	982	1,008	1,026	1,040	1,054	1,068	1,082	1,096	1,110	1,124	1,137	1,147	
資源ごみ(スプレー缶、その他危険物除く)		t/年	643.61	587.21	548.50	519.51	487.53	484	492	522	552	582	612	632	650	669	687	705	723	741	760	777	794	
破碎残渣		t/年	191.06	179.59	181.72	182.82	172.95	170	166	165	163	162	160	159	157	156	154	153	152	150	148	146	143	
ガラス・陶器類		t/年	4.12	4.93	4.16	3.74	3.83	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	
資源物(不燃ごみ由来)		t/年	178.45	168.38	160.01	158.92	148.28	147	142	140	138	137	136	135	133	132	130	128	127	125	124	122		
破碎鉄		t/年	101.78	96.23	88.28	86.39	74.06	73	72	71	70	69	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60		
破碎アルミ		t/年	6.72	7.92	11.38	11.05	10.54	10	10	10	10	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9		
千地		t/年	60.50	57.27	53.30	55.01	57.33	57	56	55	55	54	54	53	53	52	52	51	50	50	49	49		
ラジカセ等有価物		t/年	2.79	2.30	2.33	2.17	2.34	2																
破損家電		t/年	0.86																					
再生品		t/年	1.42	0.91	0.77	0.48	0.69	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
廃家電モーター		t/年	0.88	0.66	1.04	0.90	0.72	1																
廃タイヤ		t/年	1.62	1.20	1.20	1.14	0.87	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
処理困難品		t/年	1.88	1.89	1.71	1.78	1.73	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	
破碎可燃		t/年	127.44	117.84	106.84	107.06	102.02	101	99	98	97	96	95	95	94	93	92	91	90	89	88	87	85	
太田市清掃センター※4		搬入量(破碎可燃)	t/年	127.44	117.84	106.84	107.06	102.02	101	99	98	97	96	95	95	94	93	92	91	90	89	88	87	85
		搬出量(破碎可燃由来の焼却残渣)	t/年	14.94	14.48	12.58	12.94	12.40	12	12	12	12	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10	10	9
資源化	資源化量	t/年	897.64	825.44	784.60	761.55	709.42	693.13	696.20	783.27	823.32	860.41	897.48	920.53	943.62	1,210.70	1,229.77	1,247.86	1,265.94	1,285.01	1,304.09	1,321.19	1,334.27	
	資源化量(灰溶融を含まない)	t/年	892.73	825.44	784.45	757.47	705.49	689.13	692.20	779.27	819.32	856.41	894.48	917.53	940.62	962.70	985.77	1,006.86	1,027.94	1,051.01	1,073.09	1,094.19	1,110.27	
	(資源化率)		9.09%	8.63%	8.29%	7.92%	7.43%	7.31%	7.39%	8.38%	8.88%	9.35%	9.84%	10.17%	10.51%	13.62%	13.97%	14.31%	14.66%	15.03%	15.43%	15.81%	16.15%	
	(資源化率)(灰溶融を含まない)		9.04%	8.63%	8.29%	7.88%	7.39%	7.27%	7.35%	8.33%	8.83%	9.31%	9.80%	10.14%	10.48%	10.83%	11.20%	11.55%	11.91%	12.30%	12.69%	13.09%	13.44%	
	(1人1日当たりの資源化量)	g/人日	87.80	81.20	77.40	75.50	70.80	69.50	70.10	79.30	83.80	88.10	92.40	95.40	98.40	127.20	130.20	133.20	136.20	139.30	142.70	146.00	148.90	
	溶融資源化処理	t/年	4.91		0.15	4.08	3.93	4	4	4	4	4	3	3	3									
	溶融資源化処理(施設稼働後)	t/年													248	244	241	238	234	231	227	224		
	資源化	t/年	822.06	755.59	708.51	678.43	635.81	631.13	634.20	722.27	762.32	800.41	838.48	862.53	885.62	908.70	931.77	953.86	975.94	999.01	1,022.09	1,044.19	1,060.27	
直接資源化	t/年	267.46	226.23	201.99	180.57	155.81	155.28	165.21	258.15	301.08	344.00	385.93	413.86	440.78	469.69	496.60	524.53	551.44	579.35	607.28	635.17	657.09		
中間処理後資源化物	t/年	554.60	529.36	506.52	497.86	480.00	475.85	468.99	464.12	461.24	456.41	452.55	448.67	444.84	439.01	435.17	429.33	424.50	419.66	414.81	409.02	403.18		
集団回収	t/年	70.67	69.85	75.94	79.04	69.68	58	58	57	57	56	55	55	54	53	52	52	52	51	51	50	50		
最終処分	最終処分量	t/年	1,114.78	1,057.29	1,064.39	1,125.49	1,061.92	1,054	1,043	1,027	1,013	1,001	987	976	965	953	942	931	920	909	898	887	876	
	破碎残渣	t/年	191.06	179.59	181.72	182.82	172.95	170	166	165	163	162	160	159	157	156	154	153	152	150	148	146	143	
	ガラス・陶器類	t/年	4.12	4.93	4.16	3.74	3.83	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3		
	焼却残渣	t/年	919.60	872.77	878.51	938.93	885.14	880	873	858	846	835	823	813	804									
	破碎可燃由来の焼却残渣	t/年	14.94	14.48	12.58	12.94	12.40	12	12	12	12	11	11	11										
	焼却残渣	t/年	904.66	858.29	865.93	925.99	872.74	868	861	846	834	823	812	802	793									
	焼却残渣(施設稼働後)	t/年													544	537	530	522	515	507	499	491		
(最終処分率)		11.29%	11.06%	11.24%	11.71%	11.12%	11.12%	11.08%	10.98%	10.92%	10.88%	10.82%	10.79%	10.75%	7.91%	7.88%	7.87%	7.84%	7.81%	7.78%	7.75%	7.71%		
(1人1日当たりの最終処分量)	g/人日	109.10	104.00	105.00	111.60	106.00	105.70	105.00	103.90	103.10	102.50	101.70	10											

大泉町外二町 ごみ排出量、処理処分実績及び将来予測

大泉町外二町		単位	H 2 0	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	H 3 3	H 3 4	H 3 5	H 3 6	H 3 7	H 3 8	H 3 9	H 4 0	
人口	行政区内人口	人	82,004	80,999	80,720	80,512	80,006	79,772	79,410	79,045	78,643	78,236	77,826	77,413	76,994	76,530	76,061	75,588	75,112	74,632	74,110	73,583	73,052	
	計画収集人口	人	82,004	80,999	80,720	80,512	80,006	79,772	79,410	79,045	78,643	78,236	77,826	77,413	76,994	76,530	76,061	75,588	75,112	74,632	74,110	73,583	73,052	
	自家処理人口	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
排出量	年間排出量	t/年	34,112	32,116.39	31,426.01	31,587.36	31,909.58	31,628	31,304	30,968	30,623	30,277	29,933	29,668	29,402	29,123	28,846	28,567	28,291	28,012	27,725	27,436	27,147	
	総排出量	t/年	27,529	26,262.82	25,776.84	25,833.34	25,900.59	25,653	25,362	25,073	24,775	24,475	24,177	23,939	23,700	23,448	23,198	22,946	22,697	22,445	22,185	21,923	21,663	
	可燃ごみ	t/年	23,313	22,348.29	22,066.91	22,164.28	22,507.35	22,304	22,031	21,622	21,201	20,781	20,364	20,108	19,852	19,581	19,315	19,045	18,781	18,513	18,235	17,957	17,680	
	不燃ごみ・粗大ごみ	t/年	1,370	1,277.91	1,251.60	1,247.01	1,139.90	1,129	1,098	1,085	1,072	1,059	1,045	1,035	1,024	1,013	1,002	991	980	968	957	946	934	
	資源ごみ(剪定枝含む)	t/年	2,238	2,051.77	1,906.39	1,890.01	1,761.66	1,744	1,762	1,902	2,043	2,183	2,321	2,354	2,386	2,421	2,452	2,486	2,517	2,549	2,582	2,614	2,647	
	空き缶類	t/年	222.85	209.94	178.79	181.99	174.95	173.13	170.97	169.82	166.67	165.52	163.37	162.51	159.65	157.88	157.02	155.25	153.39	151.62	149.76	147.99	146.12	
	空きビン類	t/年	526.22	506.76	501.83	483.03	482.89	477.57	473.32	466.64	462.95	456.40	451.73	445.84	442.08	437.59	432.83	427.33	423.58	419.07	414.30	408.94	403.18	
	紙類	t/年	1,099.71	961.86	850.33	861.53	762.34	754.93	745.12	896.20	1,047.41	1,197.61	1,346.70	1,389.40	1,431.12	1,473.26	1,513.06	1,556.21	1,597.02	1,638.37	1,679.99	1,722.22	1,766.05	
	ペットボトル	t/年	174.48	169.03	175.22	166.39	156.44	155.12	153.40	152.20	149.90	148.60	146.40	145.10	142.90	141.70	140.40	139.20	136.90	135.60	134.40	132.20	130.90	
	白色トレイ	t/年	3.15	3.49	3.41	3.00	2.81	2.78	2.74	2.71	2.67	2.63	2.60	2.58	2.54	2.53	2.49	2.47	2.44	2.41	2.38	2.36	2.33	
	その他プラ	t/年	151.31	144.74	140.21	136.36	132.01	130.74	129.28	127.81	126.34	124.79	123.32	122.12	120.79	119.58	118.24	117.03	115.69	114.43	113.14	111.78	110.44	
	古布	t/年							20	20	21	21	22	22	23	25	25	26	26	27	28	28		
	古布(綿類)	t/年	7.65	6.01	4.53	4.59	2.94	2.90	2.87	2.84	2.79	2.76	2.73	2.70	2.66	2.64	2.61	2.58	2.55	2.52	2.49	2.47	2.43	
	乾電池	t/年	17.93	17.67	17.77	19.21	16.47	16.31	16.13	15.95	15.76	15.57	15.38	15.23	15.07	14.92	14.75	14.61	14.44	14.27	14.12	13.95	13.78	
	蛍光灯	t/年	10.93	9.34	8.75	8.46	7.81	7.73	7.65	7.57	7.48	7.38	7.30	7.23	7.15	7.07	6.99	6.93	6.84	6.77	6.70	6.61	6.53	
	スプレー缶	t/年	21.71	20.94	23.38	23.37	20.98	20.78	20.54	20.31	20.09	19.83	19.59	19.42	19.20	19.00	18.79	18.60	18.38	18.18	17.99	17.77	17.55	
	その他危険物	t/年	1.90	1.99	2.17	2.08	2.02	2.01	1.98	1.95	1.94	1.91	1.88	1.87	1.84	1.83	1.82	1.79	1.77	1.76	1.73	1.71	1.69	
	剪定枝	t/年																						
	小型家電	t/年								18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	
	集団回収	t/年	609	585	552	532	492	476	471	464	459	452	447	442	438	433	429	424	419	415	411	406	402	
	事業系	総排出量	t/年	6,583	5,853.57	5,649.17	5,754.02	6,008.99	5,975	5,942	5,895	5,848	5,802	5,756	5,729	5,702	5,675	5,648	5,621	5,594	5,567	5,540	5,513	5,484
		可燃ごみ	t/年	6,432	5,737.00	5,550.88	5,671.35	5,944.99	5,911	5,879	5,835	5,803	5,763	5,729	5,696	5,663	5,630	5,597	5,564	5,531	5,498	5,465	5,432	5,400
		不燃・粗大ごみ	t/年	151	116.57	98.29	82.67	64.00	64	63	63	62	61	61	60	60	60	59	59	59	59	59	59	57
		資源ごみ(剪定枝含む)	t/年							147	182	217	251	285	302	319	336	353	370	387	404	421	438	
	原単位	ごみ総排出量	g/人日	1,140	1,086	1,067	1,075	1,093	1,086	1,080	1,073	1,067	1,060	1,054	1,050	1,046	1,043	1,039	1,035	1,032	1,028	1,025	1,022	1,018
		家庭系ごみ	g/人日	920	888	875	879	887	881	875	869	863	857	851	847	843	839	836	832	828	824	820	816	812
		収集・運搬	g/人日	825	799	792	797	810	805	798	787	776	765	754	748	743	737	732	726	721	715	710	704	698
事業系ごみ		g/人日	220	198	192	196	206	205	205	204	203	203	203	203	203	203	204	204	204	205	205	205		
施設	大泉町外二町清掃センター処理量	t/年	29,744.85	28,085.29	27,617.79	27,835.63	28,452.34	28,215	27,910	27,307	26,804	26,304	25,808	25,508	25,209	24,894	24,584	24,270	23,963	23,651	23,329	23,007	22,686	
	千代田町	t/年	4,251.60	4,032.81	4,011.36	4,135.99	4,370.04	4,325	4,283	4,179	4,088	3,995	3,904	3,858	3,812	3,762	3,715	3,665	3,616	3,565	3,512	3,460	3,401	
	大泉町	t/年	16,721.71	15,500.53	15,107.18	15,033.99	15,415.83	15,272	15,075	14,728	14,430	14,134	13,840	13,683	13,524	13,367	13,211	13,053	12,899	12,744	12,590	12,434	12,279	
	邑楽町	t/年	8,771.54	8,552.43	8,499.25	8,665.65	8,666.47	8,618	8,551	8,400	8,287	8,175	8,064	7,968	7,873	7,765	7,658	7,553	7,448	7,342	7,227	7,113	7,006	
	大泉町外二町清掃センター残流量	t/年	3,067.75	2,818.54	2,813.78	2,974.46	2,865.25	2,841	2,811	2,750	2,699	2,649	2,599	2,549	2,500	2,450	2,400	2,350	2,300	2,250	2,200	2,150	2,100	
	千代田町	t/年	438.49	404.72	408.69	441.96	440.08	435	431	421	412	402	393	389	384	379	374	369	364	359	354	348	343	
	大泉町	t/年	1,724.60	1,555.53	1,539.16	1,606.51	1,552.43	1,538	1,519	1,483	1,453	1,424	1,394	1,378	1,362	1,346	1,331	1,314	1,299	1,284	1,267	1,253	1,236	
	邑楽町	t/年	904.66	858.29	865.93	872.74	868	868	861	846	834	823	812	802	793	782	771	761	750	739	728	716	706	
	破砕施設搬出量	t/年	1,457.43	1,372.52	1,325.90	1,316.25	1,242.14	1,185	1,153	1,140	1,128	1,114	1,100	1,092	1,080	1,068	1,057	1,047	1,035	1,023	1,011	1,000	986	
	破砕残渣	t/年	555.83	523.63	532.08	531.79	503.15	480.11	469.09	465.42	459.64	454.77	448.56	445.13	439.29	435.88	431.02	427.20	423.38	417.56	412.74	407.89	402.06	
	ガラス・陶器類	t/年	11.97	14.39	12.18	10.88	11.13	11.00	10.49	10.47	10.45	10.44	10.40	10.40	10.38	9.37	9.36	9.34	9.32	9.30	9.28	9.27	8.25	
	資源物	t/年	518.99	490.92	468.72	462.22	431.19	411.00	395.21	389.38	386.66	382.02	376.98	372.66	369.00	364.66	362.02	358.34	353.66	350.98	346.30	341.64	337.98	
	破砕可燃	t/年	370.64	343.58	312.92	311.36	296.67	282.89	278.22	274.73	271.25	266.77	264.05	263.81	261.33	258.09	254.60	252.12	248.64	245.16	242.68	241.20	237.71	
	太田市清掃センター処理量	t/年	370.64	343.58	312.92	311.36	296.67	282.89	278.22	274.73	271.25	266.77	264.05	263.81	261.33	258.09	254.60	252.12	248.64	245.16	242.68	241.20	237.71	
	破砕可燃	t/年	370.64	343.58	312.92	311.36	296.67	282.89	278.22	274.73	271.25	266.77	264.05	263.81	261.33	258.09	254.60	252.12	248.64	245.16	242.68	241.20	237.71	
	太田市清掃センター残流量	t/年	43.44	42.22	36.84	37.64	36.05	34	34	34	34	34	30	30	30	29	29	29	28	28	28	28	27	
	千代田町	t/年	6.20	6.03	5.39	5.51	5.31	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	大泉町	t/年	22.30	21.71	18.87	19.19	18.34	17	17															